

東芝デジタル複合機

印刷ガイド

e-STUDIO2010AC

e-STUDIO2515AC/3515AC/4515AC/5015AC

e-STUDIO2518A/3518A/4518A/5018A

e-STUDIO5516AC/6516AC/7516AC

e-STUDIO6518A/8518A

© 2018 TOSHIBA TEC CORPORATION All rights reserved

本書は、著作権法により保護されており、東芝テック株式会社の承諾がない場合、本書のいかなる部分もその複写、複製を禁じます。

はじめに

このたびは東芝デジタル複合機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この取扱説明書は、本機で印刷を行うために必要なプリンタドライバの設定および印刷方法について説明しています。
これらの機能を使用する前に、この取扱説明書をよくお読みください。また、これらの機能を最良の状態でお使いいただくために、この取扱説明書をいつもお手元に置いて有効にご活用ください。

■ 本書の読みかた

□ 本文中の記号について

本書では、重要事項には以下の記号を付けて説明しています。これらの内容については必ずお読みください。

 **警告** 「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷*1を負う可能性があること」を示しています。

 **注意** 「誤った取り扱いをすると人が傷害*2を負う可能性、または物的損害*3のみが発生する可能性があること」を示しています。

 **注意** 操作するうえでご注意いただきたい事柄を示しています。

 **補足** 操作の参考となる事柄や、知っておいていただきたいことを示しています。



関連事項を説明しているページを示しています。必要に応じて参照してください。

*1 重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

*2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を指します。

*3 物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害を指します。

□ 本書の対象読者について

本書は一般使用者および機器管理者向けの取扱説明書です。

□ 本書の対象機種について

本書の対象機種は、本文中で以下のように表記しています。

対象機種	本文中の表記
e-STUDIO2010AC	e-STUDIO5015AC Series
e-STUDIO2515AC/3515AC/4515AC/5015AC	
e-STUDIO2518A/3518A/4518A/5018A	e-STUDIO5018A Series
e-STUDIO5516AC/6516AC/7516AC	e-STUDIO7516AC Series
e-STUDIO6518A/8518A	e-STUDIO8518A Series

□ オプション機器について

使用可能なオプション機器は、お使いの機種のかんたん操作ガイドのオプションについての情報をご覧ください。

画面と操作手順の説明について

- 本書では、Windowsでの画面および操作手順は、Windows 10を例に説明しています。Mac OSでの画面および操作手順は、Mac OS X 10.10.xを例に説明しています。
お使いの機種やオプション機器の装着状況、OSのバージョンやアプリケーションによっては、表示される画面が異なることがあります。
- 本書では、設定項目などの初期値を下線で表記しています。

本文中の記載名称について

本書では、両面同時原稿送り装置と自動両面原稿送り装置を、どちらも自動原稿送り装置と記述して説明しています。

製品に付属するインストールディスクについて

本書では、ソフトウェアをインストールするためのディスクを総称して「インストールディスク」と表記します。

商標について

商標については安全にお使いいただくためにをご覧ください。

目次

はじめに.....	3
本書の読みかた	3
第1章 概要	
特長および機能について	10
プリンタドライバのインストールについて.....	11
第2章 Windowsアプリケーションから印刷する	
基本的な印刷手順	15
印刷方法	15
部門コードやユーザ名の入力が必要なときは.....	17
用紙や倍率に関する設定	21
定形用紙を選ぶ.....	21
さまざまな用紙を使って印刷する.....	23
拡大、縮小する.....	28
印刷の向きを変える.....	29
排紙先を選択する	30
レイアウトや仕上がりに関する設定	31
1部またはページごとに分けて印刷する.....	31
両面印刷する	33
本や雑誌のようなページ構成で印刷する（製本）.....	33
複数ページを1枚の用紙に印刷する	36
ホチキス留めにする.....	37
パンチ穴をあける	37
余白を変更する.....	38
とじしろと画像シフトを設定する.....	39
1ページを複数枚の用紙に分割して印刷する（ポスター印刷）.....	41
節約に関する機能	42
両面印刷する	42
複数ページを1枚の用紙に印刷する	42
白紙は印刷しないようにする	42
トナーを節約する	42
別の用紙を挿入する.....	43
表紙および裏表紙を挿入する	43
指定したページに用紙を挿入する.....	44
1ページごとに用紙を挿入する	45
色や画質に関する設定.....	46
印刷色を指定する	46
原稿に合わせて画質を選択する.....	48
画質を調整したいときは	50
印刷内容を付加する機能	53
文書上に薄い文字を重ねて印刷する（スタンプ）.....	53
別のページイメージを重ねて印刷する（オーバーレイファイル）	56
本体にジョブを保存してから出力する.....	60
指定した日時にジョブを印刷する（予約印刷）.....	60
機密文書を印刷する（プライベート印刷）.....	61
1部を確認してから残りを印刷する（お試し印刷）.....	62
保留状態で印刷ジョブを送る（ホールド印刷）.....	63
別の複合機から印刷する（マルチステーション印刷）.....	64
本体のボックスに保存する（本体に保存）.....	65
条件を組み合わせで印刷する	68

複数のMFPがある場合に利用できる機能	71
印刷に使用する機体を変更する.....	71
1つの印刷ジョブを2台の機体に振り分けて印刷する（タンデム印刷）.....	73
印刷設定の保存	74
印刷機能の初期値を変える.....	74
よく使う印刷設定を保存する（簡易設定）.....	76
簡易設定をテンプレートに割り当てる.....	78
簡易設定をアプリケーションに割り当てる.....	82
オプション機器やユーザ認証の設定	83
プリンターのオプション機器を設定する.....	83
部門管理機能を利用する.....	86
ユーザ認証機能を利用する.....	87
注意事項について.....	89
プリンタドライバの機能概要	90
プリンタドライバの設定.....	90
[基本] タブ.....	91
[仕上げ] タブ.....	97
[挿入] タブ.....	106
[画質] タブ.....	111
[効果] タブ.....	120
[カスタム] タブ.....	125
[デバイス設定] タブ.....	132
[テンプレート] タブ.....	141
プリンタドライバヘルプについて.....	143

第3章 Mac OSアプリケーションから印刷する

基本的な印刷手順（Mac OS X 10.6.8以降）	147
印刷方法.....	147
部門コードやユーザ名の入力が必要なときは.....	148
用紙や倍率に関する設定	149
定形用紙を選ぶ.....	149
さまざまな用紙を使って印刷する.....	152
拡大、縮小する.....	155
印刷の向きを変える.....	156
排紙先を選択する.....	157
レイアウトや仕上がりに関する設定	158
1部ごと仕分けして排紙する（丁合い）.....	158
両面印刷する.....	160
本や雑誌のようなページ構成で印刷する（製本）.....	161
複数ページを1枚の用紙に印刷する.....	162
ページの順番を逆にして印刷する.....	163
奇数（または偶数）ページのみを印刷する.....	163
ホチキス留めにする.....	164
パンチ穴をあける.....	166
用紙の中央で中折りして印刷する.....	167
節約に関する機能	168
両面印刷する.....	168
複数ページを1枚の用紙に印刷する.....	168
白紙は印刷しないようにする.....	168
トナーを節約する.....	169
表紙やページ間に別の用紙を挿入する	170
表紙および裏表紙を挿入する.....	170
バナーページを挿入する.....	171
色や画質に関する設定	172

印刷色を指定する	172
印刷時の版ズレを防ぐ	175
原稿に合わせて画質を選択する	176
画質を調整したいときは	178
印刷内容を付加する機能	184
文書上に薄い文字を重ねて印刷する (スタンプ)	184
本体にジョブを保存してから出力する	185
指定した日時にジョブを印刷する (予約印刷)	185
機密文書やサンプル印刷を設定する	186
本体のボックスに保存する (本体に保存)	187
印刷設定の保存	188
設定内容の確認/注意事項	189
印刷設定の内容や消耗品を確認する	189
注意事項について	189
プリンタドライバの機能概要	190
プリンタドライバの表示方法	190
「ページ設定」ダイアログボックス	191
「プリント」ダイアログボックス	191
第4章 その他の印刷方法	
<hr/>	
UNIX/Linux環境から印刷する	196
注意点と確認事項について	196
LPコマンドを使用して印刷する	196
一般的なlpおよびlptapオプション	197
一般的なオプション	197
PCL5e固有オプション	209
USBダイレクト印刷	213
USBメディアからファイルを印刷する	213
印刷時の注意事項	216
FTP印刷	217
Eメール印刷	218
Eメールダイレクト印刷	219
索引	221

概要

特長および機能について.....	10
プリンタドライバのインストールについて.....	11

特長および機能について

サポートするクライアントプラットフォーム

本機は、IBM互換コンピュータ、Mac OS、およびUNIX/Linuxワークステーションをサポートしています。（プラットフォームによってサポートする機能は異なります。）

多様なポート機能

SMB、IPP、Raw TCP、WSD、LPRポートの印刷ポートをサポートしています。

多様な印刷ジョブ

印刷ジョブの種類を用途によって使い分けることができます。

- 通常印刷は特別な設定を必要としません。通常は、この印刷モードを使用します。
- 予約印刷では、印刷する時間や日付を指定して印刷します。
- プライベート印刷では、本機のタッチパネルよりパスワードを入力するまで、ジョブを保持します。
- ホールド印刷では、本機のタッチパネルより印刷操作を実行するまで、ジョブを保持します。
- マルチステーション印刷では、本機に送信したジョブを別の複合機から印刷することができます。

注意

この機能を使用するにはマルチステーション印刷オプションが必要です。

- お試し印刷では、複数部数を設定した印刷ジョブを1部だけ印刷します。印刷結果を確認後、残り部数の印刷を実行します。
- オーバーレイファイルで保存では、印刷ジョブをオーバーレイファイルとして保存します。保存したオーバーレイファイルは印刷する文書の背面に印刷することができます
- 本体に保存では、印刷文書を本機のファイリングボックスに保管します。
- ジョブタイプの組み合わせでは、複数のジョブタイプを組み合わせで印刷することができます。たとえば、「予約印刷」と「本体に保存」を組み合わせれば、印刷文書を本機のファイリングボックスに保管し、さらに指定した時間に印刷させることができます。

高度なフィニッシングオプション

装着されているフィニッシングオプションの構成によって、ソート印刷、グループ印刷、ホチキス印刷、サドルステッチ印刷、パンチ印刷など、さまざまな出力機能を使用できます。使用できる機能は、機種により異なります。

レイアウトの変更とページ組み機能

アプリケーションで作成した文書をそのまま印刷する以外に、両面左右開き印刷や複数ページを1枚の用紙に印刷するなど、レイアウトを変更して印刷を実行できます。

また、表紙印刷や裏表紙印刷、指定したページのシート印刷、ページごとに用紙を挿入する差し込み印刷なども利用することができます。

多様な大きさの印刷用紙に対応

アプリケーションで作成した文書を、定形サイズのほかにユーザ設定サイズを定義して印刷することができます。

スタンプとオーバーレイファイル

スタンプは、印刷する文書に指定の文字列を重ねた状態で用紙に印刷する機能です。スタンプによって、印刷文書の種類や用途を一目で分かるように分類できます。代表的なスタンプとして、「コピー」、「ドラフト」、「社外秘」などがあります。いくつかのスタンプは用意されていますが、スタンプに使用する文字は自分で作成することもできます。

オーバーレイファイルは、スタンプと異なり、テキストだけでなくグラフィックなどを含んだドキュメントをオーバーレイファイルに変換し、透過した状態で印刷する文書の背景として印刷されます。グラフィックを使用するため、通常のテキストのみのスタンプより印刷に時間がかかってしまう場合がありますが、より文書に適したスタンプを印刷したい場合に便利です。

プリンタドライバのインストールについて

OSごとのプリンタドライバはインストールディスクに収録されています。必要なドライバのインストール方法についてはインストールガイドを参照してください。

Windowsアプリケーションから印刷する

基本的な印刷手順	15
印刷方法	15
部門コードやユーザ名の入力が必要なときは	17
用紙や倍率に関する設定	21
定形用紙を選ぶ	21
さまざまな用紙を使って印刷する	23
拡大、縮小する	28
印刷の向きを変える	29
排紙先を選択する	30
レイアウトや仕上がりに関する設定	31
1部またはページごとに分けて印刷する	31
両面印刷する	33
本や雑誌のようなページ構成で印刷する（製本）	33
複数ページを1枚の用紙に印刷する	36
ホチキス留めにする	37
パンチ穴をあける	37
余白を変更する	38
とじしろと画像シフトを設定する	39
1ページを複数枚の用紙に分割して印刷する（ポスター印刷）	41
節約に関する機能	42
両面印刷する	42
複数ページを1枚の用紙に印刷する	42
白紙は印刷しないようにする	42
トナーを節約する	42
別の用紙を挿入する	43
表紙および裏表紙を挿入する	43
指定したページに用紙を挿入する	44
1ページごとに用紙を挿入する	45
色や画質に関する設定	46
印刷色を指定する	46
原稿に合わせて画質を選択する	48
画質を調整したいときは	50
印刷内容を付加する機能	53
文書上に薄い文字を重ねて印刷する（スタンプ）	53
別のページイメージを重ねて印刷する（オーバーレイファイル）	56

本体にジョブを保存してから出力する	60
指定した日時にジョブを印刷する（予約印刷）	60
機密文書を印刷する（プライベート印刷）	61
1部を確認してから残りを印刷する（お試し印刷）	62
保留状態で印刷ジョブを送る（ホールド印刷）	63
別の複合機から印刷する（マルチステーション印刷）	64
本体のボックスに保存する（本体に保存）	65
条件を組み合わせて印刷する	68
複数のMFPがある場合に利用できる機能	71
印刷に使用する機体を変更する	71
1つの印刷ジョブを2台の機体に振り分けて印刷する（タンデム印刷）	73
印刷設定の保存	74
印刷機能の初期値を変える	74
よく使う印刷設定を保存する（簡易設定）	76
簡易設定をテンプレートに割り当てる	78
簡易設定をアプリケーションに割り当てる	82
オプション機器やユーザ認証の設定	83
プリンターのオプション機器を設定する	83
部門管理機能を利用する	86
ユーザ認証機能を利用する	87
注意事項について	89
プリンタドライバの機能概要	90
プリンタドライバの設定	90
[基本] タブ	91
[仕上げ] タブ	97
[挿入] タブ	106
[画質] タブ	111
[効果] タブ	120
[カスタム] タブ	125
[デバイス設定] タブ	132
[テンプレート] タブ	141
プリンタドライバヘルプについて	143

基本的な印刷手順

Windowsアプリケーションからの印刷方法について説明します。

📖 P.15 「印刷方法」

📖 P.17 「部門コードやユーザ名の入力が必要なときは」

■ 印刷方法

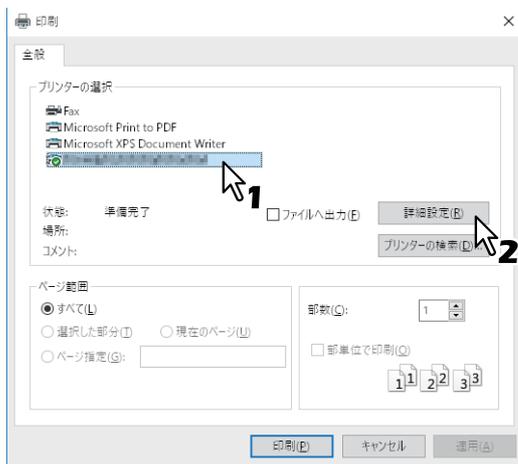
プリンタドライバをインストールすれば、ほとんどのWindowsアプリケーションで印刷を実行できます。プリンタドライバが提供する印刷オプションでは、印刷目的に合ったさまざまな印刷機能を使用することができます。

補足

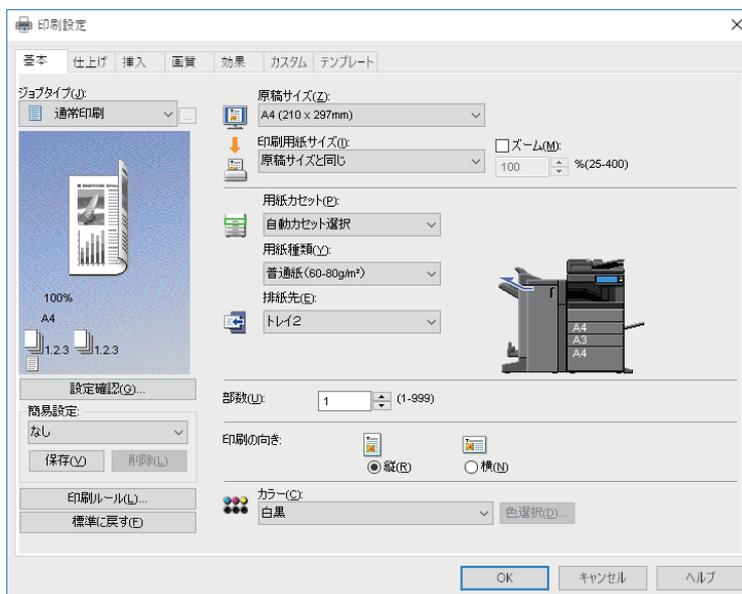
プリンタドライバのプロパティダイアログを表示させる手順は、お使いのアプリケーションによって異なります。詳細はアプリケーションに付属の取扱説明書を参照してください。

ここでは、Windowsのメモ帳から印刷する場合を例に説明します。

- 1 印刷するファイルを開き、[ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 2 プリンター一覧から使用する本機プリンタドライバを選択し、[プロパティ] (または [詳細設定]) をクリックします。



- 3 各タブで印刷機能を設定します。



簡易設定を使って印刷機能を設定することもできます。

📖 P.76 「簡易設定を保存する」

4 [OK] をクリックして、設定を保存します。

5 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックして、文書を印刷します。



■ 部門コードやユーザ名の入力が必要なときは

- 📖 P.17 「部門コードの入力」
- 📖 P.18 「プロジェクトコードの入力」
- 📖 P.19 「ユーザ名とパスワードの入力」
- 📖 P.19 「LDAPサーバー名の指定」

□ 部門コードの入力

本機が部門コードでカウンタ情報を管理している場合、印刷するときに部門コードを入力する必要があります。詳細は管理者にご確認ください。
以下の手順であらかじめ部門コードを入力しておくことで、印刷するたびに部門コードを入力する手間を省くことができます。

補足

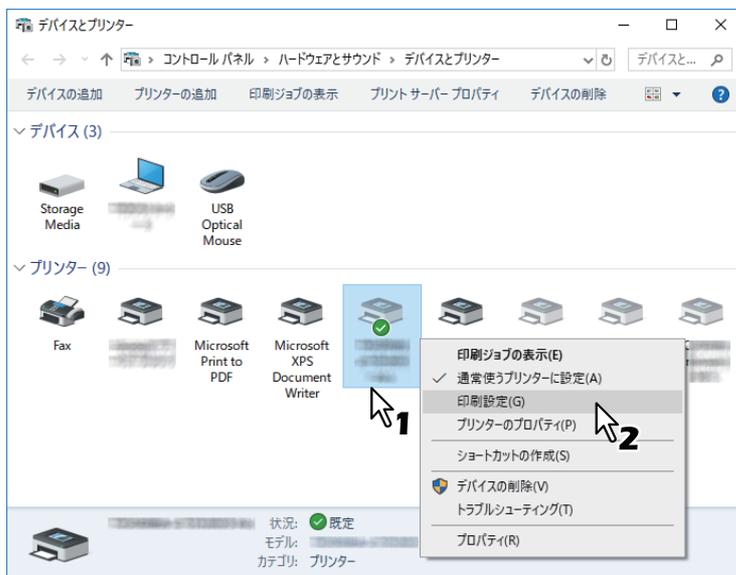
- 部門コードでカウンタ情報を管理するための設定は、管理者が行います。
📖 P.86 「部門管理機能を利用する」
- 部門コードは、印刷を実行するごとに入力できます。複数の印刷ジョブを異なる部門コードで処理する場合は、印刷するときに該当する部門コードをそれぞれ入力してください。

- 1 [スタート] をクリックし、[設定] > [デバイス] > [デバイスとプリンター] を選択します。
プリンタフォルダが表示されます。

補足

- Windows 8.1/Windows Server 2012をお使いの場合は、画面左下で右クリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンター] を選択します。
- Windows 7をお使いの場合は、[スタート] をクリックし、[デバイスとプリンター] を選択します。
- Windows Server 2008をお使いの場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [プリンタ] を選択します。

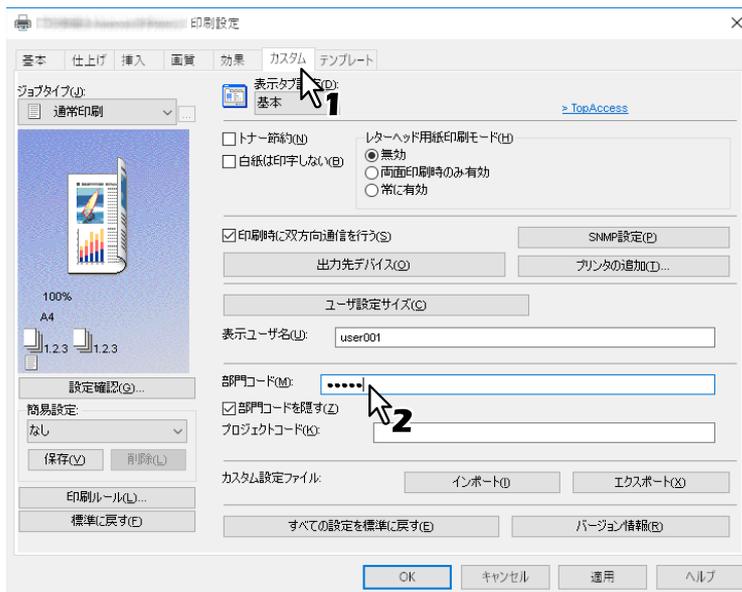
- 2 本機プリンタドライバを右クリックし、表示されたメニューから [印刷設定] を選択します。



補足

- Windows Server 2008をお使いの場合は、本機プリンタドライバを選択し、[ファイル] メニューから [印刷設定] をクリックします。
- [ファイル] メニューが表示されていない場合は、[Alt] キーを押します。

3 [カスタム] タブを選択し、部門コードを入力します。



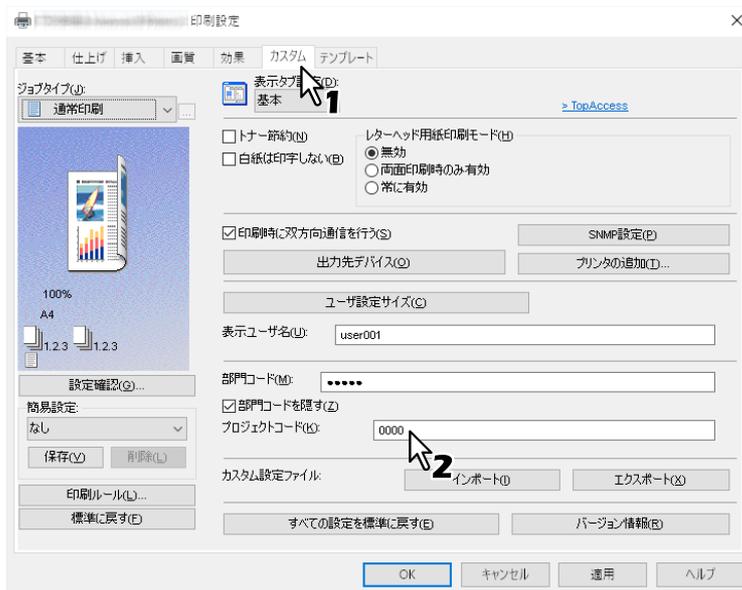
[部門コード] には、1～63桁まで入力できます。

4 [適用] または [OK] をクリックして、設定を保存します。

□ プロジェクトコードの入力

プロジェクトコードをあらかじめ入力しておくことができます。

1 [カスタム] タブを選択し、プロジェクトコードを入力します。

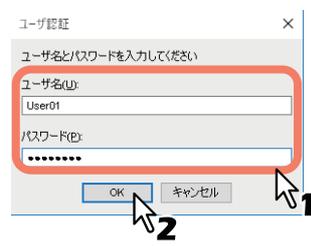


[プロジェクトコード] には、1～63桁まで入力できます。プロジェクトコードについては、管理者にお問い合わせください。

2 [適用] または [OK] をクリックして、設定を保存します。

□ ユーザ名とパスワードの入力

ユーザ名とパスワード入力のオプションが有効に設定されている場合、印刷する際にユーザ名とパスワードの入力を要求されます。
 この場合は、ユーザ名とパスワードを入力し、[OK] をクリックしてください。

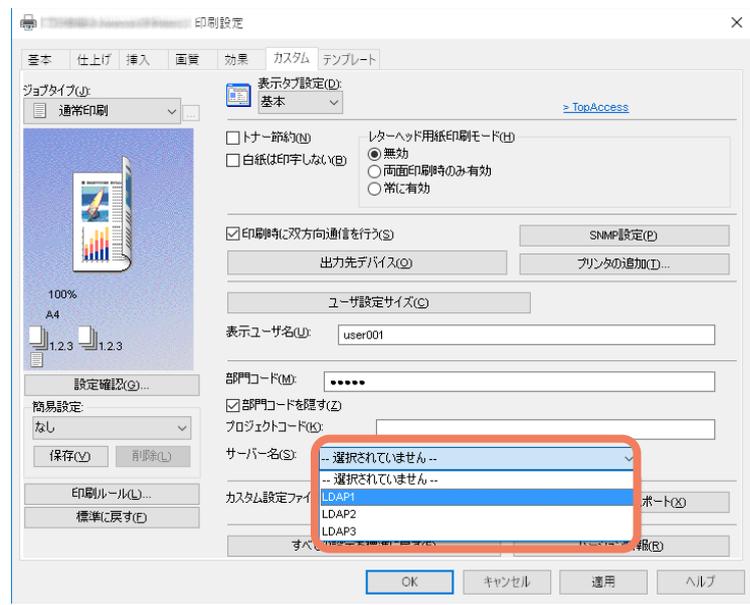


補足

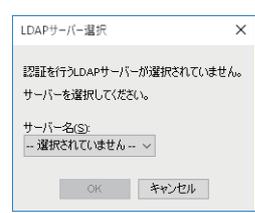
- ・ [ユーザ名] には半角英数文字で128文字まで、[パスワード] ボックスには半角英数文字で64文字まで入力できます。
- ・ 入力したユーザ名やパスワードは保存されません。印刷を実行するごとに入力する必要があります。
- ・ このオプションの設定は、[デバイス設定] タブで行います。
 P.87 「印刷ごとにユーザ名とパスワードを入力する」

□ LDAPサーバー名の指定

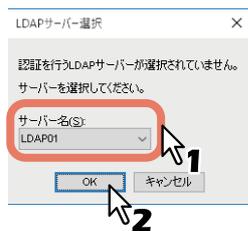
LDAP認証が有効に設定されている場合、[カスタム] タブの [サーバー名] でLDAPサーバーを指定してください。



LDAPサーバーを指定せずに印刷ジョブを送信すると、[LDAPサーバー選択] ダイアログボックスが表示されます。



この場合は、[サーバー名] ボックスでLDAPサーバーを指定し、[OK] をクリックします。



補足

LDAP認証の設定は、[デバイス設定] タブで行います。

📖 P.88 「LDAP認証用のLDAPサーバーを設定する」

用紙や倍率に関する設定

- 📖 P.21 「定形用紙を選ぶ」
- 📖 P.23 「さまざまな用紙を使って印刷する」
- 📖 P.28 「拡大、縮小する」
- 📖 P.29 「印刷の向きを変える」
- 📖 P.30 「排紙先を選択する」

■ 定形用紙を選ぶ

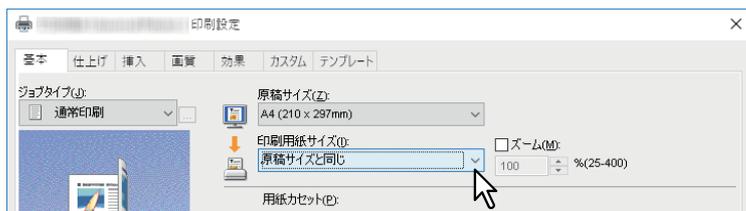
印刷目的に合わせて用紙設定します。ここでは、[基本] タブで設定できる下記機能について説明します。

- 📖 P.21 「用紙サイズを指定する」
- 📖 P.21 「給紙元を選択する」
- 📖 P.22 「用紙種類を指定する」

□ 用紙サイズを指定する

印刷に使用する用紙サイズを選択します。

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [原稿サイズ] から文書のサイズを選択します。
- 3 [印刷用紙サイズ] から用紙のサイズを選択します。

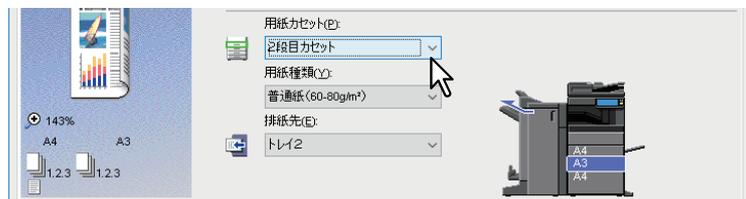


原稿サイズと同じサイズで印刷するときは、[原稿サイズと同じ] を選択します。

- 4 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 5 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ 給紙元を選択する

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [用紙カセット] から用紙の給紙元を選択します。



[基本] タブの本機プレビューで、選択した給紙元の色が変わります。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

用紙種類を指定する

印刷に使用する用紙の種類を選択します。

- 1 【基本】 タブを選択します。
- 2 【用紙種類】 から用紙の種類を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、【OK】 をクリックします。
- 4 【プリント】 (または 【印刷】、【OK】 など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ さまざまな用紙を使って印刷する

用紙をセットする際に注意が必要となる印刷の手順を説明します。

- 📖 P.23 「インデックス紙に印刷する」
- 📖 P.25 「はがきに印刷する」
- 📖 P.26 「ユーザ設定サイズを登録して印刷する」

□ インデックス紙に印刷する

インデックス紙のインデックス部分への印刷をサポートしています。

注意

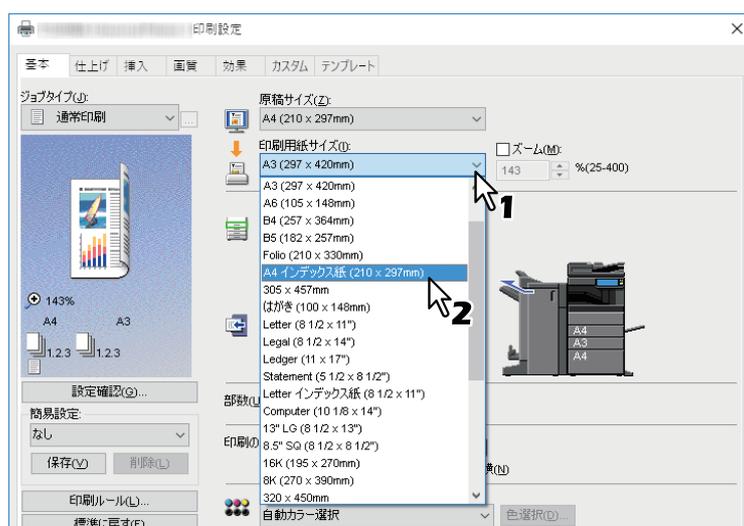
- A4サイズまたはLetterサイズのみサポートしています。
- 複数枚のインデックス紙を一度に印刷すると、印刷イメージがはみ出てしまった場合など、2枚目以降のインデックス紙の裏面に汚れが付着することがあります。これを回避するため、インデックス紙印刷は1枚ずつ別ジョブとして印刷することをお勧めします。
- インデックス部分を送るローラーがないため、本体の排紙トレイに用紙が引っ掛かったまま残ってしまうことがあります。この場合は、次のジョブを印刷する前にインデックス紙を取り除いてください。

1 インデックス紙に印刷するA4サイズまたはLetterサイズの文書を作成し、インデックスに印刷するテキストを文書の右端に配置します。

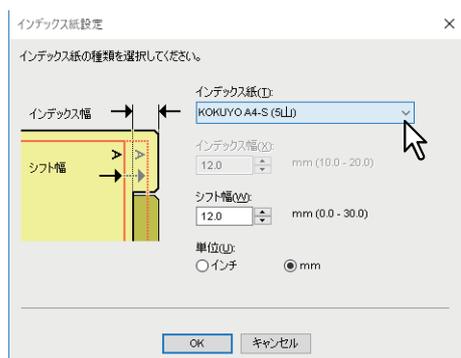
テキストの縦位置は、インデックスに収まるように調整して入力してください。
用紙の端から4.2 mmの範囲には印刷できないため、テキストの文書右端まで4.2 mm以上の余白を残しておく必要があります。印刷する際には、インデックス紙幅と同じ数値をシフト幅に入力します。



2 プリンタドライバのプロパティを表示し、[基本] タブの [印刷用紙サイズ] で [A4 インデックス紙] または [Letter インデックス紙] を選択します。



- 3 [インデックス紙] で、使用するインデックス紙の製品名を選択するか、または [カスタム] を選択します。



- 4 [カスタム] を選択した場合は、[インデックス幅] にインデックス幅を入力します。

- 5 [シフト幅] に印刷イメージをシフトする幅を入力します。

手順1のように文書を作成した場合は、[インデックス幅] に入力した値と同じ値を [シフト幅] に入力します。

注意

用紙の端から4.2 mmの範囲には印刷できないため、テキストの文書右端まで4.2 mm以上の余白を残しておく必要があります。印刷する際には、インデックス紙幅と同じ数値をシフト幅に入力します。

- 6 [OK] をクリックします。

- 7 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。

- 8 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

- 9 インデックス紙を手差しトレイにセットします。

手差しトレイにインデックス紙をセットする場合は、インデックスが外側になるようにセットします。インデックス紙セット方法の詳細は、[用紙準備ガイド](#)を参照してください。

- 10 タッチパネルの [状況確認] を押します。

- 11 操作パネルの [スタート] ボタンを押します。

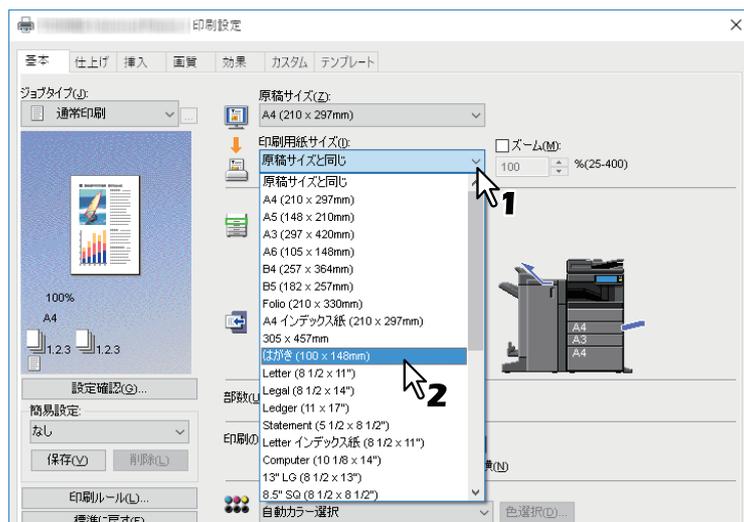
□ はがきに印刷する

手差しトレイよりはがきを印刷する方法を説明します。

注意

- 郵便はがきに印刷できます。インクジェット用はがき、写真用はがき、往復はがき、私製はがきには印刷できません。
- お使いの機種によっては、はがき印刷は利用できません。

- 1 プリンタドライバのプロパティを表示し、[基本] タブの [印刷用紙サイズ] で [はがき] を選択します。



- 2 [用紙種類] で [厚紙2] を選択します。

注意

e-STUDIO5018A Seriesをお使いの場合は、[厚紙3] を選択してください。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。
- 5 はがきの下側 (後端) を機体の方に向けて、印刷する面を下にしてセットします。
- 6 サイドガイドをはがきの幅に合わせます。
はがきセット方法の詳細は、[用紙準備ガイド](#)を参照してください。
- 7 タッチパネルの [状況確認] を押します。
- 8 用紙種類の選択画面で、[厚紙2] を押します。

注意

e-STUDIO5018A Seriesをお使いの場合は、[厚紙3] を選択してください。

- 9 操作パネルの [スタート] ボタンを押します。

□ ユーザ設定サイズを登録して印刷する

ユーザ設定サイズの用紙を登録して印刷する方法を説明します。[カスタム] タブで用紙サイズを登録することで、ユーザ設定サイズを使用できます。

ユーザ設定サイズを登録する

「ユーザ設定サイズ」ダイアログボックスでは、用紙設定を最大40個まで登録することができます。ここで登録したユーザ設定サイズは、[基本] タブの [原稿サイズ] および [印刷用紙サイズ] で選択できます。

注意

- 登録できるユーザ設定サイズは、機種によって異なります。登録できるユーザ設定サイズについては、仕様ガイドの非定形サイズをご参照ください。
- [ユーザ設定サイズ] は、[デバイスとプリンター] フォルダ (Windows Server 2008では [プリンタ] フォルダ) からプリンタドライバのプロパティを表示した場合のみ設定できます。アプリケーションの [印刷] ダイアログボックスからプリンタドライバのプロパティを表示した場合は、設定できません。
- [ユーザ設定サイズ] は、管理者権限でのみ設定が可能です。

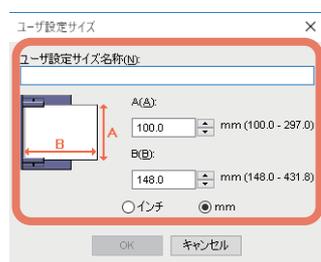
補足

ユーザ設定サイズは、Universal Printer 2 (PCL6) / Universal PS3 / Universal XPSプリンタドライバの間で共用できます。

- 1 [カスタム] タブを選択します。
- 2 [ユーザ設定サイズ] をクリックします。
- 3 [追加] をクリックします。



- 4 「ユーザ設定サイズ-ユーザ設定サイズ名称」ダイアログボックスで詳細を設定します。



ユーザ設定サイズ名称: ユーザ設定サイズの名称を入力します。半角・全角31文字まで入力できます。ここで設定した名前が、[基本] タブの [原稿サイズ] および [印刷用紙サイズ] に表示されます。
用紙寸法: 横幅 (A) および縦幅 (B) を指定します。
単位: 単位を選択します。

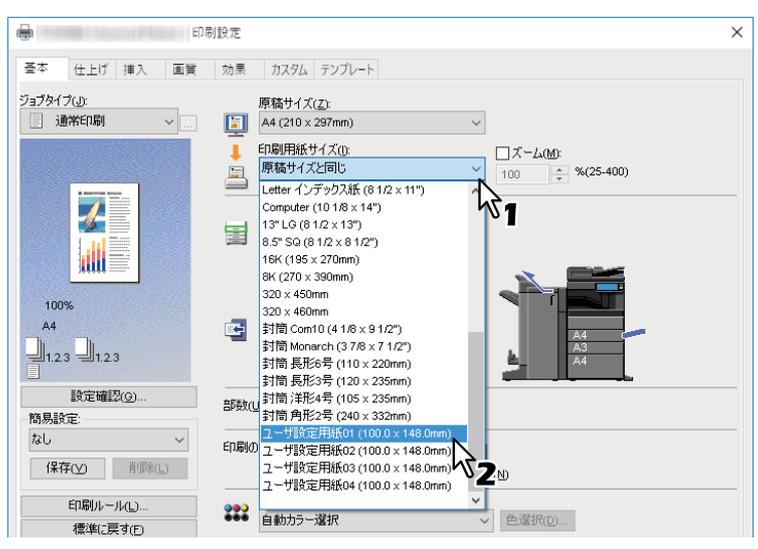
注意

- 機種により、横幅 (A) と縦幅 (B) の設定可能範囲が異なります。各寸法の右側に表示される設定範囲内で指定してください。
- 横幅 (A) または縦幅 (B) いずれかは、定形サイズより7 mm以上異なる値で登録してください。差異が7 mm未満だった場合、定形サイズとして扱われます。
- 横幅 (A) が縦幅 (B) よりも長い用紙サイズは登録できません。そのような文書を印刷したい場合は、用紙の向きを [横] に変更して印刷してください。

- 5 [OK] をクリックします。
- 6 用紙サイズリストにユーザ設定サイズ名称が表示されていることを確認し、[OK] をクリックします。

ユーザ設定サイズの用紙に印刷する

- 1 プリンタドライバのプロパティを表示し、[基本] タブの [印刷用紙サイズ] でユーザ設定サイズを選択します。



- 2 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 3 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。
- 4 ユーザ設定サイズの用紙を手差しトレイまたはカセットにセットします。

注意

定形サイズより長いユーザ設定サイズの用紙を使用するときは、用紙のセット時および排紙時に注意が必要です。詳細は用紙準備ガイドを参照してください。

- 5 タッチパネルの [状況確認] を押します。
- 6 セットした用紙に合わせて、用紙種類を選択します。
- 7 操作パネルの [スタート] ボタンを押します。

補足

手差しトレイまたはカセットに用紙がない場合、タッチパネルにメッセージが表示されます。タッチパネルに表示される用紙サイズは実際に登録した用紙サイズと若干異なることがあります。

■ 拡大、縮小する

指定した用紙のサイズに収まるように、ページイメージを自動で拡大または縮小して印刷します。倍率は手動で設定することもできます。

📖 P.28 「用紙サイズに合わせる」

📖 P.28 「倍率を指定する」

□ 用紙サイズに合わせる

指定した用紙のサイズに収まるように、ページイメージを自動で拡大または縮小して印刷します。

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [原稿サイズ] から文書のサイズを選択します。[印刷用紙サイズ] から用紙のサイズを選択します。



選択した原稿および用紙のサイズに応じて、ページイメージが変倍されます。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ 倍率を指定する

倍率を手動で設定します。

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [ズーム] を選択して、倍率を入力します。



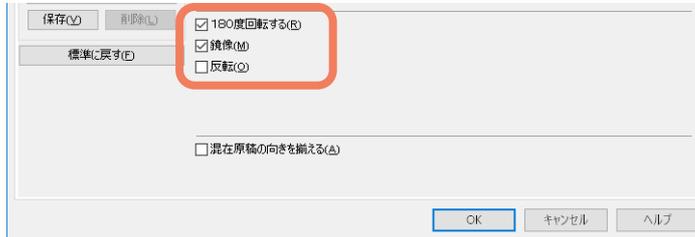
倍率は、25～400 (%) の範囲を1%単位で設定できます。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 印刷の向きを変える

排紙される用紙の向きを逆にしたり、ページ全体の左右を反転させて印刷します。

- 1 [効果] タブを選択します。
- 2 印刷の向きに関するチェックボックスを選択します。



180度回転する：ページ全体を180度回転させます。

鏡像：ページ全体を鏡に映したように左右を反転させます。

注意

この機能は、以下のプリンタドライバをお使いの場合のみ有効です。

- Universal Printer 2 (PostScript)
- Universal XPS

混在原稿の向きを揃える：原稿の用紙サイズと原稿の縦横の向きが混在する場合、印刷結果の縦横の向きを揃えることができます。

原稿が以下の組み合わせの場合に選択してください。

- A4サイズ縦向きとA3サイズ横向き
- A4サイズ横向きとA3サイズ縦向き
- LTサイズ縦向きとLDサイズ横向き
- LTサイズ横向きとLDサイズ縦向き
- B5サイズ縦向きとB4サイズ横向き
- B5サイズ横向きとB4サイズ縦向き
- 16Kサイズ縦向きと8Kサイズ横向き
- 16Kサイズ横向きと8Kサイズ縦向き

注意

この機能は、以下のプリンタドライバをお使いの場合のみ有効です。

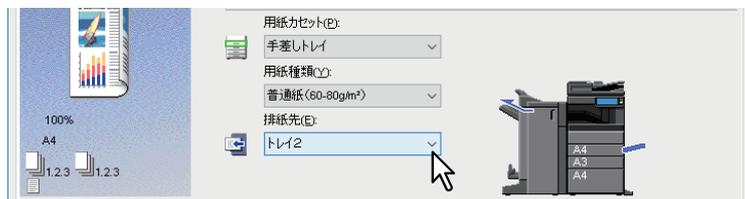
- Universal Printer 2 (PCL6)
- Universal Printer 2 (PostScript)
- Universal PS3

- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 排紙先を選択する

印刷ジョブが出力される排紙先トレイを選択します。[基本] タブの本機プレビューに、設定されている排紙先が矢印で表示されます。

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [排紙先] から排紙先トレイを選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

注意

- 選択できる項目は、お使いになる機種、用紙サイズおよびオプションの装着状態によって異なります。
- サドルステッチフィニッシャを使用して、中折り印刷やサドルステッチ印刷を行う場合、排紙先は [サドルトレイ] に固定されます。

レイアウトや仕上がりに関する設定

- 📖 P.31 「1部またはページごとに分けて印刷する」
- 📖 P.33 「両面印刷する」
- 📖 P.33 「本や雑誌のようなページ構成で印刷する（製本）」
- 📖 P.36 「複数ページを1枚の用紙に印刷する」
- 📖 P.37 「ホチキス留めにする」
- 📖 P.37 「パンチ穴をあける」
- 📖 P.38 「余白を変更する」
- 📖 P.41 「1ページを複数枚の用紙に分割して印刷する（ポスター印刷）」

■ 1部またはページごとに分けて印刷する

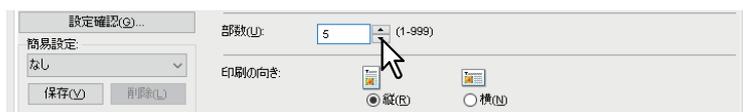
複数部数のジョブを印刷するときのソート方法を選択します。1部ごと出力する [ソート]、ページごとにグループ分けして出力する [グループ]、および縦横交互に出力する [縦横交互排紙] を選択することができます。

- 📖 P.31 「1部ごと仕分けして排紙する」
- 📖 P.32 「ページごとにグループ分けして排紙する」
- 📖 P.32 「印刷ジョブを縦横交互に出力する」

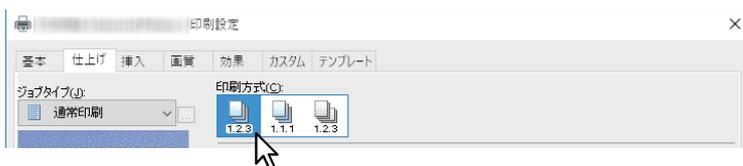
□ 1部ごと仕分けして排紙する

ソート印刷を選択します（部ごとに仕分けして排紙します）。

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [部数] に印刷部数を入力します。



- 3 [仕上げ] タブを選択します。
- 4 [印刷方式] で [ソート] アイコンを選択します。

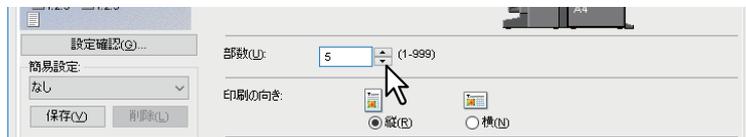


- 5 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 6 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。
1部ごと仕分けして排紙します。

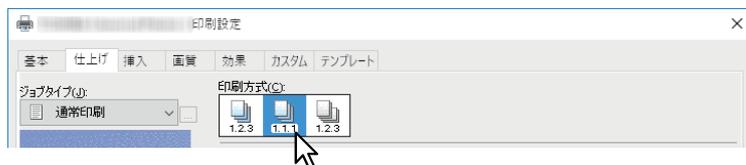
□ ページごとにグループ分けして排紙する

グループ印刷を選択します（ページごとにグループ分けして排紙します）。

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [部数] に印刷部数を入力します。



- 3 [仕上げ] タブを選択します。
- 4 [印刷方式] で [グループ] アイコンを選択します。



- 5 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 6 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。
ページごとにグループ分けして出力します。

□ 印刷ジョブを縦横交互に出力する

1部ずつ縦横交互に排紙します。

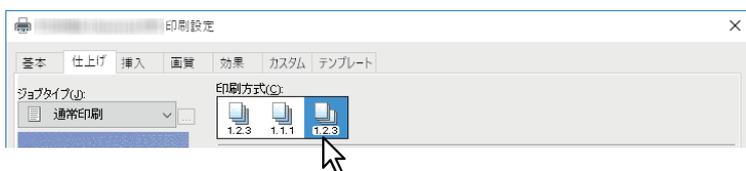
注意

- お使いの機種によっては、縦横交互出力は利用できません。
- 縦横交互出力は、Letter、A4、B5、または16K用紙を使って印刷するとき有効です。
- 使用する用紙が縦／横の両方の向き（例：A4とA4-R）でセットされている必要があります。

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [部数] に印刷部数を入力します。



- 3 [仕上げ] タブを選択します。
- 4 [印刷方式] で [縦横交互] アイコンを選択します。



- 5 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。

- 6 **【プリント】**（または**【印刷】**、**【OK】** など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。
1部ごと、縦横交互に排紙します。

■ 両面印刷する

用紙の両面に印刷します。

- 1 **【仕上げ】** タブを選択します。
- 2 **【両面印刷】** から印刷文書のとじ向きを選択します。



長辺：用紙の長い辺の方にとじしろを設定し、両面印刷します。
短辺：用紙の短い辺の方にとじしろを設定し、両面印刷します。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、**【OK】** をクリックします。
- 4 **【プリント】**（または**【印刷】**、**【OK】** など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

補 足

- 両面印刷では、製本印刷を設定することもできます。製本印刷については、以下を参照してください。
 P.33 「本や雑誌のようなページ構成で印刷する（製本）」
- 両面印刷した用紙にホチキス留めやパンチ穴を開けて出力したい場合は、各機能を別途設定します。
 P.37 「ホチキス留めにする」
 P.37 「パンチ穴をあける」

■ 本や雑誌のようなページ構成で印刷する（製本）

製本印刷を選択すると、本や雑誌と同じような印刷物を作成することができます。また、ホチキス機能を使用して印刷した文書の中央をホチキス留め（サドルステッチ処理）し、中折り機能で自動的に中折りとしを出力できます。たとえば、B4サイズで文書を製本印刷した場合、B5サイズの中折りとしを作成します。各ページが指定の用紙の半分に収まるように文書サイズを自動調節し、中折りにとじたときにページの順番が正しくなるようにページを並べ替えて印刷を行います。

文書サイズを変更せずに製本印刷を行う場合は、印刷する用紙サイズを文書サイズの2倍のサイズに設定します。たとえば、B5サイズで作成した文書をB4サイズの用紙に製本印刷すると、B4サイズの中折りとしを作成します。文書サイズと同じサイズの中折りとしを作成するには、次のようなサイズを指定します。

- A4（文書サイズ）／A3（用紙サイズ）
- A5（文書サイズ）／A4（用紙サイズ）
- B5（文書サイズ）／B4（用紙サイズ）
- Letter（文書サイズ）／Ledger（用紙サイズ）

注 意

利用できる用紙サイズは、お使いの機種によって異なります。

- 1 **【仕上げ】** タブを選択します。
- 2 **【両面印刷】** から**【製本】** アイコンを選択します。



- 3 [編集] をクリックします。
- 4 [仕上がりサイズ] から仕上がりサイズを選択します。



- A5 on A4**：各ページをA5サイズに縮小し、A4サイズの内紙に2ページずつ印刷します。
- A4 on A3**：各ページをA4サイズに縮小し、A3サイズの内紙に2ページずつ印刷します。
- B5 on B4**：各ページをB5サイズに縮小し、B4サイズの内紙に2ページずつ印刷します。
- B6 on B5**：各ページをB6サイズに縮小し、B5サイズの内紙に2ページずつ印刷します。
- 1/2 Folio on Folio**：各ページをFolio用紙の半分に収まるように縮小し、Folioサイズの内紙に2ページずつ印刷します。
- A6 on A5**：各ページをA6サイズに縮小し、A5サイズの内紙に2ページずつ印刷します。
- Letter - Half on Letter**：各ページをLetter用紙の半分に収まるように縮小し、Letterサイズの内紙に2ページずつ印刷します。
- LT on LD**：各ページをLetterサイズに縮小し、Ledgerサイズの内紙に2ページずつ印刷します。
- 1/2 LG on LG**：各ページをLegal用紙の半分に収まるように縮小し、Legalサイズの内紙に2ページずつ印刷します。
- 1/2 Statement on Statement**：各ページをStatement用紙の半分に収まるように縮小し、Statementサイズの内紙に2ページずつ印刷します。
- 1/2 Comp on Comp**：各ページをComputer用紙の半分に収まるように縮小し、Computerサイズの内紙に2ページずつ印刷します。
- 1/2 13LG on 13LG**：各ページを13インチLegal用紙の半分に収まるように縮小し、13インチLegalサイズの内紙に2ページずつ印刷します。
- 1/2 8.5SQ on 8.5SQ**：各ページを8.5インチSQ用紙の半分に収まるように縮小し、8.5インチSQサイズの内紙に2ページずつ印刷します。
- 32K on 16K**：各ページを32Kサイズに縮小し、16Kサイズの内紙に2ページずつ印刷します。
- 16K on 8K**：各ページを16Kサイズに縮小し、8Kサイズの内紙に2ページずつ印刷します。

- 5 [ページの順番] からページの印刷順序を選択します。

- 6 [余白] で余白幅を設定します。

[中心]：見開き印刷されるページの中央の余白を設定します。16.90 mm (0.67インチ) まで入力することができます。余白の設定値分だけ印刷イメージは縮小されます。

[外側]：ページの上下左右の余白を設定します。29.60 mm (1.17インチ) まで入力することができます。余白の設定値分だけ印刷イメージは縮小されます。

[単位]：余白の単位を選択します。

補 足

[中心の余白を無くす] を選択すると、[中心] の設定値が無効となり、中央の余白を0 mm (0インチ) に設定できます。

7 用紙の中央部分で中折りして出力する場合は、[中折り] を選択します。

注意

[中折り] は、サドルステッチフィニッシャを装着した場合にのみ有効です。

8 用紙の中央部分を2か所ホチキス留めして出力する場合は、[サドルステッチを使用する] を選択します。

注意

[サドルステッチを使用する] は、サドルステッチフィニッシャ装着時のみ有効です。

9 [OK] をクリックします。

10 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。

11 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

注意

サドルステッチフィニッシャが装着されており、[中折り] を有効にした場合、印刷ジョブは中折りされて出力されます。サドルステッチフィニッシャが装着されていない場合には、手動で出力紙の中央に折り目を入れてください。

■ 複数ページを1枚の用紙に印刷する

ページ集約印刷は、複数ページを1枚の用紙にレイアウトして印刷する機能です。ページの多い文書の体裁を確認したい場合などに便利です。たとえば、ページが長いWebページや、プレゼンテーション用ドキュメントなどにページ集約印刷を使用すると、効率的に文書の全体を確認することができます。また、用紙の使用量を削減することもできます。

補足

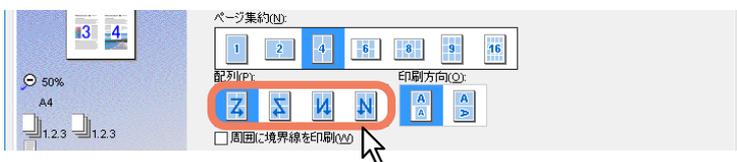
ページ集約印刷時にオーバーレイを選択すると、印刷される用紙ごとにオーバーレイファイルが印刷されます。用紙上にレイアウトされるページごとにオーバーレイファイルを印刷したい場合は、[効果] タブの [オーバーレイファイル] 設定で、[ページ毎に印刷] をオンにします。

- 1 [仕上げ] タブを選択します。
- 2 [ページ集約] からレイアウト方法を選択します。



- 2 in 1 : 2ページを1枚の用紙に印刷します。
- 4 in 1 : 4ページを1枚の用紙に印刷します。
- 6 in 1 : 6ページを1枚の用紙に印刷します。
- 8 in 1 : 8ページを1枚の用紙に印刷します。
- 9 in 1 : 9ページを1枚の用紙に印刷します。
- 16 in 1 : 16ページを1枚の用紙に印刷します。

- 3 [配列] で、用紙にページをどのように並べるかを選択します。



- 左から右：ページを左上から右下に横方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。
- 右から左：ページを右上から左下に横方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。
- 縦列で左から右：ページを左上から右下に縦方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。
- 縦列で右から左：ページを右上から左下に縦方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。

補足

[配列] で選択できる項目の種類は、[ページ集約] で選択したページのレイアウト方法により異なります。

- 4 縦横が混在している原稿を印刷するときは、[印字方向] で印刷する向きを選択します。
印刷画像が同じ方向：原稿方向と同じ向きで縮小して印刷します。
用紙が同じ方向：印刷向きを原稿方向から90度回転させて印刷します。
- 5 ページごとに境界線を印刷するときは、[周囲に境界線を印刷] を選択します。
- 6 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 7 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ ホチキス留めにする

部ごとに用紙をホチキス留めにして出力することができます。

注意

ホチキス印刷は、フィニッシャ装着時のみ有効です。

- 1 【仕上げ】 タブを選択します。
- 2 【ホチキス】 から留める位置を選択します。



- 上段左：用紙の左上をホチキス留めして排紙します。
- 上段右：用紙の右上をホチキス留めして排紙します。
- 上段（2か所）：用紙の上部2か所をホチキス留めして排紙します。
- 左（2か所）：用紙の左側2か所をホチキス留めして排紙します。
- サドルステッチ：用紙の中央2か所をホチキス留めし中折りして排紙します。

注意

- 選択できる項目は、お使いの機種、用紙サイズおよび用紙の向きによって異なります。
- 【サドルステッチ】は、サドルステッチフィニッシャ装着時に有効です。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【OK】 をクリックします。
- 4 【プリント】（または【印刷】、【OK】 など） をクリックし、印刷ジョブを送信します。
用紙をホチキス留めして出力します。

■ パンチ穴をあける

印刷用紙にとじるための穴を開けて排紙することができます。

注意

パンチ印刷は、ホールパンチユニット装着時のみ有効です。

- 1 【仕上げ】 タブを選択します。
- 2 【パンチ】 から穴の位置を選択します。



- 左：左側2か所に綴じ穴を開けて出力します。
- 上段：上部2か所に綴じ穴を開けて出力します。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【OK】 をクリックします。
- 4 【プリント】（または【印刷】、【OK】 など） をクリックし、印刷ジョブを送信します。
用紙に綴じ穴を開けて出力します。

■ 余白を変更する

ページの余白を設定します。通常、お使いのアプリケーションで余白を設定できます。アプリケーションで設定できない場合にご使用ください。

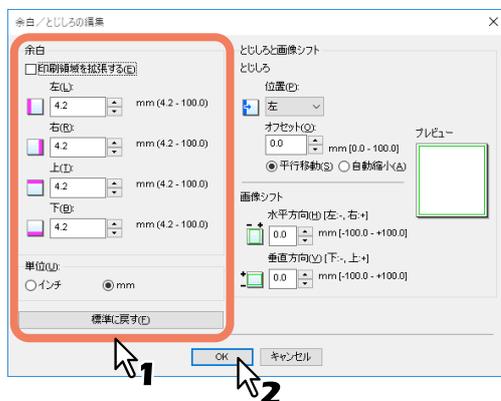
注意

- ・ [両面印刷] で [製本] が設定されている場合は、この機能は無効です。
- ・ この機能では、製本印刷のとじしろは設定できません。

- 1 [仕上げ] タブを選択します。
- 2 [余白/とじしろを編集する] を選択し、[詳細] をクリックします。



- 3 余白を設定し、[OK] をクリックします。



印刷領域を拡張する：印刷領域を拡張する場合に選択します。

注意

本機は縁なし印刷には対応していません。余白を0 mmに設定した場合でも、本機の制限により端まで印刷できない部分があります。

余白：4.2～100 mmの範囲で値を入力します。

単位：[mm] または [インチ] から、値の単位を選択します。

標準に戻す：[余白/とじしろの編集] の設定を初期設定に戻します。

- 4 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 5 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

補足

余白を0 mmに設定した場合の印刷領域は以下のようになります。*

- ・ e-STUDIO5015AC Series/e-STUDIO7516AC Series/e-STUDIO8518A Series: 上 (用紙先端) 4.2 mm、下 (用紙後端) 3.5 mm、左右 (両端) 2.0 mm
- ・ e-STUDIO5018A Series: 上 (用紙先端) 4.0 mm、下 (用紙後端) 2.5 mm、左右 (両端) 2.0 mm

* [305 x 457 mm]、[320 x 450 mm]、[320 x 460 mm]、[13 x 19"] の用紙は除く。

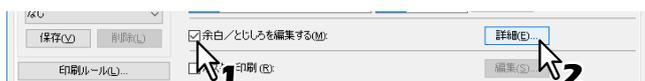
■ とじしろと画像シフトを設定する

ページの余白とは別に、ホチキス留めやパンチ穴の位置にとじしろを追加することができます。また、印刷イメージを移動することができます。

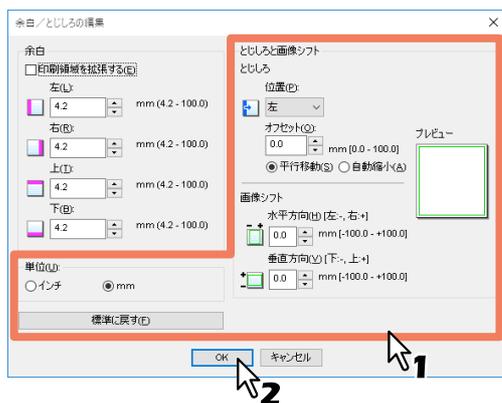
注意

- [両面印刷] で [製本] が設定されている場合は、この機能は無効です。
- [ポスター印刷] が設定されている場合は、この機能は無効です。
- この機能では、製本印刷のとじしろは設定できません。

- 1 [仕上げ] タブを選択します。
- 2 [余白/とじしろを編集する] を選択し、[詳細] をクリックします。



- 3 [とじしろ] でとじしろの位置と幅を設定します。
[画像シフト] で印刷イメージのシフト量を設定します。



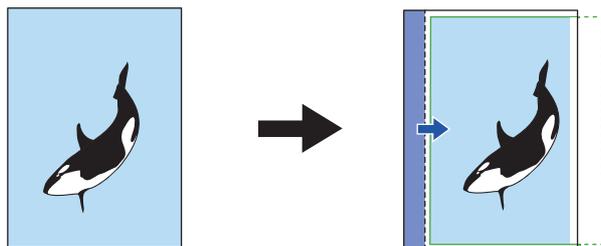
- **位置**：とじしろの位置を [左] / [右] / [上] / [下] から選択します。
[オフセット] が0.1 mm以上でとじしろが設定されます。
- **オフセット**：とじしろ幅を0.0 mm～100 mmの範囲で設定します。

補足

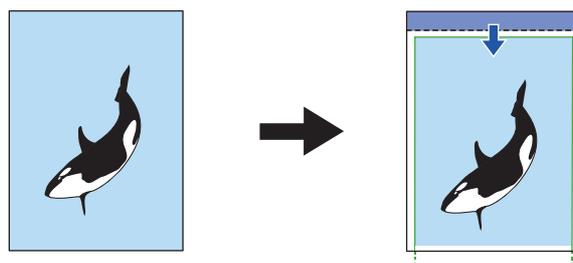
両面印刷の場合、裏面のとじしろは表面とは反対側に作られます。

- **平行移動**：[オフセット] で設定した数値に合わせて印刷イメージが移動します。
とじしろの位置が [左] または [右] に設定されている場合は横方向に移動し、[上] または [下] に設定されている場合は縦方向に移動します。

例：とじしろの位置が [左] に設定されている場合

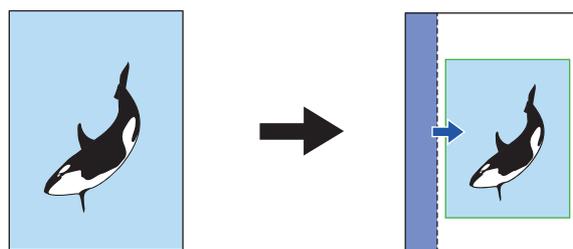


例：とじしろの位置が [上] に設定されている場合



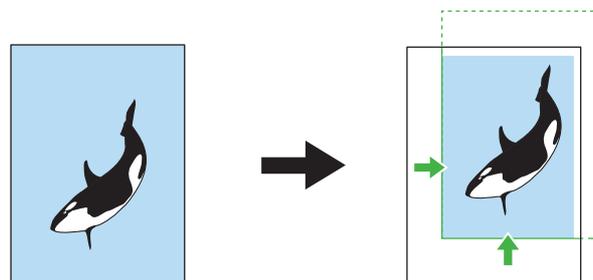
- 自動縮小：用紙に収まるように印刷イメージと印刷領域を自動的に縮小して配置します。

例：とじしろの位置が [左] に設定されている場合



- 水平方向 [左:-, 右:+]：印刷イメージを印刷領域内の右または左方向に移動することができます。-100 ~+100 mmの範囲で数値を入力します。
- 垂直方向 [下:-, 上:+]：印刷イメージを印刷領域内の上または下方向に移動することができます。-100 ~+100 mmの範囲で数値を入力します。

例：水平、垂直方向ともにプラスの数値が設定されている場合



- プレビュー：設定した [とじしろ] と [画像シフト] を表示します。
帯（青）：とじしろの位置
[オフセット] が0.1 mm以上で表示されます。
矢印（青）：印刷領域の移動方向
枠（緑）：印刷領域
矢印（緑）：印刷イメージの移動方向
- 単位：[mm] または [インチ] から、値の単位を選択します。
- 標準に戻す：[余白/とじしろの編集] の設定を初期設定に戻します。

注意

用紙から印刷領域や印刷イメージがはみ出した場合は、はみ出た部分が切り取られて印刷されます。

- 4 [OK] をクリックして [余白/とじしろの編集] ダイアログボックスを閉じます。
- 5 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 6 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 1ページを複数枚の用紙に分割して印刷する（ポスター印刷）

1つの印刷ジョブを複数の用紙に分割して印刷します。分割して印刷された用紙をつなぎあわせれば、ポスターのように大きな用紙の印刷物を作成することができます。

注意

- ポスター印刷は、ユーザ設定サイズ、ページ集約印刷、両面印刷、スタンプ、オーバーレイ、シート挿入を設定している場合、実行できません。
- ポスター印刷は、[基本] タブの [印刷用紙サイズ] で以下のサイズを選択した場合にのみ設定できます。お使いになる機種により選択できる用紙サイズは異なります。
A4、A3、B4、B5、LT、LD

1 [仕上げ] タブを選択します。

2 [ポスター印刷] を選択し、[編集] をクリックします。



3 [分割枚数] で、何枚の用紙に分割するかを選択し、[OK] をクリックします。



1x2：印刷ジョブを2枚の用紙に分割して印刷します。

2x2：印刷ジョブを4枚の用紙に分割して印刷します。

3x3：印刷ジョブを9枚の用紙に分割して印刷します。

4x4：印刷ジョブを16枚の用紙に分割して印刷します。

注意

- [1x2] は、印刷用紙サイズをA4、A3、B4またはB5にした場合のみ選択できます。
- ポスター印刷を行う場合は、[カスタム] タブの [白紙は印字しない] をオフにしてください。オンのままでポスター印刷を行うと、分割した結果、白紙となったページは印刷されません。

4 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。

5 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

節約に関する機能

用紙やトナーを節約する機能について説明します。

- 📖 P.42 「両面印刷する」
- 📖 P.42 「複数ページを1枚の用紙に印刷する」
- 📖 P.42 「白紙は印刷しないようにする」
- 📖 P.42 「トナーを節約する」

■ 両面印刷する

用紙の両面に印刷し、用紙を節約します。

- 📖 P.33 「両面印刷する」

■ 複数ページを1枚の用紙に印刷する

複数ページを1枚の用紙にレイアウトして印刷します。用紙の使用量を削減することができます。

- 📖 P.36 「複数ページを1枚の用紙に印刷する」

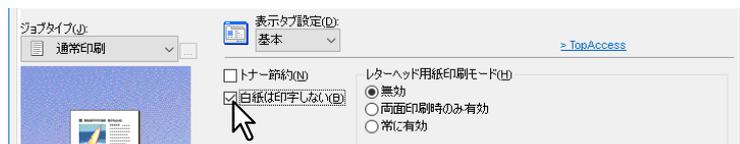
■ 白紙は印刷しないようにする

印刷原稿の白紙ページを印刷しません。

注意

- ・ スタンプが設定されている場合は、白紙もすべて印字されます。
- ・ ヘッダやフッタを含む文書を印刷する場合、内容がないページも印刷されます。

- 1 [カスタム] タブを選択します。
- 2 [白紙は印字しない] を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

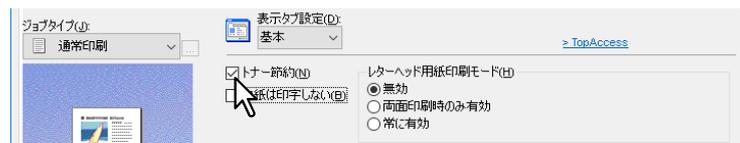
■ トナーを節約する

トナー節約モードで印刷します。

注意

トナー節約モードで印刷すると、印字が薄くなる場合があります。

- 1 [カスタム] タブを選択します。
- 2 [トナー節約] を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

別の用紙を挿入する

原稿の指定したページに表紙や裏表紙、用紙シートを挿入する機能です。種類の違う文書内容を区切るときなどに、色紙や索引用紙などを指定して挿入できます。また、空白シートや印刷したシートを挿入することもできます。

- 📖 P.43 「表紙および裏表紙を挿入する」
- 📖 P.44 「指定したページに用紙を挿入する」
- 📖 P.45 「1ページごとに用紙を挿入する」

■ 表紙および裏表紙を挿入する

表紙（裏表紙）に違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙を挿入できます。また、違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙に文書の最初（最後）のページを印刷することができます。

- 1 【挿入】 タブを表示します。
- 2 表紙を挿入するときは、【表紙挿入】 を選択し、【用紙カセット】 ボックスから表紙に使用する用紙の給紙元を選択します。【出力形式】 ボックスから表紙の印刷方法を選択します。



出力形式

空白：何も印刷せずに用紙を挿入します。

片面印刷：文書の最初のページを用紙の表面に印刷します。

両面印刷：文書の最初の2ページを用紙の両面に印刷します。

注意

- 【用紙カセット】 で【自動カセット選択】 を選んだ場合は、本文の印刷サイズに合わせて、同じ用紙サイズが設定されたカセットから給紙します。
- 厚紙を挿入する場合は、【手差しトレイ】 を選択し、プリンタドライバの【デバイス設定】 タブのカセット設定で、手差しトレイの用紙種別に【厚紙】 を設定します。
- 【仕上げ】 タブで両面印刷が有効に設定されているときに、【両面印刷】 を選択することができます。

- 3 裏表紙を挿入するときは、【裏表紙挿入】 を選択し、表紙挿入と同様に【用紙カセット】 および【出力形式】 を設定します。



- 4 ほかの印刷機能を設定し、【OK】 をクリックします。
- 5 【プリント】（または【印刷】、【OK】 など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 指定したページに用紙を挿入する

ページ間へのシート挿入印刷を設定します。指定したページの間違うトレイから給紙した用紙を挿入したり、違うトレイから給紙した用紙に指定したページを印刷することができます。この機能は、印刷文書の各章の間に空白シートを挿入するときや、章の扉ページを本文とは違う用紙に印刷するときなどに便利です。

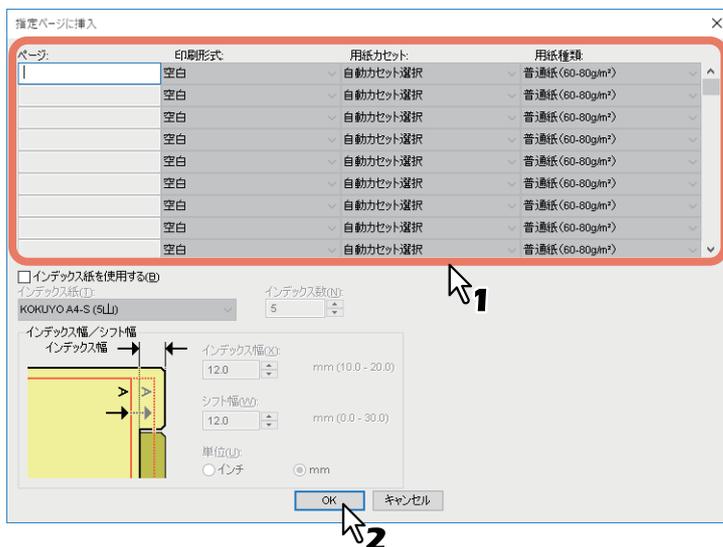
注意

挿入できるページ数は、最大50ページまでです。

- 1 【挿入】 タブを表示します。
- 2 【指定ページに挿入】 を選択し、【編集】 をクリックします。



- 3 【ページ】 ボックスにページを挿入するページ番号を入力し、挿入ページに適用する【印刷形式】【用紙カセット】【用紙種類】をそれぞれ選択して、【OK】 をクリックします。



- 4 ほかの印刷機能を設定し、【OK】 をクリックします。
- 5 【プリント】 (または【印刷】、【OK】 など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 1ページごとに用紙を挿入する

印刷ジョブの各ページの間それぞれ用紙を挿入する機能です。たとえば、OHP用紙の間に空白シートや色紙などを挿入するときなどに便利です。

- 1 [挿入] タブを表示します。
- 2 [1ページ毎に挿入] を選択し、[用紙カセット] から、挿入シートに使用する用紙の給紙元を選択します。



注意

- [用紙カセット] で [自動カセット選択] を選んだ場合は、本文の印刷サイズに合わせて、同じ用紙サイズが設定されたカセットから給紙します。
 - 厚紙を挿入する場合は、[手差しトレイ] を選択し、プリンタドライバの [デバイス設定] タブのカセット設定で、手差しトレイの用紙種別に [厚紙] を設定します。
- 3 各挿入シートに印刷文書の前ページを印刷する場合は、[複製する] を選択します。
挿入シートすべてにそれぞれの前ページと同じページイメージが印刷されます。
 - 4 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
 - 5 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

色や画質に関する設定

- 📖 P.46 「印刷色を指定する」
- 📖 P.48 「原稿に合わせて画質を選択する」
- 📖 P.50 「画質を調整したいときは」

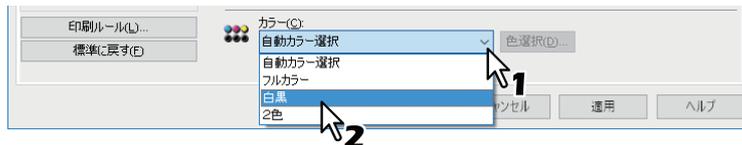
■ 印刷色を指定する

- 📖 P.46 「カラー文書を白黒で印刷する」
- 📖 P.46 「カラー文書を2色で印刷する」
- 📖 P.47 「文字を黒で印刷する」
- 📖 P.47 「白黒反転させて印刷する」

□ カラー文書を白黒で印刷する

本機は、カラー印刷同様、白黒印刷を行うこともできます。プリンタドライバは、印刷文書のカラーモードを自動認識し、カラー文書はカラーで、白黒文書は白黒で印刷します。印刷費やカラートナーの消費を抑えるために、手動で白黒モードを選択し、カラー文書を白黒で印刷することもできます。

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [カラー] で [白黒] を選択します。

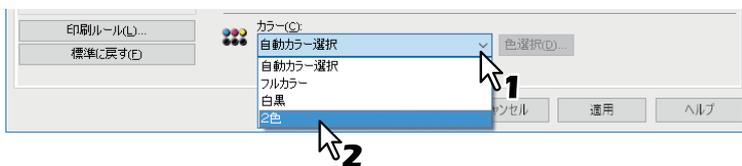


- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ カラー文書を2色で印刷する

本機は、カラー文書を2色印刷することもできます。2色印刷を行うと、文書の黒い部分は黒色で印刷し、そのほかのカラー部分を指定した色で印刷することができます。

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [カラー] で [2色] を選択します。



- 3 [色選択] をクリックします。
- 4 黒以外の部分に使用する色を選択し、[OK] をクリックします。



- 5 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。

6 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

文字を黒で印刷する

白文字を除き、テキストをすべて黒で印刷します。

注意

この機能は、以下のプリンタドライバをお使いの場合のみ有効です。

- Universal Printer 2
- Universal XPS

- 1 [画質] タブを選択します。
- 2 カラー MFPの場合は、[詳細設定] をクリックし、[基本] タブを選択します。
- 3 [文字を黒で印刷する] を選択します。



- 4 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 5 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

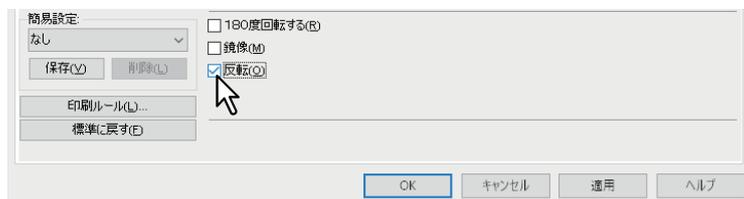
白黒反転させて印刷する

白黒反転させて印刷します。

注意

- この機能は、以下のプリンタドライバをお使いの場合のみ有効です。
 - Universal Printer 2 (PostScript)
 - Universal XPS
 - Universal PS3
- [基本] タブの [カラー] で [白黒] を選択した場合のみ有効です。

- 1 [効果] タブを選択します。
- 2 [反転] を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 原稿に合わせて画質を選択する

📖 P.48 「原稿種類を選択する」

📖 P.49 「原稿種類を作成する」

□ 原稿種類を選択する

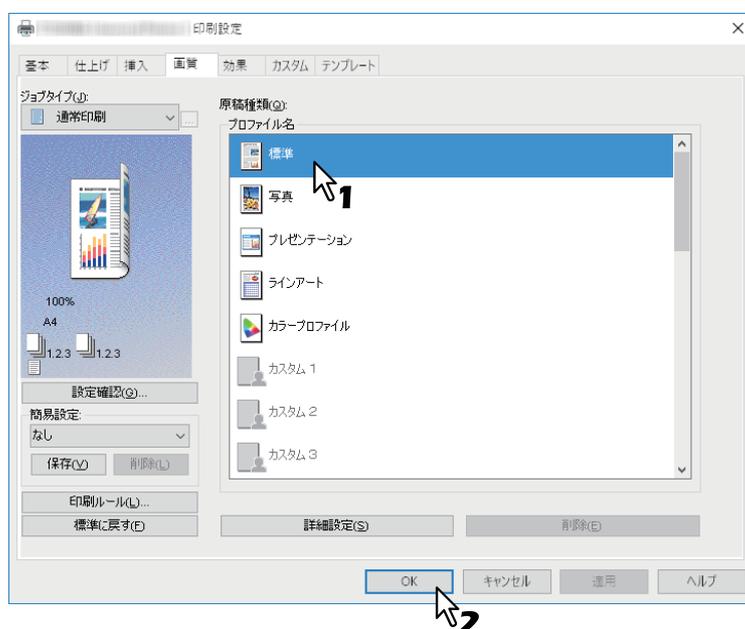
原稿種類に応じて適切な画質を適用します。あらかじめ登録されている原稿種類を選択するか、または作成したカスタム原稿種類を選択することができます。カスタム原稿種類の作成は、[詳細設定] をクリックして行います。

📖 P.49 「原稿種類を作成する」

注意

この機能は、お使いの機種がカラー MFP の場合にのみ設定できます。

- 1 [画質] タブを選択します。
- 2 [原稿種類] で、あらかじめ登録されている原稿種類または作成したカスタム原稿種類を選択し、[OK] をクリックします。



標準：通常のカラー文書用の設定です。

写真：写真用の設定です。

プレゼンテーション：プレゼンテーション用の設定です。

ラインアート：多くの文字やラインアートで構成される文書用の設定です。

カラープロファイル：カラースペースを調整するプロファイルを適用します。

注意

[基本] タブの [カラー] で [白黒] または [2色] を選択した場合は、[標準] の設定となります。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

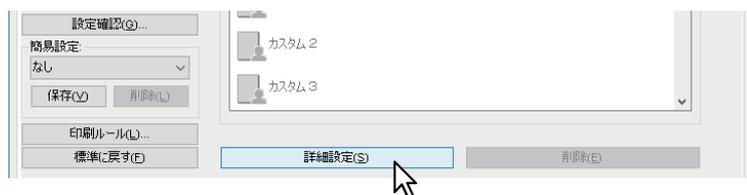
□ 原稿種類を作成する

カスタム原稿種類を作成します。

注意

この機能は、お使いの機種がカラー MFPの場合にのみ設定できます。

- 1 [画質] タブを選択します。
- 2 [詳細設定] をクリックします。



- 3 [基本] タブで、[現在の設定を保存する] を選択します。



注意

この機能は、[デバイスとプリンター] フォルダ (Windows Server 2008では [プリンタ] フォルダ) からプリンタドライバのプロパティを表示した場合のみ有効です。

- 4 [設定名] に、保存するカスタム原稿種類の名前を入力します。

補足

あらかじめ登録されている原稿種類の設定名 ([標準] [写真] [プレゼンテーション] [ラインアート] [カラープロファイル]) を入力しても、あらかじめ登録されている原稿種類の設定は上書きされません。指定した名前で、新規のカスタム原稿種類として保存されます。

- 5 画質に関する機能を設定します。
設定項目の詳細は、プリンタドライバヘルプを参照してください。
P.143 「プリンタドライバヘルプについて」
- 6 [OK] をクリックし、カスタム原稿種類を保存します。

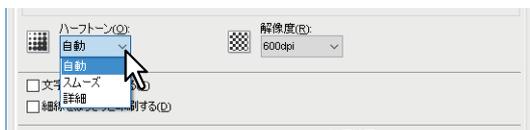
■ 画質を調整したいときは

- 📖 P.50 「薄い部分の模様が気になる（ハーフトーン）」
- 📖 P.50 「テキストやグラフィックスをなめらかにする（スムージング）」
- 📖 P.51 「細い線をはっきりと印刷する」
- 📖 P.51 「濃度やカラーバランスを調整する」
- 📖 P.52 「画質が粗い（解像度）」

□ 薄い部分の模様が気になる（ハーフトーン）

ハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。

- 1 [画質] タブを選択します。
- 2 カラー MFP の場合は、[詳細設定] をクリックし、[基本] タブを選択します。
- 3 [ハーフトーン] でハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。



- 自動：自動的に適したハーフトーンで印刷します。
- 詳細：ハーフトーンを処理する密度を高くして印刷します。
- スムーズ：ハーフトーンの階調をなめらかに印刷します。

- 4 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 5 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

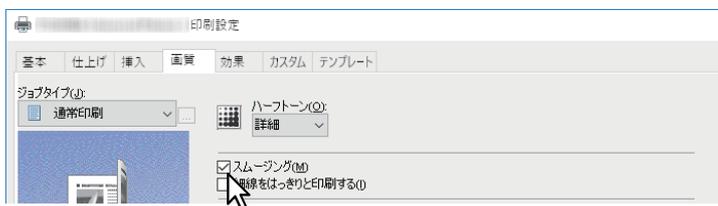
□ テキストやグラフィックスをなめらかにする（スムージング）

テキストやグラフィックスをなめらかに印刷します。

注意

この機能は、お使いの機種がモノクロMFPの場合にのみ設定できます。

- 1 [画質] タブを選択します。
- 2 [スムージング] を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

細い線をはっきりと印刷する

細線をはっきりと印刷します。

- 1 [画質] タブを選択します。
- 2 カラー MFPの場合は、[詳細設定] をクリックし、[基本] タブを選択します。
- 3 [細線をはっきりと印刷する] を選択します。



- 4 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 5 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

濃度やカラーバランスを調整する

注意

この機能は、お使いの機種がカラー MFPの場合にのみ設定できます。

- 1 [画質] タブを選択します。
- 2 [詳細設定] をクリックします。
- 3 [カラーバランス] タブ、[画質調整] タブで画質の詳細を設定します。



設定方法は、以下を参照してください。
 本 P.111 「[画質] タブ」

- 4 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 5 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ 画質が粗い（解像度）

印刷の解像度を設定します。

- 1 【画質】 タブを選択します。
- 2 カラー MFPの場合は、【詳細設定】 をクリックし、【基本】 タブを選択します。
- 3 【解像度】 で数値を指定します。



- 600dpi : 600 x 600 dpiの解像度で印刷します。
- 1200dpi : 1200 x 1200 dpiの解像度で印刷します。
- 600 x 1200dpi : 600 x 1200 dpiの解像度で印刷します。

注意

- 【1200dpi】 は、Universal Printer 2 (PostScript) / Universal PS3プリンタドライバを使用し、以下の機種で印刷をする場合のみ有効となります。
 - e-STUDIO5015AC Series
 - e-STUDIO5018A Series
 - e-STUDIO7516AC Series
 - e-STUDIO8518A Series
- 【600 x 1200dpi】 は、Universal Printer 2 (PostScript) / Universal PS3プリンタドライバを使用し、以下の機種で印刷をする場合のみ有効となります。
 - e-STUDIO2010AC
- 【画質】 タブの【原稿種類】 で【写真】 または【プレゼンテーション】 を選択した場合、【1200dpi】、【600 x 1200dpi】 は表示されません。
- 【1200dpi】 で印刷する場合、以下の機能は使用できません。
 - オートトラッピング
- 【600 x 1200dpi】 で印刷する場合、以下の機能は使用できません。
 - 縦横交互排紙
 - オートトラッピング
- 【1200dpi】 または【600 x 1200dpi】 を選択した場合、印刷速度が遅くなることがあります。
- 【600 x 1200dpi】 で印刷する場合、オートカセットチェンジの異方向用紙の許可は使用できません。
- 封筒または非定形サイズの内紙を使用する場合、カセットに用紙をセットする際に用紙の長い辺を手前側に向けてセットしたときのみ、オートカセットチェンジが利用できます。ただし、【600dpi】 を選択して印刷する場合は除きます。
- 封筒または非定形サイズの内紙を使用する場合、オートカセットチェンジの異方向用紙の許可は使用できません。

- 4 ほかの印刷機能を設定し、【OK】 をクリックします。
- 5 【プリント】（または【印刷】、【OK】 など） をクリックし、印刷ジョブを送信します。

印刷内容を付加する機能

印刷目的に合わせてさまざまな仕上げ機能を設定できます。ここでは、[効果] タブで設定できる下記機能について説明します。

📖 P.53 「文書上に薄い文字を重ねて印刷する（スタンプ）」

📖 P.56 「別のページイメージを重ねて印刷する（オーバーレイファイル）」

■ 文書上に薄い文字を重ねて印刷する（スタンプ）

スタンプは、「極秘」、「社外秘」、「ドラフト」、「オリジナル」、「コピー」などの文字列を印刷する文書に重ねた状態で用紙に印刷する機能です。スタンプによって印刷文書の種類や用途を一目で分かるように分類することができます。上記5つのスタンプは標準で登録されていますが、スタンプに使用する文字は自分で作成することもできます。

補足

スタンプはテキストだけです。グラフィックスなどを使う場合は、オーバーレイファイルを使用してください。

📖 P.53 「スタンプを印刷する」

📖 P.54 「スタンプを作成する／編集する」

📖 P.55 「スタンプを削除する」

□ スタンプを印刷する

- 1 [効果] タブを表示します。
- 2 [スタンプ] で印刷するスタンプを選択します。

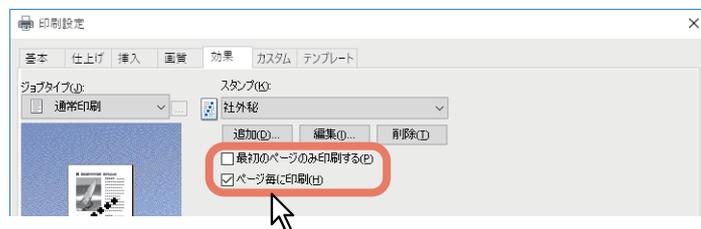


注意

スタンプは新たに作成することができます。

📖 P.54 「スタンプを作成する／編集する」

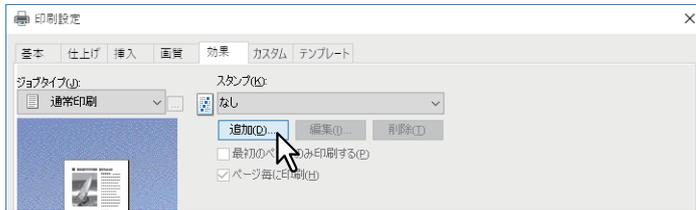
- 3 選択したスタンプを最初のページにのみ印刷する場合は、[最初のページのみ印刷する] を選択します。選択したスタンプをページごとに印刷する場合は、[ページ毎に印刷] を選択します。



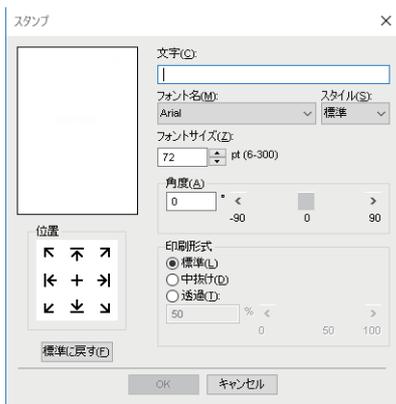
- 4 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 5 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ スタンプを作成する／編集する

- 1 [効果] タブで [追加] をクリックします。既存のスタンプを編集する場合は、目的のスタンプを選択し、[編集] をクリックします。



- 2 「スタンプ」ダイアログボックスで詳細を設定します。



文字：使用するテキストを入力します。半角・全角63文字まで入力することができます。

注意

文字数が多いとスタンプが正しく印刷できない場合があります。

位置：アイコンを選択して位置を指定します。

フォント名：フォントを選択します。

スタイル：スタイルを選択します。

フォントサイズ：フォントサイズを入力します。6 ptから300 ptの範囲を1 pt単位で設定できます。

色：色を選択します。希望する色がない場合は、[その他] をクリックして新たな色を追加します。

注意

- この機能は、お使いの機種がカラー MFPの場合にのみ設定できます。
- [基本] タブの [カラー] で [白黒] を選択している場合は、[色] は無効です。

角度：回転角度を入力します。-90～90（度）の範囲を1度単位で設定できます。スクロールバーを使って角度を設定することもできます。

印刷形式：スタンプテキストの印刷方法を選択します。

- 標準：指定した色で塗りつぶして印刷します。
- 中抜け：中抜きのフォントスタイルで印刷します。
- 透過：文書のテキストやオブジェクトの背面に透過して見えるように印刷します。透過率は、0～100（%）の範囲を1%単位で設定できます。スクロールバーを使って設定することもできます。

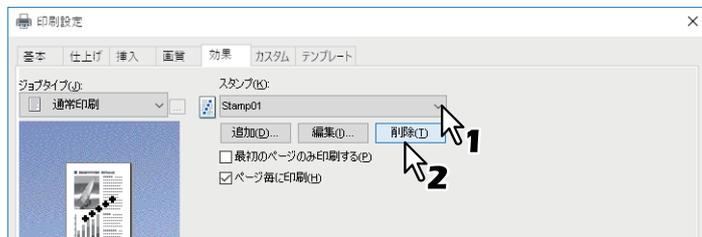
- 3 [OK] をクリックし、設定を保存します。

□ スタンプを削除する

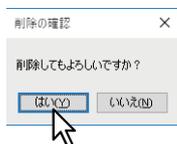
注意

標準で登録されているスタンプも削除することができます。ただし、削除した場合、[標準に戻す] をクリックしても元に戻すことはできません。

1 [スタンプ] で、削除するスタンプを選択し、[削除] をクリックします。



2 [はい] をクリックします。



スタンプが削除されます。

■ 別のページイメージを重ねて印刷する（オーバーレイファイル）

オーバーレイファイルは、印刷する文書にグラフィックスを重ねた状態で用紙に印刷する機能です。

📖 P.56 「オーバーレイファイルを保存する」

📖 P.57 「オーバーレイファイルを使用する」

📖 P.59 「オーバーレイファイルを削除する」

□ オーバーレイファイルを保存する

文書をオーバーレイファイルとして最大20個まで保存できます。作成したオーバーレイファイルは、ほかの印刷文書の背面または前面に印刷することができます。

注意

- 複数ページの文書をオーバーレイファイルとして保存した場合は、最初のページのみオーバーレイファイルとして保存されます。
- オーバーレイファイルとそのオーバーレイファイルを使用して印刷する文書は、同じ用紙サイズ、用紙の向き、カラーモード、解像度で作成または印刷する必要があります。

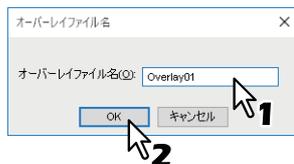
1 [基本] タブを選択します。

2 [ジョブタイプ] で [オーバーレイファイルで保存] を選択します。



3 [ジョブタイプ] の右側の [...] をクリックします。

4 オーバーレイファイルの名前を入力し、[OK] をクリックします。



半角・全角63文字まで入力できます。

5 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。

6 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。
文書がオーバーレイファイルとして保存されます。

□ オーバーレイファイルを使用する

テキスト、グラフィックス、チャート、表などによって構成された単ページ文書（または画像）を指定し、印刷文書の背面に印刷する機能です。スタンプ印刷より時間がかかる場合がありますが、グラフィックスを使用して詳細な表現ができます。印刷ジョブにオーバーレイファイルを使用するには、最初にオーバーレイファイルを作成する必要があります。

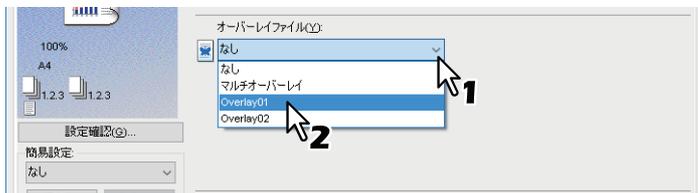
📖 P.56 「オーバーレイファイルを保存する」

注意

- ページ集約印刷時にオーバーレイを選択すると、印刷される用紙ごとにオーバーレイファイルが印刷されます。用紙上にレイアウトされるページごとにオーバーレイファイルを印刷したい場合は、[効果] タブの [オーバーレイファイル] 設定で、[ページ毎に印刷] をオンにします。
- オーバーレイファイルとそのオーバーレイファイルを使用して印刷する文書は、同じ用紙サイズ、用紙の向き、カラーモード、解像度で作成または印刷する必要があります。

1 [効果] タブを表示します。

2 [オーバーレイファイル] から使用するオーバーレイファイル名を選択します。

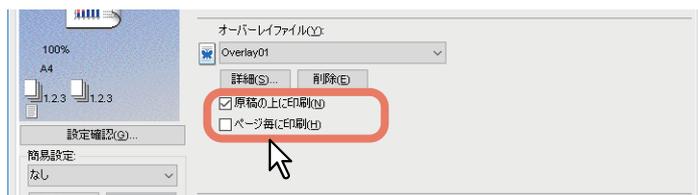


注意

奇数ページと偶数ページに異なるオーバーレイファイルを使用したり、指定したページ範囲にのみオーバーレイファイルを使用したい場合は、[マルチオーバーレイ] を選択して設定します。

📖 P.58 「マルチオーバーレイ」

3 選択したオーバーレイファイルを印刷文書に重ねて印刷する場合は、[原稿の上に印刷] を選択します。選択したオーバーレイファイルをページごとに印刷する場合は、[ページ毎に印刷] を選択します。

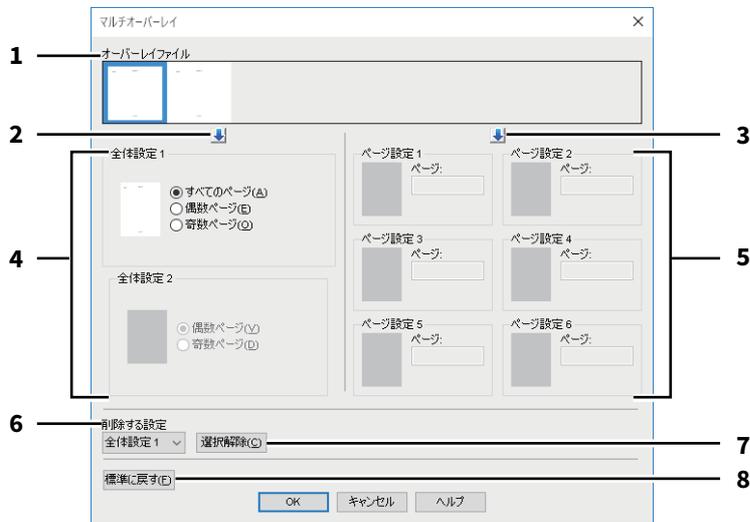


4 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。

5 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

マルチオーバーレイ

[オーバーレイファイル] で [マルチオーバーレイ] を選択するか、任意のオーバーレイを選択しているときに [詳細] をクリックすると、「マルチオーバーレイ」ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、どのオーバーレイファイルをどのページに使用するかを設定します。



1. オーバーレイファイル

登録したオーバーレイファイルがサムネイル表示されます。使用するオーバーレイファイルを選択します。

補足

オーバーレイファイルのサムネイル表示を、使用したいオーバーレイのグループ（全体設定 1/2、ページ設定 1~6）にドラッグアンドドロップして設定することもできます。ドロップしたグループにオーバーレイファイルがすでに設定されていた場合は、上書きされます。

2. [↓] (全体設定)

[オーバーレイファイル] で選択したオーバーレイファイルを、[全体設定] 欄に設定します。クリックするごとに、[全体設定 1] → [全体設定 2] の順に設定します。

3. [↓] (ページ設定)

[オーバーレイファイル] で選択したオーバーレイファイルを、[ページ設定] 欄に設定します。クリックするごとに、[ページ設定 1] → [ページ設定 2]・・・→ [ページ設定 6] の順に設定します。

4. 全体設定 1/2

選択したオーバーレイファイルの使用ページを、全ページ、または偶数・奇数ページごとに設定します。

- すべてのページ：オーバーレイファイルを、全ページに使用します。
- 偶数ページ：オーバーレイファイルを、偶数ページに使用します。
- 奇数ページ：オーバーレイファイルを、奇数ページに使用します。

注意

- 複数の全体設定を使用し、指定ページが重複した場合、[すべてのページ] の設定よりも、[偶数ページ] / [奇数ページ] の設定が優先されます。
- [全体設定] と [ページ設定] で設定内容が重複した場合、[ページ設定] の設定が優先されます。

5. ページ設定 1/2/3/4/5/6

オーバーレイファイルの使用ページを、ページ番号で設定します。複数のページを指定する場合は「1,3,5」のように「,」で区切ります。ページ範囲で指定する場合は「6-10」のように最初と最後のページを「-」でつなぎます。

- ページ：オーバーレイファイルを、指定したページに使用します。

注意

複数のページ設定を使用し、指定ページが重複した場合、後から設定した内容が優先されます。

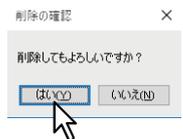
- 6. 削除する設定
削除したいオーバーレイファイルの設定を選択します。
- 7. 【選択解除】
【削除する設定】で選択したオーバーレイファイルの設定を削除します。
- 8. 【標準に戻す】
「マルチオーバーレイ」ダイアログボックスの設定を初期設定に戻します。

□ **オーバーレイファイルを削除する**

1 【オーバーレイファイル】で、削除するオーバーレイファイルを選択し、【削除】をクリックします。



2 【はい】をクリックします。



オーバーレイファイルが削除されます。

本体にジョブを保存してから出力する

印刷ジョブを処理する方法には、通常印刷のほかに、[予約印刷]、[プライベート印刷]、[お試し印刷]、[ホールド印刷]、[マルチステーション印刷]、[本体に保存]、[ジョブタイプの組み合わせ] があります。

- 📖 P.60 「指定した日時にジョブを印刷する（予約印刷）」
- 📖 P.61 「機密文書を印刷する（プライベート印刷）」
- 📖 P.62 「1部を確認してから残りを印刷する（お試し印刷）」
- 📖 P.63 「保留状態で印刷ジョブを送る（ホールド印刷）」
- 📖 P.64 「別の複合機から印刷する（マルチステーション印刷）」
- 📖 P.65 「本体のボックスに保存する（本体に保存）」
- 📖 P.68 「条件を組み合わせで印刷する」

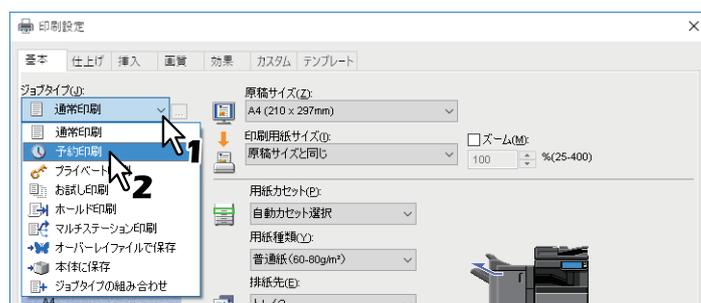
■ 指定した日時にジョブを印刷する（予約印刷）

ジョブを印刷する日付と時間を指定することができます。混雑時を避けて後で印刷を行う場合に便利です。

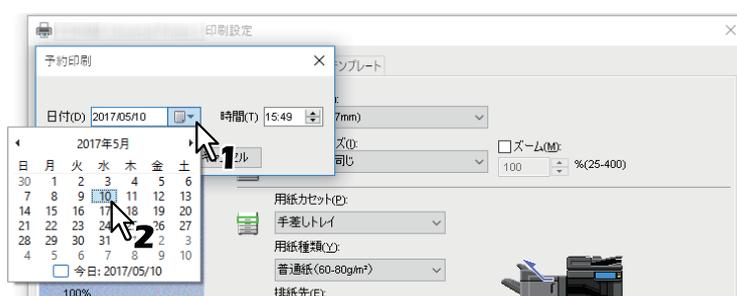
注意

予約印刷を行う前に、本機とお使いのコンピュータの日時を合わせておいてください。

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [ジョブタイプ] で [予約印刷] を選択します。



- 3 [ジョブタイプ] の右側の [...] をクリックします。
- 4 [日付] をクリックし、カレンダー画面を表示させます。カレンダーから印刷を行う日付を指定します。



- 5 [時間] を選択し、[▲] または [▼] をクリックし、印刷を行う時間を指定します。



時を変更するには、時の値を選択し、[▲]、[▼] をクリックします。分を変更するには、分の値を選択し、[▲]、[▼] をクリックします。

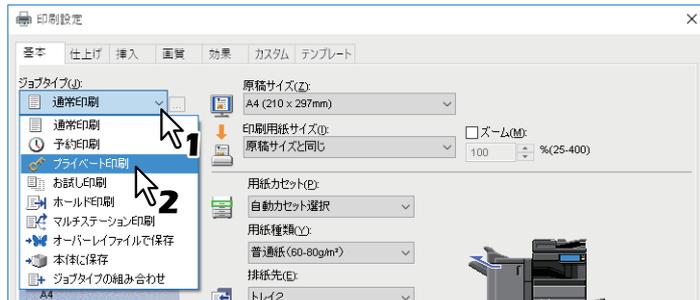
- 6 [OK] をクリックします。
- 7 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。

- 8 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。
印刷ジョブがジョブキューに保存され、指定した日時に印刷が実行されます。

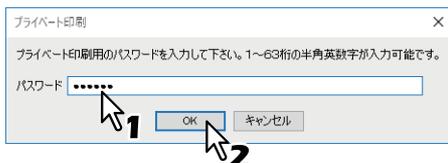
■ 機密文書を印刷する (プライベート印刷)

印刷ジョブにパスワードを設定し、タッチパネルから印刷を実行するまで印刷ジョブを保留します。ほかの人に見られたくない機密文書などを印刷するときに使用します。

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [ジョブタイプ] で [プライベート印刷] を選択します。



- 3 [ジョブタイプ] の右側の [...] をクリックします。
- 4 パスワードを入力し、[OK] をクリックします。



プライベート印刷ジョブとして本機に保存されます。

注意

- 1~63文字のパスワードを入力します。パスワードには、半角の英数字および記号 (0x21 ~ 0x7E までのASCIIコードの文字) を使用できます。
- ここで設定したパスワードを本機のタッチパネルから入力すると、ジョブの印刷が実行されます。パスワードを忘れてしまうと、ジョブを印刷することができなくなるのでご注意ください。

- 5 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 6 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。
印刷ジョブがタッチパネルのプライベートジョブ一覧に保存されます。
- 7 タッチパネルのホーム画面で [プリント] を押します。
- 8 タッチパネルでジョブタイプから [プライベート印刷] を選択します。

補足

プライベート印刷ジョブ一覧画面が表示されていない場合は、ジョブタイプで [プライベート印刷] を選択します。

- 9 目的のユーザ名を選択し、[OK] を押します。

補足

[カスタム] タブの [表示ユーザ名] に任意のユーザ名を入力して印刷ジョブを送信した場合は、そのユーザ名がプライベート印刷ジョブ一覧に表示されます。入力せずに送信した場合には、初期値のログインユーザ名が表示されます。

10 プライベート印刷のパスワードを入力し、[OK] を押します。

- [表示ユーザ名] に初期値のログインユーザ名を使用した場合：
同じパスワードが設定されているプライベート印刷ジョブが一覧表示されます。
- [表示ユーザ名] に任意のユーザ名を入力した場合：
同じユーザ名かつ同じパスワードが設定されているプライベート印刷ジョブが一覧表示されます。

11 プライベート印刷ジョブ一覧画面より印刷したい文書名を選択し、[印刷] を押します。

■ 1部を確認してから残りを印刷する（お試し印刷）

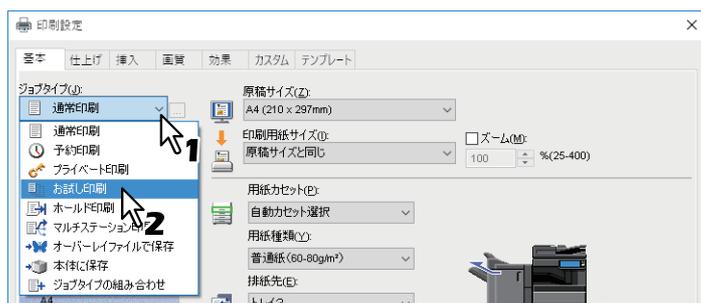
お試し印刷は、確認用に1部だけサンプルを印刷する機能です。この機能を使用すれば、間違った印刷設定などによる用紙の無駄遣いなどを削減できます。出力結果を確認したうえで、ジョブをそのまま印刷するか削除するかを選択します。

注意

複数部数の印刷ジョブを別々の印刷ジョブとして送信するアプリケーションを使用している場合は、お試し印刷を設定しても、指定した部数すべてが印刷されてしまいます。この場合は、印刷する部数を1部に設定しお試し印刷した後、タッチパネルで部数を変更して印刷してください。

1 [基本] タブを選択します。

2 [ジョブタイプ] で [お試し印刷] を選択します。



3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。

4 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。
サンプルが1部印刷され、印刷ジョブ（残り部数）は本機に保存されます。

5 タッチパネルのホーム画面で [プリント] を押します。

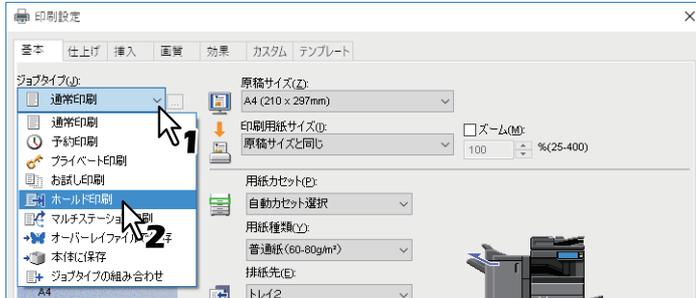
6 タッチパネルでジョブタイプから [お試し印刷] を選択します。

7 お試し印刷ジョブ一覧画面より印刷したいジョブを選択し、[印刷] を押します。

■ 保留状態で印刷ジョブを送る（ホールド印刷）

本機のタッチパネルから印刷を実行するまで印刷ジョブを保留します。出力紙の取り忘れを防ぐために便利な機能です。

- 1 【基本】 タブを選択します。
- 2 【ジョブタイプ】 で【ホールド印刷】 を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、【OK】 をクリックします。
- 4 【プリント】（または【印刷】、【OK】 など） をクリックし、印刷ジョブを送信します。
ホールド印刷ジョブとして本機に保存されます。
- 5 タッチパネルのホーム画面で【プリント】 を押します。
- 6 タッチパネルでジョブタイプから【ホールド印刷】 を選択します。
- 7 目的のユーザ名を選択し、【OK】 を押します。

補足

【カスタム】 タブの【表示ユーザ名】 に任意のユーザ名を入力して印刷ジョブを送信した場合は、そのユーザ名がホールド印刷ジョブ一覧に表示されます。入力せずに送信した場合には、コンピュータのログインユーザ名が表示されます。

- 8 ホールド印刷ジョブ一覧画面より印刷したいジョブを選択し、【印刷】 を押します。

補足

- 【表示ユーザ名】 に初期値のログインユーザ名を使用した場合：
選択したユーザが登録したホールド印刷ジョブが一覧表示されます。
- 【表示ユーザ名】 に任意のユーザ名を入力した場合：
同じユーザ名を使って登録したホールド印刷ジョブがすべて一覧表示されます。

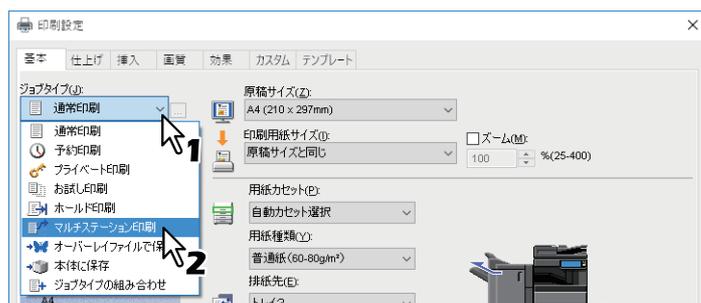
■ 別の複合機から印刷する（マルチステーション印刷）

本機に送信したジョブを別の複合機から印刷することができます。

注意

[マルチステーション印刷] 機能を使用するには、マルチステーション印刷オプションが必要です。マルチステーション印刷の設定については、**TopAccessガイド**を参照してください。

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [ジョブタイプ] で [マルチステーション印刷] を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。
マルチステーション印刷ジョブとして本機に保存されます。
- 5 タッチパネルのホーム画面で [プリント] を押します。
- 6 タッチパネルでジョブタイプから [マルチステーション印刷] を選択します。
- 7 ジョブ一覧画面から印刷したいジョブを選択し、[印刷] を押します。

[印刷設定] を押すと、印刷設定を変更できます。

[再印刷リスト] を押すと、再印刷可能なジョブが表示されます。

■ 本体のボックスに保存する（本体に保存）

この機能は、印刷ジョブをお使いのアプリケーションから本機の内蔵ストレージへ送信し、保存する機能です。保存したジョブは、タッチパネルから印刷出力したり、ファイリングボックスWebユーティリティを使って、ほかの文書と合成することもできます。ジョブの保存先には、共有ボックスまたはユーザボックスを選択できます。また、ボックス内に作成したフォルダを指定することもできます。共有ボックスは、ネットワーク上で共有されており、どのユーザでもこれにアクセスすることができます。ユーザボックスは、ユーザが任意に作成できるボックスで、パスワードを設定してアクセスを制限できます。

📖 P.66 「共有ボックスに保存する」

📖 P.67 「ユーザボックスに保存する」

注意

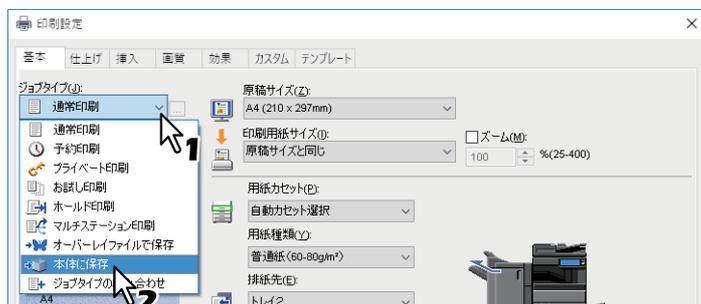
- 原稿サイズや印刷用紙サイズに以下の用紙サイズを選択した場合、[本体に保存] は使用できません。また、文書の一部にこれらのサイズの用紙が含まれている場合も、印刷ジョブはファイリングボックスに保管されません。
 - カスタム用紙
 - 手差しトレイ不定サイズ用紙
 - インデックス紙
 - IndexCard (3 x 5")
 - 封筒 COM10 (4 1/8 x 9 1/2")
 - 封筒 COM9 (3 7/8 x 8 7/8")
 - 封筒 Monarch (3 7/8 x 7 1/2")
 - 封筒 長形6号 (110 x 220 mm)
 - 封筒 長形3号 (120 x 235 mm)
 - 封筒 長形4号 (90 x 205 mm)
 - 封筒 洋形4号 (105 x 235 mm)
 - 封筒 角形2号 (240 x 332 mm)
- 印刷によりファイリングボックスに保管された文書は、出力に適した画質で保管されます。より高画質な画像をコンピュータに取り込みたい場合は、原稿をスキャンしファイリングボックスに保管してください。
- ファイリングボックスに保管された文書は、画像として保管されます。元の文書をそのままファイリングボックスに保管することはできません。

補足

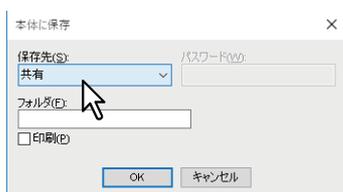
- 本体に保存されているファイルは、タッチパネルから管理することができます。詳細は、**ファイリングボックスガイド**を参照してください。
- 保存ファイルの管理は、ファイリングボックスWebユーティリティを使って行うこともできます。詳細は、**ファイリングボックスガイド**を参照してください。

□ 共有ボックスに保存する

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [ジョブタイプ] で [本体に保存] を選択します。



- 3 [ジョブタイプ] の右側の [...] をクリックします。
- 4 [保存先] で [共有] を選択します。



- 5 共有ボックス内のフォルダを指定する場合は、[フォルダ] にフォルダ名を入力し、[OK] をクリックします。



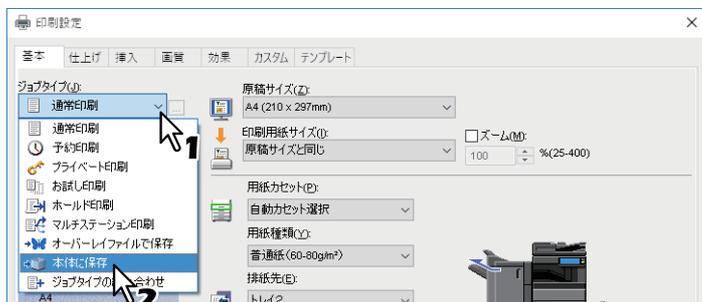
注意

- 入力したフォルダ名が存在しない場合、新規のフォルダとしてボックス内に作成されます。
- フォルダ名は最大64文字まで入力できます。
- フォルダ数の上限は100です。

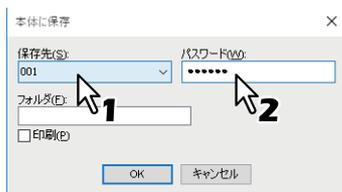
- 6 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 7 保存と同時に印刷を行う場合は、[印刷] を選択します。
- 8 [OK] をクリックします。
- 9 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。
印刷ジョブが保存されます。

□ ユーザボックスに保存する

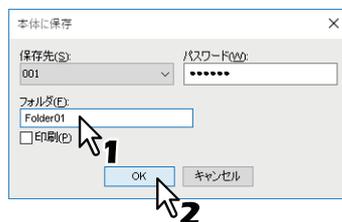
- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [ジョブタイプ] で [本体に保存] を選択します。



- 3 [ジョブタイプ] の右側の [...] をクリックします。
- 4 [保存先] で保存先のユーザボックスを選択し、必要に応じて [パスワード] にユーザボックスのパスワード（最大20桁）を入力します。



- 5 ユーザボックス内のフォルダを指定する場合は、[フォルダ] にフォルダ名を入力し、[OK] をクリックします。



注意

- 入力したフォルダ名が存在しない場合は、新規のフォルダとしてボックス内に作成されます。
- フォルダ名は最大64文字まで入力できます。
- フォルダ数の上限は100です。

- 6 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 7 保存と同時に印刷を行う場合は、[印刷] を選択します。
- 8 [OK] をクリックします。
- 9 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。印刷ジョブが保存されます。

■ 条件を組み合わせて印刷する

□ ジョブタイプの組み合わせ

この機能は、「予約印刷」、「プライベート印刷」、「ホールド印刷」、「お試し印刷」、「お試し+プライベート印刷」、「お試し+ホールド印刷」のいずれかのジョブタイプと、「本体に保存」のジョブタイプを組み合わせて印刷できる機能です。たとえば、「予約印刷」と「本体に保存」を組み合わせれば、印刷ジョブをファイリングボックスに保存しつつ、指定した時間に印刷することができます。選択した場合は、[ジョブタイプ]の右側の [...] をクリックして組み合わせるジョブタイプを選択します。

注意

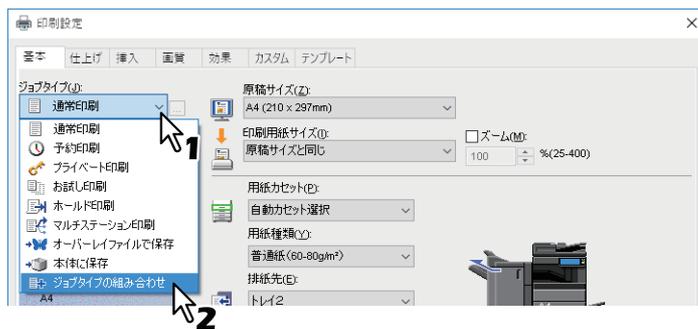
- 予約印刷を行う前に、本機とお使いのコンピュータの日時を合わせておいてください。
- 複数部数の印刷ジョブを別々の印刷ジョブとして送信するアプリケーションを使用している場合は、お試し印刷を設定しても、指定した部数すべてが印刷されてしまいます。この場合は、印刷する部数を1部に設定しお試し印刷した後、タッチパネルで部数を変更して印刷してください。
- 印刷によりファイリングボックスに保管された文書は、出力に適した画質で保管されます。より高画質な画像をコンピュータに取り込みたい場合は、原稿をスキャンしファイリングボックスに保管してください。
- ファイリングボックスに保管された文書は、画像としてファイリングボックスに保管されます。元の文書をそのままファイリングボックスに保管することはできません。

補足

- 本体に保存されているファイルは、タッチパネルから管理することができます。詳細は、[ファイリングボックスガイド](#)を参照してください。
- また、保存ファイルの管理は、[ファイリングボックスWebユーティリティ](#)を使って行うこともできます。詳細は、[ファイリングボックスガイド](#)を参照してください。

ジョブタイプの組み合わせで印刷する

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [ジョブタイプ] で [ジョブタイプの組み合わせ] を選択します。

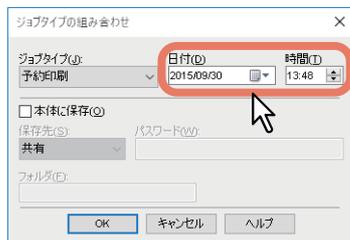


- 3 [ジョブタイプ] の右側の [...] をクリックします。

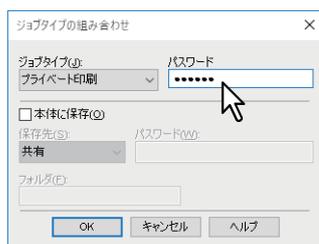
4 [ジョブタイプ] で、ジョブタイプを選択します。

選択したジョブタイプにより設定画面が切り替わります。

- [予約印刷] を選択した場合は、[日付] と [時間] を設定します。



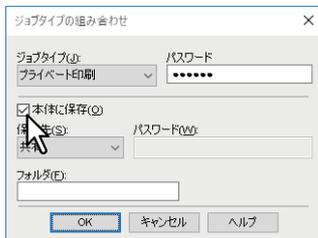
- [プライベート印刷] [お試し+プライベート印刷] を選択した場合は、パスワードを入力します。



注意

- 1～63文字のパスワードを入力します。パスワードには、半角の英数字および記号（0x21～0x7EまでのASCIIコードの文字）を使用できます。
- ここで設定したパスワードを本機のタッチパネルから入力すると、ジョブの印刷が実行されます。パスワードを忘れてしまうと、ジョブを印刷することができなくなるのでご注意ください。

5 印刷と同時にファイルを本体に保存する場合は、[本体に保存] を選択します。

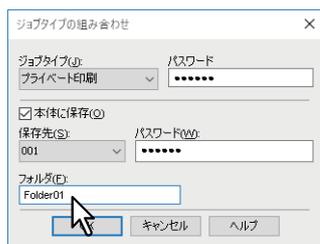


6 [保存先] で、保存先を選択します。

ユーザボックスを選択した場合は、必要に応じてパスワードを入力します。



7 選択したボックス内のフォルダを指定する場合は、[フォルダ] にフォルダ名を入力します。



注意

- 入力したフォルダ名が存在しない場合、新規のフォルダとしてボックス内に作成されます。
- フォルダ名は最大64文字まで入力できます。
- フォルダ数の上限は100です。

8 [OK] をクリックします。

9 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

- [予約印刷] を選択した場合は、指定した日時に印刷が実行されます。
- [プライベート印刷] [お試し+プライベート印刷] を選択した場合は、プライベート印刷ジョブとして本機に保存されます。タッチパネルを操作し、プライベート印刷ジョブを印刷してください。
P.61 「機密文書を印刷する (プライベート印刷)」
- [ホールド印刷] [お試し+ホールド印刷] を選択した場合は、ホールド印刷ジョブとして本機に保存されます。タッチパネルを操作し、ホールド印刷ジョブを印刷してください。
P.63 「保留状態で印刷ジョブを送る (ホールド印刷)」
- [お試し印刷] [お試し+プライベート印刷] [お試し+ホールド印刷] を選択した場合は、サンプルが1部印刷され、残りの部数はお試し印刷ジョブとして本機に保存されます。タッチパネルを操作し、お試し印刷ジョブを印刷してください。
P.62 「1部を確認してから残りを印刷する (お試し印刷)」
- [本体に保存] を選択した場合は、印刷ジョブが指定したボックスに保存されます。

複数のMFPがある場合に利用できる機能

ネットワーク上に複数のe-STUDIO Seriesの機体が存在している場合、「出力先デバイス」ダイアログボックスで、出力先や部数を指定することができます。

☞ P.71 「印刷に使用する機体を変更する」

☞ P.73 「1つの印刷ジョブを2台の機体に振り分けて印刷する（タンデム印刷）」

注意

- [選択したデバイス] でプリンタを選択する場合は、印刷ジョブに対応する機能が搭載されたプリンタを選択してください。
 - ホチキス印刷を行う場合は、ホチキス機能が搭載されたプリンタを選択してください。
 - パンチ印刷を行う場合は、パンチ機能が搭載されたプリンタを選択してください。
 - 大容量給紙装置（外付け）から印刷を行う場合は、大容量給紙装置（外付け）が装着されたプリンタを選択してください。
 - フルカラーまたは2色印刷を行う場合は、カラー印刷に対応したプリンタを選択してください。
- 選択したプリンタが対応していない印刷機能が印刷ジョブに設定されていた場合、印刷が正しく行われないう場合があります。
- 印刷時、選択したプリンタに対して部門コードの確認は行われません。[カスタム] タブの [部門コード] に設定した部門コードが選択したプリンタで認められていなかった場合、その印刷ジョブの部門管理は行われません。

補足

- [常に同じ設定を使用する] を選択すると、次回以降の印刷時に「出力先デバイス」の設定を省略することができます。
- [選択したデバイス] で選択できるプリンタは、プリンタフォルダに登録されたプリンタの中から選択する必要があります。[カスタム] タブにある [プリンタの追加] を使うと、プリンタを追加することができます。

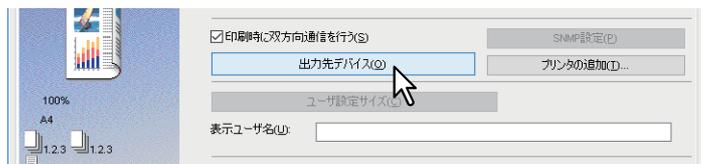
印刷に使用する機体を変更する

ネットワーク上に複数のe-STUDIO Seriesの機体が存在している場合、印刷に使用する機体を変更することができます。

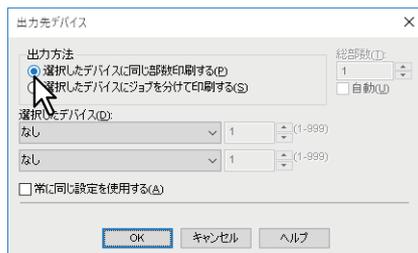
たとえば、印刷に使おうとした機体が大量のジョブで使用中心になってしまった場合、空いている別のe-STUDIO Seriesの機体に印刷ジョブを送信してすぐに印刷することができます。

1 [カスタム] タブを表示します。

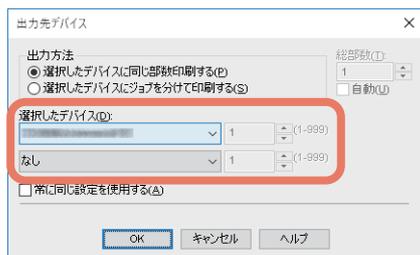
2 [出力先デバイス] をクリックします。



3 [選択したデバイスに同じ部数印刷する] を選択します。



4 [選択したデバイス] で印刷に使用したいプリンタを選択します。



[選択したデバイス] で、複数のプリンタを選択することもできます。この場合、選択したすべてのプリンタにおいて、同じ部数で印刷が行われます。

5 [OK] をクリックして「出力先デバイス」ダイアログボックスを閉じます。

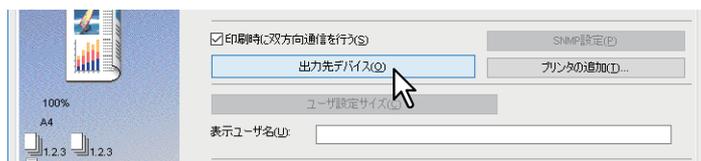
6 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。

7 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

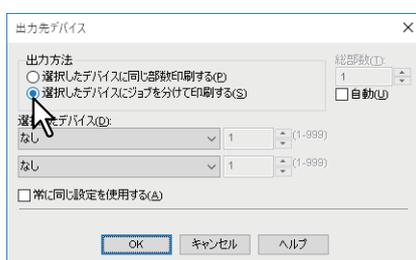
■ 1つの印刷ジョブを2台の機体に振り分けて印刷する（タンデム印刷）

この機能は、1つの印刷ジョブを部数ごとに2台の機体に分散させて印刷する機能です。たとえば、枚数の多い資料を何十部も印刷しなければならない場合、ネットワーク上に存在するe-STUDIO Seriesの機体に部数単位で印刷を割り振ることで、2台の機体の同時印刷により短時間で処理することができます。

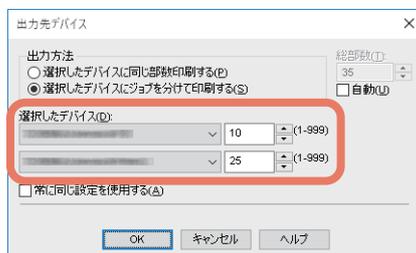
- 1 [カスタム] タブを表示します。
- 2 [出力先デバイス] をクリックします。



- 3 [選択したデバイスにジョブを分けて印刷する] を選択します。



- 4 [選択したデバイス] で印刷に使用したいプリンタを2台選択し、それぞれの印刷部数を設定します。



注意

[自動] を選択すると、[総部数] に設定した印刷部数が、選択したプリンタで均等に印刷されるよう自動的に振り分けられます。

- 5 [OK] をクリックして「出力先デバイス」ダイアログボックスを閉じます。
- 6 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 7 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

印刷設定の保存

- 📖 P.74 「印刷機能の初期値を変える」
- 📖 P.76 「よく使う印刷設定を保存する（簡易設定）」
- 📖 P.78 「簡易設定をテンプレートに割り当てる」
- 📖 P.82 「簡易設定をアプリケーションに割り当てる」

■ 印刷機能の初期値を変える

Windowsのスタートメニューからプリンタフォルダを表示し、プリンタプロパティのダイアログボックスで設定した印刷機能は、プリンタドライバの初期値として設定されます。たとえば、ひんぱんに使う用紙サイズや本機のオプション構成の設定、ユーザ情報の設定などは、印刷することに変更する必要はありませんので、この方法で設定します。

- 1 **【スタート】 をクリックし、【設定】 > 【デバイス】 > 【デバイスとプリンター】 を選択します。**
プリンタフォルダが表示されます。

補 足

- Windows 8.1/Windows Server 2012をお使いの場合は、画面左下で右クリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンター] を選択します。
- Windows 7をお使いの場合は、[スタート] をクリックし、[デバイスとプリンター] を選択します。
- Windows Server 2008をお使いの場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [プリンタ] を選択します。

- 2 **本機プリンタドライバを右クリックし、表示されたメニューから【プリンターのプロパティ】 を選択します。**



- Windows Server 2008をお使いの場合は、本機プリンタドライバを選択し、[ファイル] メニューから [プロパティ] をクリックします。
- [ファイル] メニューが表示されていない場合は、[Alt] キーを押します。
- プリンタのプロパティが変更できない状態で表示される場合は、次の手順を行います。

- Windows 7では、プロパティの各タブに  の付いたボタンがあります。

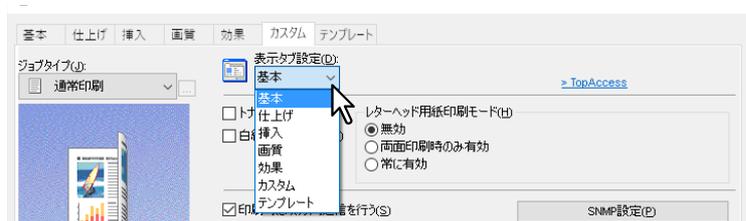
プロパティを変更するときは、 の付いたボタンをクリックしてください。クリックしてもプロパティの変更ができない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- ネットワークからインストールしたドライバを変更するときは、ネットワーク管理者権限が必要です。詳しくはネットワーク管理者にお問い合わせください。

3 表示された画面で、よく使う用紙サイズや本機のオプション構成、ユーザ情報などを設定します。

補足

[カスタム] タブの [表示タブ設定] で、プリンタドライバを開いたときに、最初に表示されるタブを設定できます。よく使う機能のタブを設定しておく则便利です。



■ よく使う印刷設定を保存する（簡易設定）

簡易設定では、印刷機能の設定を保存したり、保存した印刷設定を呼び出して使用することができます。

簡易設定を使用するには、まず簡易設定ファイルを保存する必要があります。

📖 P.76 「簡易設定を保存する」

簡易設定を保存すると、特定のジョブを印刷する際にいつでも適用することができます。

📖 P.77 「簡易設定を適用する」

簡易設定は必要がなくなったら削除できます。

📖 P.77 「簡易設定を削除する」

補 足

初期設定で5個の簡易設定が登録されています。

- 会議資料印刷（白黒）
- 製本印刷（自動判別）
- 配布資料印刷
- 会議資料印刷
- ファイルとじ用印刷

□ 簡易設定を保存する

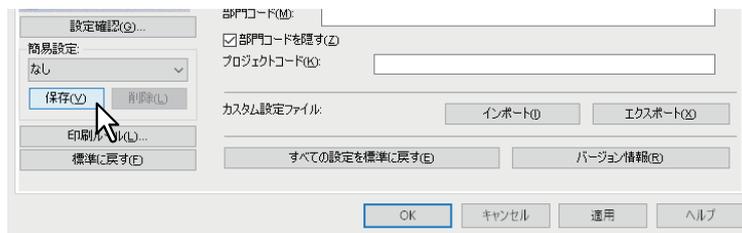
プリンタドライバの簡易設定は、あらかじめ登録されている5個を含め最大20個まで作成できます。

補 足

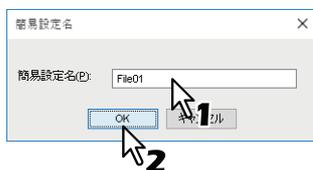
あらかじめ登録されている簡易設定は同じ名前でも上書き保存、または削除することができます。

1 各タブで、印刷目的に合わせ印刷機能を設定します。

2 簡易設定の【保存】をクリックします。



3 簡易設定名を入力し、【OK】をクリックします。



ファイル名は、半角・全角63文字以内で入力します。

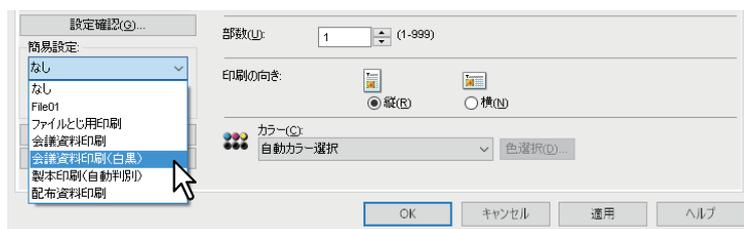
補 足

- 簡易設定名がすでに使われている場合は、既存の簡易設定ファイルを上書きするかどうか確認するメッセージが表示されます。上書きする場合は、【OK】をクリックします。
- 20個を超えて簡易設定を保存した場合には、設定内容が【一時保存】として保存されます。【一時保存】に簡易設定名を作成するには、不要な簡易設定を1つ削除し、【一時保存】を選択して【保存】をクリックします。
- 簡易設定名に【なし】を設定することはできません。

4 簡易設定が保存されます。

□ 簡易設定を適用する

1 [簡易設定] で目的の簡易設定名を選択します。



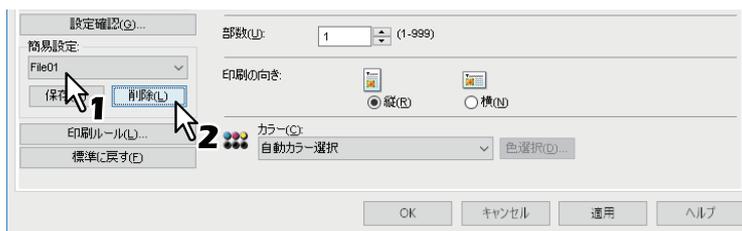
選択した簡易設定ファイルの設定が、自動的に反映されます。

注意

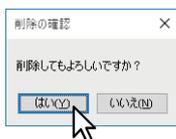
[簡易設定] から [なし] を選択しても、初期設定に戻すことはできません。簡易設定を選択した後に初期設定に戻す場合は、各タブの [標準に戻す] をクリックします。[デバイス設定] タブを除くすべてのタブを初期設定に戻す場合は、[カスタム] タブの [すべての設定を標準に戻す] をクリックします。

□ 簡易設定を削除する

1 [簡易設定] で目的の簡易設定名を選択し、[削除] をクリックします。



2 [はい] をクリックします。



■ 簡易設定をテンプレートに割り当てる

簡易設定をテンプレートボタンに割り当てておくと、印刷時に「テンプレート」ダイアログボックスを自動的に表示できます。テンプレートボタンを選択するだけで、ボタンに割り当てられた簡易設定を反映させることができます。

補足

- 初期設定で5個の簡易設定がテンプレートボタンに登録されています。
 - 会議資料印刷（白黒）
 - 製本印刷（自動判別）
 - 配布資料印刷
 - 会議資料印刷
 - ファイルとじ用印刷
- あらかじめ登録されているテンプレートボタンは削除することができます。

テンプレートボタンを使用するには、まず簡易設定をテンプレートボタンに割り当てる必要があります。また、印刷の実行時に、テンプレートボタンの選択画面が表示されるように設定します。

📖 P.78 「テンプレートボタンに割り当てる」

テンプレートボタンを選択して、割り当てられている簡易設定を適用することができます。

📖 P.79 「テンプレートボタンで設定して印刷する」

テンプレートボタンは削除できます。

📖 P.80 「テンプレートボタンの割り当てを削除する」

□ テンプレートボタンに割り当てる

テンプレートボタンは、あらかじめ登録されている5個を含め最大6個まで作成できます。

1 登録したい印刷設定を簡易設定として保存します。

📖 P.76 「簡易設定を保存する」

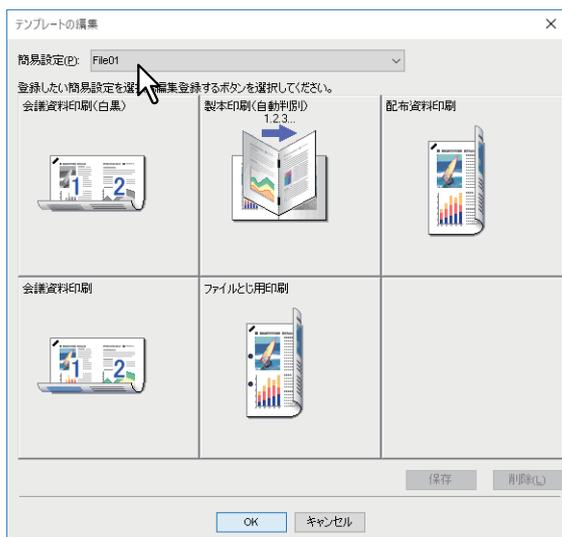
2 [テンプレート] タブを選択します。

3 [印刷時にテンプレート確認を表示させる] を選択し、[編集] をクリックします。



印刷の実行時にテンプレートダイアログボックスが表示されるようになります。

4 [簡易設定] で、割り当てる簡易設定を選択します。



5 割り当てをするテンプレートボタンを選択します。

補足

すでに登録されているテンプレートボタンを選択した場合は、設定内容が上書きされます。

6 [保存] をクリックし、[OK] をクリックします。

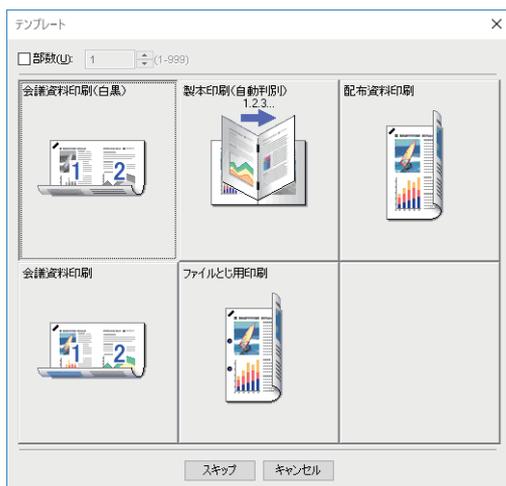
選択した簡易設定が、選択したテンプレートボタンに割り当てられます。

7 [テンプレート] タブの [OK] をクリックします。

割り当てた内容が登録されます。

テンプレートボタンで設定して印刷する

1 印刷を実行すると、自動的に「テンプレート」ダイアログボックスが表示されます。



2 適用するテンプレートボタンを選択します。

選択した簡易設定で、印刷が行われます。

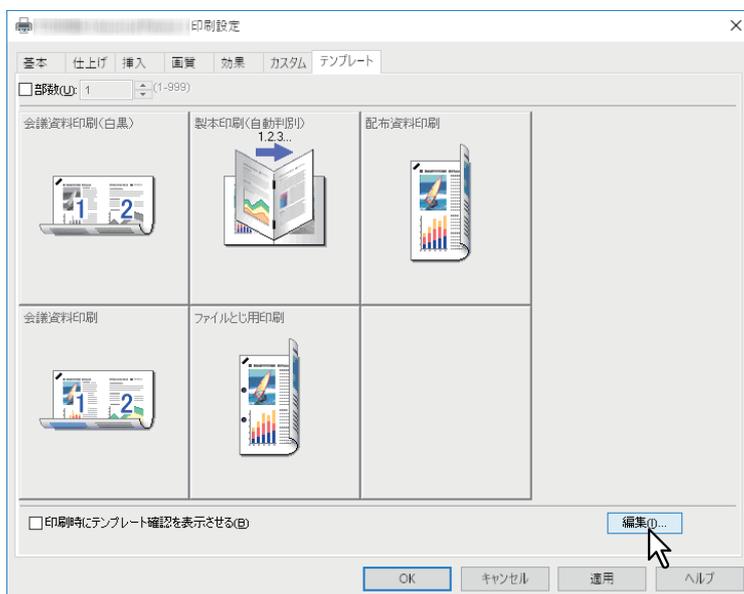
補足

- [部数] を選択すると、印刷部数を設定できます。
- [スキップ] をクリックすると、簡易設定を適用せずに印刷することができます。

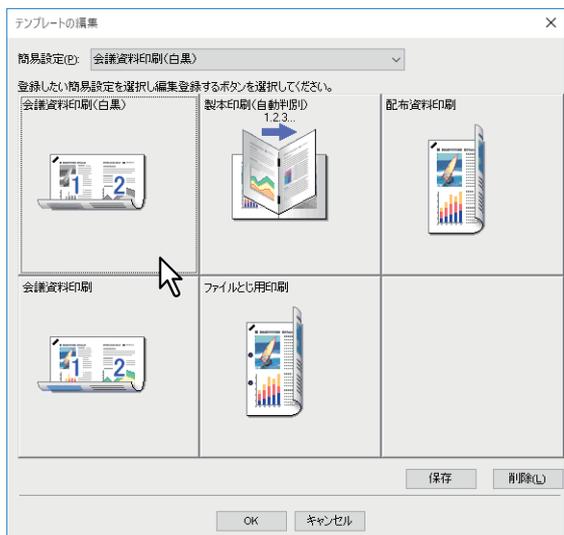
□ テンプレートボタンの割り当てを削除する

1 [テンプレート] タブを選択します。

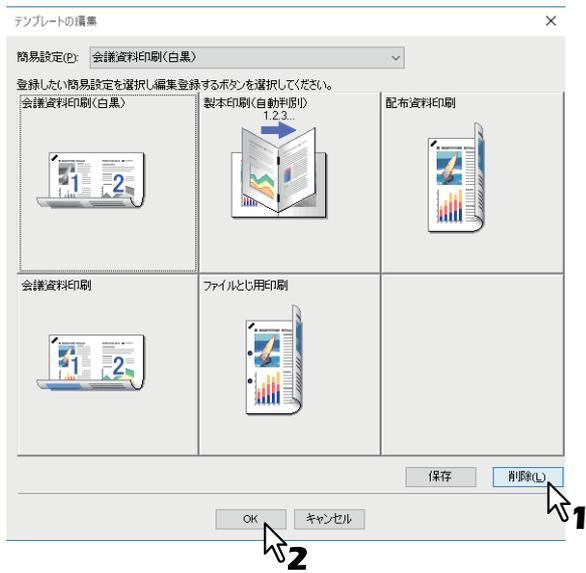
2 [編集] をクリックします。



3 割り当てを削除するテンプレートボタンを選択します。



4 [削除] をクリックし、[はい] をクリックして [OK] をクリックします。



選択したテンプレートボタンから簡易設定の割り当てが削除され、未設定の状態になります。

■ 簡易設定をアプリケーションに割り当てる

簡易設定を各アプリケーションに割り当てておくことができます。

補 足

- 初期設定で5個のアプリケーションが登録されています。
 - Microsoft Word
 - Microsoft Excel
 - Microsoft PowerPoint
 - Microsoft Outlook
 - Adobe Reader
- 初期設定で5個の簡易設定が適用する設定に登録されています。
 - 会議資料印刷（白黒）
 - 製本印刷（自動判別）
 - 配布資料印刷
 - 会議資料印刷
 - ファイルとじ用印刷
- 簡易設定の保存・削除については、P.76 「よく使う印刷設定を保存する（簡易設定）」を参照してください。

1 [印刷ルール] をクリックします



2 アプリケーション名、実行ファイル名を入力し、割り当てる簡易設定を選択します。



補 足

[実行ファイル登録] をクリックすると、アプリケーション名の実行ファイル名が正しいか判定します。
[OK] をクリックするとダイアログに表示されているプリンタドライバが検索した実行ファイル名に置き換わります。

3 [OK] をクリックします。

オプション機器やユーザ認証の設定

- 📖 P.83 「プリンターのオプション機器を設定する」
- 📖 P.86 「部門管理機能を利用する」
- 📖 P.87 「ユーザ認証機能を利用する」
- 📖 P.89 「注意事項について」

■ プリンターのオプション機器を設定する

初期設定ではプリンタドライバのインストール時に、自動でオプション構成情報を取得します。本機とお使いのコンピュータが双方向通信できない場合は、オプション構成をプリンタドライバに手動で設定する必要があります。

- 📖 P.83 「オプション機器を自動で更新する」
- 📖 P.83 「オプション機器を手動で設定する」

補足

[デバイス設定] タブは、[デバイスとプリンター] フォルダ (Windows Server 2008では [プリンタ] フォルダ) からプリンタドライバのプロパティを表示した場合のみ設定できます。

□ オプション機器を自動で更新する

本機と双方向通信できる場合は、[デバイス設定] タブで [更新] をクリックすると本機のオプション構成情報を取得できます。[自動更新] を選択すると、プリンタドライバの [デバイス設定] タブを開くたびにオプション構成の情報を自動で更新します。



□ オプション機器を手動で設定する

本機とお使いのコンピュータが双方向通信できない場合の手順です。

注意

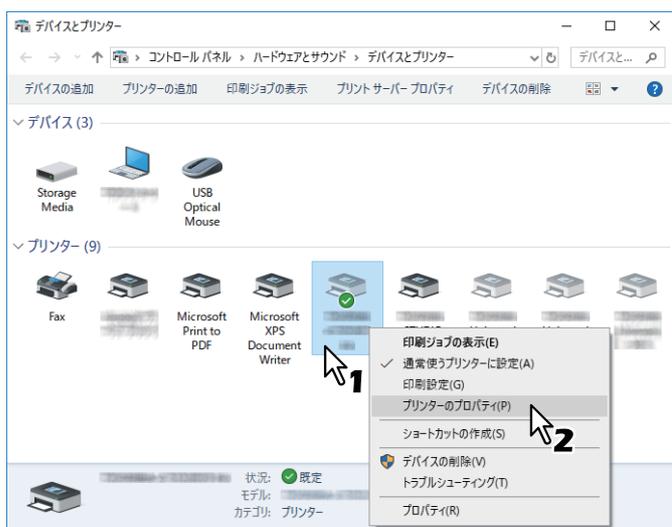
Administrators (管理者) でログインする必要があります。

- 1 [スタート] をクリックし、[設定] > [デバイス] > [デバイスとプリンター] を選択します。プリンタフォルダが表示されます。

補足

- Windows 8.1/Windows Server 2012をお使いの場合は、画面左下で右クリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンター] を選択します。
- Windows 7をお使いの場合は、[スタート] をクリックし、[デバイスとプリンター] を選択します。
- Windows Server 2008をお使いの場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [プリンタ] を選択します。

2 本機プリンタドライバを右クリックし、表示されたメニューから [プリンターのプロパティ] を選択します。

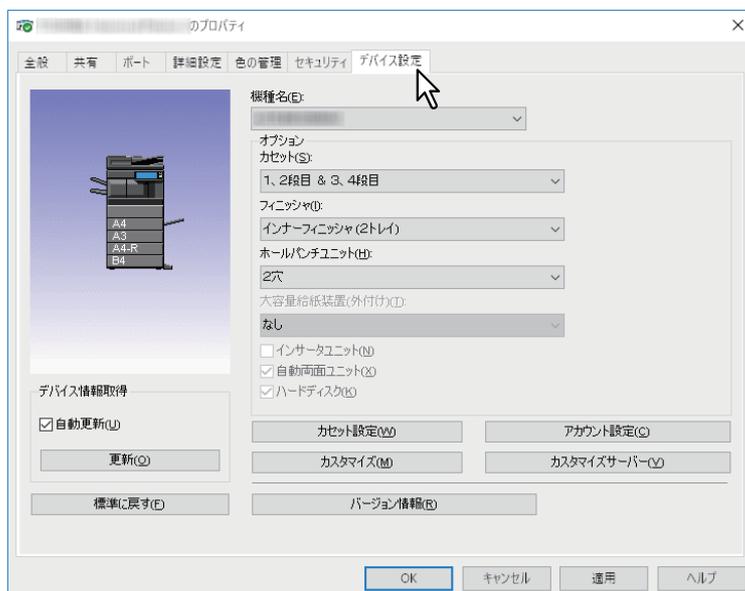


- Windows Server 2008をお使いの場合は、本機プリンタドライバを選択し、[ファイル] メニューから [プロパティ] をクリックします。
- [ファイル] メニューが表示されていない場合は、[Alt] キーを押します。
- プリンタのプロパティが変更できない状態で表示される場合は、次の手順を行います。
 - Windows 7では、プロパティの各タブに  の付いたボタンがあります。

プロパティを変更するときは、 の付いたボタンをクリックしてください。クリックしてもプロパティの変更ができない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- ネットワークからインストールしたドライバを変更するときは、ネットワーク管理者権限が必要です。詳しくはネットワーク管理者にお問い合わせください。

3 [デバイス設定] タブを選択し、以下のオプションを設定します。



機種名：機種名を選択します。選択した機種名に合わせて、設定項目が切り替わります。

注意

- [共通] を選択すると、プリンタドライバ上で設定できる機能を、ネットワーク上の複数のe-STUDIO Seriesに共通で搭載されている機能のみに絞り込むことができます。本機用にインストール済みのプリンタドライバを、e-STUDIO Seriesなどの他機種でも利用したい場合などに便利です。
- Universal Printer 2プリンタドライバを汎用モデルとして利用する場合には機能制約があります。

オプション：以下のオプション機器が装着されているかを選択します。

- **カセット**：給紙ユニット（2段目カセット）、多段給紙装置（3段目カセット）、追加給紙カセット（4段目カセット）、または大容量給紙装置が装着されているかを設定します。
- **フィニッシャ**：フィニッシャ、サドルステッチフィニッシャ、インナーフィニッシャ、またはインナートレイが装着されているかを設定します。
- **ホールパンチユニット**：ホールパンチユニットが装着されているかを設定します。
- **大容量給紙装置（外付け）**：大容量給紙装置（外付け）が装着されているかを設定します。
- **インサータユニット**：インサータが装着されているかを設定します。
- **自動両面ユニット**：自動両面ユニットが装着されているかを設定します。
- **ハードディスク**：内蔵ストレージが装着されているかを設定します。

補足

- 設定できる項目は、お使いになる機種およびオプション構成により異なります。
- 本機とお使いのコンピュータが双方向通信できない状態で、[デバイス設定] の項目を設定すると、自動的に両面印刷機能が有効になります。

4 [カセット設定] をクリックします。**5** 以下のオプションを設定し、[OK] をクリックします。

項目	用紙サイズ	用紙種類	使用目的
1段目カセット(D)	A5	普通紙(60-80g/m ²)	なし
2段目カセット(D)	A3	普通紙(60-80g/m ²)	なし
3段目カセット(D)	A4	普通紙(60-80g/m ²)	なし
4段目カセット(D)	A4	普通紙(60-80g/m ²)	なし
大容量給紙装置(C)	A4	普通紙(60-80g/m ²)	なし
大容量給紙装置(外付け)(C)	A4	普通紙(60-80g/m ²)	なし
手差しトレイ(D)	自動選択	普通紙(60-80g/m ²)	なし

ドライバ用紙カセット優先(L)

標準に戻す(E)

OK キャンセル

1段目カセット：1段目カセットにセットされた用紙サイズ、用紙種類、および使用目的を選択します。

2段目カセット：2段目カセットにセットされた用紙サイズ、用紙種類、および使用目的を選択します。

3段目カセット：3段目カセットにセットされた用紙サイズ、用紙種類、および使用目的を選択します。

4段目カセット：4段目カセットにセットされた用紙サイズ、用紙種類、および使用目的を選択します。

大容量給紙装置：大容量給紙装置にセットされた用紙サイズ、用紙種類、および使用目的を選択します。

大容量給紙装置（外付け）：大容量給紙装置（外付け）にセットされた用紙サイズ、用紙種類、および使用目的を選択します。

手差しトレイ：用紙種類、および使用目的を選択します。

ドライバ用紙カセット優先：アプリケーションの給紙元設定を適用せずに、プリンタドライバの給紙元設定を優先して使用する場合に選択します。

6 [適用] または [OK] をクリックして、設定を保存します。

■ 部門管理機能を利用する

部門管理機能を使用すると、管理者は部門ごとの印刷部数を確認できます。ユーザは本機の操作パネルまたはジョブ監視ツールから各ユーザの印刷ジョブを確認できます。

本機が部門コードで管理されている場合、ユーザは印刷時に部門コードを入力する必要があります。

部門管理の設定は、TopAccess管理者設定で行います。詳細は、**TopAccessガイド**を参照してください。

補 足

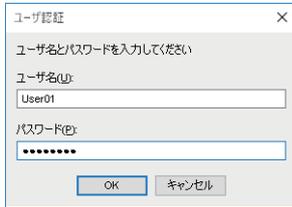
- 部門コードに入力できる文字は、0～9までの数字、a～zおよびA～Zまでのアルファベット、-（ハイフン）、_（アンダーバー）、.（ピリオド）の半角文字のみです。1～63桁まで設定できます。
- TopAccess管理者設定の [部門コードなし印刷ジョブ] の設定と、本機との双方向通信が有効であるかにより、間違った部門コードを入力して印刷した場合の印刷ジョブの処理は変わります。
 - 双方向通信が有効で、部門コードなし印刷ジョブが [部門コードの使用を強制する] に設定されている場合は、間違った部門コードを入力するとエラーメッセージが表示されます。
 - 双方向通信が無効で、部門コードなし印刷ジョブが [部門コードの使用を強制する] に設定されている場合は、間違った部門コードを入力した印刷ジョブは無効ジョブとして保留され、部門コードなし印刷ジョブリストに表示されます。
 - 部門コードなし印刷ジョブが [印刷] の場合は、間違った部門コードを入力した印刷ジョブもそのまま印刷されます。
 - 部門コードなし印刷ジョブが [削除] の場合は、間違った部門コードを入力した印刷ジョブは削除されます。

■ ユーザ認証機能を利用する

- 📖 P.87 「印刷ごとにユーザ名とパスワードを入力する」
- 📖 P.88 「LDAP認証用のLDAPサーバーを設定する」

□ 印刷ごとにユーザ名とパスワードを入力する

共有PCなどから印刷する際に、印刷ごとにユーザ名とパスワードの入力が必要になるよう設定します。

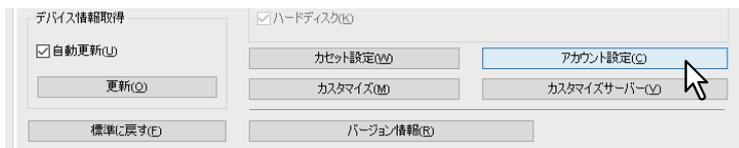


1 [デバイス設定] タブを選択します。

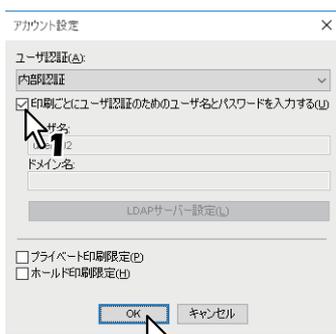
注意

[デバイス設定] タブは、プリンタドライバのプロパティをプリンタフォルダから表示したときに表示されます。アプリケーションの印刷ダイアログボックスからプロパティを表示した場合には、表示されません。

2 [アカウント設定] をクリックします。



3 [印刷ごとにユーザ認証のためのユーザ名とパスワードを入力する] を選択して、[OK] をクリックします。



□ LDAP認証用のLDAPサーバーを設定する

LDAP認証に使用するLDAPサーバーを設定します。

1 [デバイス設定] タブを選択します。

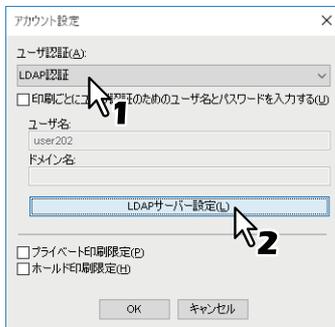
注意

[デバイス設定] タブは、プリンタドライバのプロパティをプリンタフォルダから表示したときに表示されます。

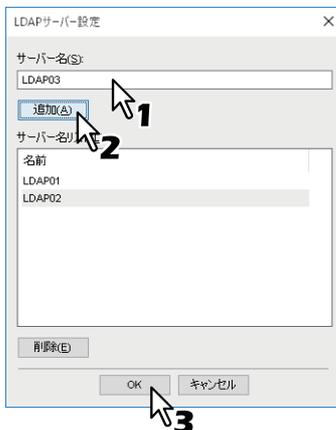
2 [アカウント設定] をクリックします。



3 [ユーザ認証] で [LDAP認証] を選択し、[LDAPサーバー設定] をクリックします。



4 [サーバー名] を入力し、[追加] をクリックして [OK] をクリックします。



補足

[サーバー名を自動で設定する] は、登録されているLDAPサーバーが1つのときに選択できます。この設定を有効にすると認証サーバーを自動的に設定できます。また印刷時の [LDAPサーバー選択] ダイアログボックスは表示されません。

■ 注意事項について

- 本機のユーザ管理設定が有効な場合は、部門管理に代わってユーザ管理設定を使用して印刷ジョブを管理します。この場合は、コンピュータにログインしたときに入力したユーザ名を使用して印刷ジョブの認証を行います。したがって、プリンタドライバに部門コードを設定する必要はありませんが、あらかじめ本機にユーザ名が登録されている必要があります。ユーザ名が未登録の場合、印刷ジョブは無効ジョブとしてユーザ認証強制の設定に従って処理されます。また、RAW形式で印刷ジョブが送られた場合は、RAW印刷ジョブの設定に従って処理されます。ユーザ認証強制やRaw印刷ジョブの設定については、**TopAccessガイド**を参照してください。
また、Windowsドメイン認証を使用している場合は、コンピュータがドメインにログインしている必要があります。
- ブラック無制限機能が有効な場合は、カラーのみ部門管理ができます。[基本] タブの [カラー] ボックスで [自動カラー選択]、[フルカラー]、[2色] を選択して印刷する場合は、部門コードを入力する必要があります。[白黒] を選択して印刷する場合は部門コードを入力する必要はありません。
- いくつかの印刷機能は、プリンタドライバとアプリケーション両方で設定できます（例：丁合機能など）。ただし、アプリケーションで丁合機能を設定すると、正しく印刷されない場合があります。この場合には、プリンタドライバのソートモード機能で設定し、アプリケーションでは設定を行わずに印刷してください。また、アプリケーションによっては、印刷の向きなど、アプリケーションでの設定が必要になる印刷機能もあります。プリンタドライバとアプリケーション両方で設定できる場合は、アプリケーションの取扱説明書で説明されている印刷方法を参照してください。

Universal PS3プリンタドライバ使用時の注意点

- Adobe Acrobatから印刷する際、用紙サイズに合わせて印刷をする機能は無効になります。PostScriptで用紙サイズに合わせて印刷を行う場合は、Universal Printer 2プリンタドライバを使用し、[デバイス設定] タブの [カスタマイズ] で、[プリンタ言語設定] タブの [プリンタ言語] を [PostScript] に設定して印刷してください。
- 以下の機能のいずれかを設定すると、アプリケーションのパススルー動作を無視してプリンタドライバ側で印刷データを生成するため、アプリケーション側で印刷データを生成するような場合でも、正常な印刷結果を得ることができます。
 - オーバーレイファイルで保存
 - オーバーレイイメージ付きの印刷
 - ページ集約
 - 製本
 - 1ページ毎に挿入（複製）
 - テンプレート
 - 印刷用紙サイズ
 - 画像倍率（拡大／縮小）
 - ポスター印刷
 - タンデム印刷

□ Windows用PPDファイルが必要なときは

インストールディスクには、Windowsアプリケーション用のPPDファイルが収録されています。自動的にPPDファイルをインストールできないアプリケーションで、プリンタ固有の印刷設定を「印刷」ダイアログボックスや「用紙設定」ダイアログボックスで利用するには、PPDファイルを適切な場所にコピーしてください。

PPDファイルのコピー方法については、**インストールガイド**を参照してください。

プリンタドライバの機能概要

プリンタドライバで設定できる印刷機能について説明します。

- 📖 P.90 「プリンタドライバの設定」
- 📖 P.91 「[[基本] タブ」
- 📖 P.97 「[[仕上げ] タブ」
- 📖 P.106 「[[挿入] タブ」
- 📖 P.111 「[[画質] タブ」
- 📖 P.120 「[[効果] タブ」
- 📖 P.125 「[[カスタム] タブ」
- 📖 P.132 「[[デバイス設定] タブ」
- 📖 P.141 「[[テンプレート] タブ」
- 📖 P.143 「プリンタドライバヘルプについて」

注意

[挿入]、[画質]、[効果]、[テンプレート] の各タブは、プラグイン機能で設定を有効にした場合のみ表示されます。設定方法は、プリンタドライバヘルプを参照してください。

- 📖 P.143 「プリンタドライバヘルプについて」

補足

- 各タブの設定値の詳細はプリンタドライバヘルプを参照してください。
 - 📖 P.143 「プリンタドライバヘルプについて」
- 以下のタブはOSに依存する設定項目です。これらの設定方法や詳細については、お使いになるOSの取扱説明書やヘルプを参照してください。
 - [全般] タブ
 - [共有] タブ
 - [ポート] タブ
 - [詳細設定] タブ
 - [色の管理] タブ
 - [セキュリティ] タブ

■ プリンタドライバの設定

印刷機能を設定する方法はいくつかありますが、印刷にどのような効果をもたらすかは、設定方法によって異なります。また、表示されるタブも、プリンタプロパティのダイアログボックスの表示方法によって異なります。

- 印刷機能の初期値を設定する場合
プリンタフォルダからプリンタプロパティのダイアログボックスを表示して設定した印刷機能は、プリンタドライバの初期値として設定されます。たとえば、ひんぱんに使う用紙サイズや本機のオプション構成の設定、ユーザ情報の設定などは、印刷するごとに変更する必要はありませんので、この方法で印刷機能を設定します。
 - 📖 P.74 「印刷機能の初期値を変える」
- 印刷ジョブごとに印刷機能を設定する場合
アプリケーションの「プリント」(印刷) ダイアログボックスからプリンタプロパティのダイアログボックスを表示して設定した印刷機能は、現在の印刷ジョブのみに適用されます。この方法で設定した内容は、アプリケーションを閉じると元の設定に戻ります。
 - 📖 P.15 「印刷方法」

■ [基本] タブ

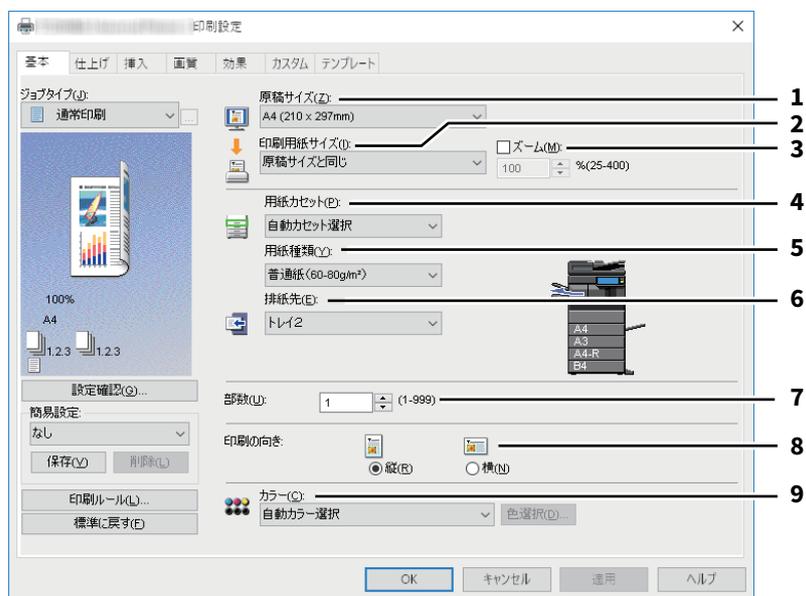
基本的な印刷操作に関する設定を行います。

📖 P.94 「インデックス紙設定」

📖 P.95 「ジョブタイプの組み合わせ」

注意

お使いになる機種によって設定できる項目が異なります。



	項目名	機能説明
1	原稿サイズ	原稿のサイズを選択します。使用できる原稿サイズは、機種によって異なります。
	補足	標準原稿サイズ以外に、カスタム原稿サイズを選択できます。カスタム原稿サイズは、[カスタム] タブで設定します。 📖 P.125 「[カスタム] タブ」
2	印刷用紙サイズ	印刷に使用する用紙サイズを選択します。 [A4 インデックス紙] または [Letter インデックス紙] を選択すると、「インデックス紙設定」ダイアログボックスが表示されます。 📖 P.94 「インデックス紙設定」
	補足	<ul style="list-style-type: none"> お使いの機種によっては、インデックス紙印刷は利用できません。 標準用紙サイズ以外に、ユーザ設定サイズを選択できます。ユーザ設定サイズは、[カスタム] タブで設定します。 📖 P.125 「[カスタム] タブ」 ユーザ設定サイズを使用する場合、カセットにセットされているユーザ設定サイズを手動で選択する必要があります。
3	ズーム	拡大／縮小印刷するときにチェックボックスをオンにして、倍率を指定します。

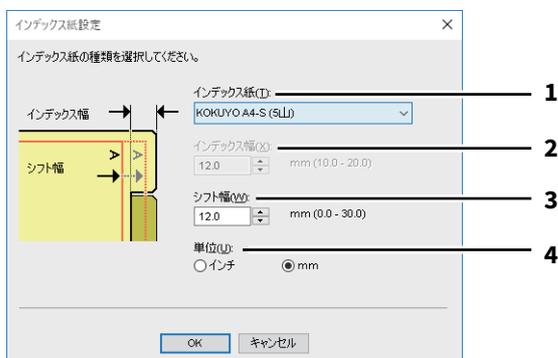
	項目名	機能説明
4	用紙カセット	印刷に使用する用紙の給紙元を選択します。用紙サイズに合った給紙元を選択します。右横の本機プレビューで、各給紙元に設定されている用紙サイズが確認できます。また、給紙元を選択すると、選択した給紙元が緑色の囲みで表示されます。
	<p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> 右横の本機プレビュー上で、給紙元に設定したいカセットを直接クリックして選択することもできます。 [手差しトレイ] を選択して印刷した場合は、印刷すると本機のタッチパネルの [状況確認] が点滅しますので、[状況確認] を押して印刷ジョブで用紙サイズを確認後、用紙をセットして [スタート] ボタンを押してください。 <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 手差しトレイから給紙する場合、原稿の向きと手差しトレイにセットした用紙の向きが違っていても、原稿と用紙のサイズが同じならば、原稿の内容が90度回転して原稿どおりに印刷されます (A4、B5、Letter、16Kサイズのみ)。たとえば、A4縦向きの原稿を印刷するとき、手差しトレイにA4横向き (A4-R) の用紙がセットされていれば、正しく印刷されます。 選択できる給紙元は、本機に装着されているオプション機器および [デバイス設定] タブの設定によって異なります。 特殊紙やインデックス紙など、手差しトレイからの給紙が必要となる用紙種類が設定された場合、[用紙カセット] の設定が自動的に [手差しトレイ] に変更され、確認のダイアログボックスが表示されることがあります。 [デバイス設定] タブのカセット用紙サイズが本機にセットされた用紙サイズと異なる場合、[用紙カセット] の設定を無視し、タッチパネルの [状況確認] が点滅して、正しいサイズの用紙を手差しトレイにセットするよう求めるメッセージが表示されることがあります。 	
5	用紙種類	印刷に使用する用紙の種類を選択します。
	<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 各用紙種類が対応する用紙坪量は、お使いになる機種によって異なります。用紙坪量の詳細については、各機種の仕様ガイドを参照してください。 [特殊紙1]、[特殊紙2]、[特殊紙3]、[特殊紙4]、[特殊紙5]、[特殊紙6] で使用できる用紙については、サービスエンジニアにお問い合わせください。 [印刷用紙サイズ] ボックスで [A4 インデックス紙] または [Letter インデックス紙] を選択すると、[用紙種類] ボックスには [インデックス紙] が表示されます。この場合、ほかの用紙種類は選択できません。 [印刷用紙サイズ] ボックスで [封筒] を選択すると、[用紙種類] ボックスには [封筒]、[封筒] および [封筒 (うら)]、もしくは [封筒1]、[封筒2]、[封筒3] および [封筒4] が表示されます。この場合、ほかの用紙種類は選択できません。 [ユーザタイプ1] ~ [ユーザタイプ10] は使用しないでください。 <p>補足</p> <p>各用紙種類に対する推奨紙については、仕様ガイドを参照してください。</p>	

	項目名	機能説明
6	排紙先	印刷ジョブが出力される排紙先トレイを選択します。右横の本機プレビューに、設定されている排紙先が矢印で表示されます。
	<p>注意</p> <p>サドルステッチフィニッシャを使用して、中折り印刷やサドルステッチ印刷を行う場合、排紙先は[サドルトレイ]に固定されます。</p> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> 右横の本機プレビュー上で、排紙先に設定したいトレイを直接クリックして選択することもできます。 フィニッシャ装着時、イニシャライズ動作を抑えたい場合は、[トレイ1]に設定してください。 	
7	部数	印刷部数を指定します。
8	印刷の向き	用紙カセットで選択した給紙元の用紙の向きと印刷する文書の向きに合わせて、印刷の向きを選択します。
9	カラー	カラーで印刷するか、白黒で印刷するかを選択します。
	<p>補足</p> <p>[2色]を選択した場合は、[色選択]をクリックして、黒以外の箇所を何色で印刷するかを選択します。[レッド]、[グリーン]、[ブルー]、[シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]、[ホワイト]いずれかを指定できます。</p>	

□ インデックス紙設定

注意

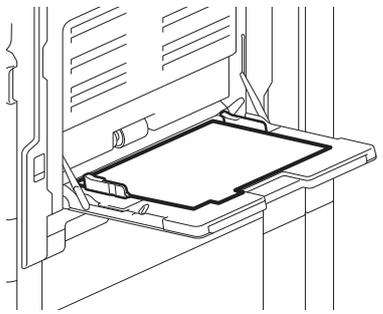
お使いの機種によっては、インデックス紙印刷は利用できません。



	項目名	機能説明
1	インデックス紙	<p>インデックス紙の製品名を選択します。 A4 インデックス紙を選択した場合:</p> <ul style="list-style-type: none"> • KOKUYO A4-S (5山) • King JIM A4-S (5山) <p>Letter インデックス紙を選択した場合:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Blanks USA copy Tabs (5山) LT + 1/2" Tab • Blanks USA copy Tabs (8山) LT + 1/2" Tab
	注意	上記以外のインデックス紙を使ってインデックス紙印刷を行う場合は、[カスタム] を選択しインデックス幅を手動で設定します。
2	インデックス幅	インデックス部分の幅を入力します。[インデックス紙] 欄で [カスタム] を選択した場合に入力します。
3	シフト幅	印刷イメージをシフトする幅を入力します。たとえば、A4 インデックス紙のインデックスにテキストを印刷する場合は、A4サイズの文書を作成し、右端にインデックスに印刷したいテキストを配置します。配置したテキストをインデックスの目的の位置までどのくらい移動させるかをシフト幅で指定します。
4	単位	インデックス幅およびシフト幅の単位を選択します。

注意

- 文書に配置するテキストの縦位置は、使用するインデックス紙のインデックスに収まるように調整して入力してください。
- お使いになる機種により、用紙の端から印刷できる範囲が異なります。
- インデックス紙は手差しトレイから給紙します。インデックスが外側になるように手差しトレイにインデックス紙をセットしてください。



- インデックス紙印刷を行う文書が適切に作成されていない場合、またはシフト幅が適切に設定されていない場合は、インデックスの正しい位置に印刷されません。インデックス紙印刷を行う前に、文書が適切に作成されているか、適切なシフト幅が設定されているか確認してください。

□ ジョブタイプの組み合わせ

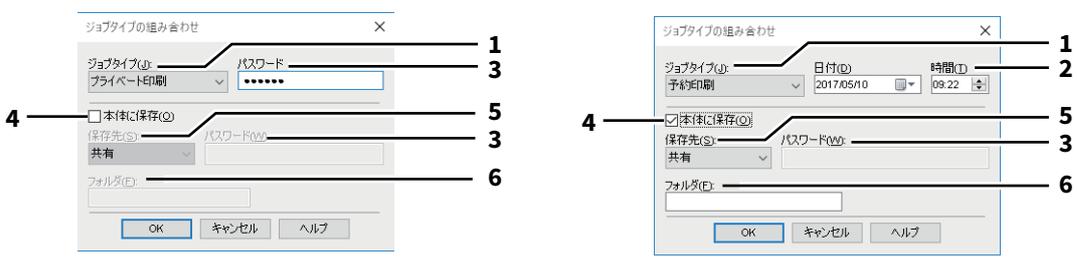
この機能は、「予約印刷」、「プライベート印刷」、「ホールド印刷」、「お試し印刷」、「お試し+プライベート印刷」、「お試し+ホールド印刷」のいずれかのジョブタイプと、「本体に保存」のジョブタイプを組み合わせる印刷できる機能です。たとえば、「予約印刷」と「本体に保存」を組み合わせれば、印刷ジョブをファイリングボックスに保存しつつ、指定した時間に印刷することができます。選択した場合は、[ジョブタイプ] ボックス右端の [...] をクリックして組み合わせるジョブタイプを選択します。

注意

- 予約印刷を行う前に、本機とお使いのコンピュータの日時を合わせておいてください。
- 複数部数の印刷ジョブを別々の印刷ジョブとして送信するアプリケーションを使用している場合は、お試し印刷を設定しても、指定した部数すべてが印刷されてしまいます。この場合は、印刷する部数を1部に設定しお試し印刷した後、タッチパネルで部数を変更して印刷してください。
- 印刷によりファイリングボックスに保管された文書は、出力に適した画質で保管されます。より高画質な画像をコンピュータに取り込みたい場合は、原稿をスキャンしファイリングボックスに保管してください。
- プリンタドライバを使用してファイリングボックスに保管された文書は、画像としてファイリングボックスに保管されます。元の文書をそのままファイリングボックスに保管することはできません。

補足

- 本体に保存されているファイルは、タッチパネルから管理することができます。管理方法については、**ファイリングボックスガイド**を参照してください。
- 保存ファイルの管理は、ファイリングボックスWebユーティリティを使って行うこともできます。ファイリングボックスWebユーティリティを使った管理方法については、**ファイリングボックスガイド**を参照してください。

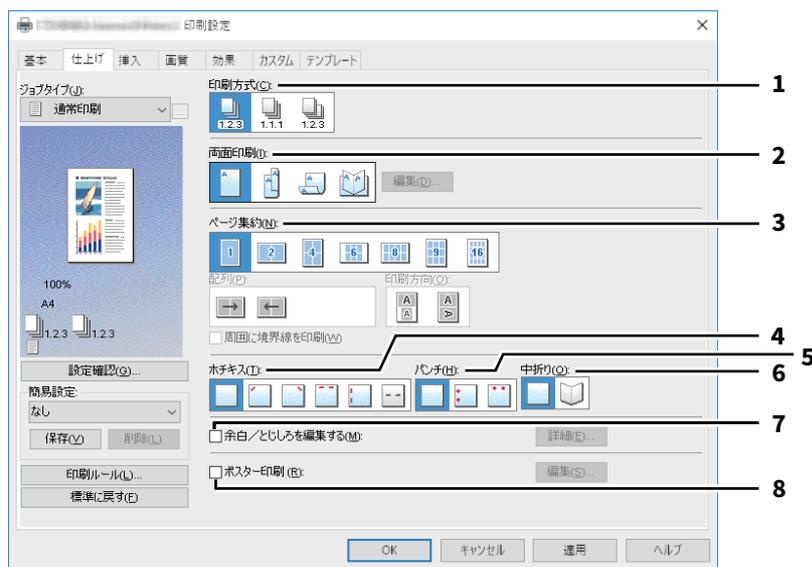


	項目名	機能説明
1	ジョブタイプ	<p>ジョブタイプを選択します。選択したジョブタイプにより設定画面が切り替わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [予約印刷] を選択した場合は、指定した日時に印刷が実行されます。 • [プライベート印刷] [お試し+プライベート印刷] を選択した場合は、プライベート印刷ジョブとして本機に保存されます。本機のタッチパネルを操作し、プライベート印刷ジョブを印刷してください。 • [ホールド印刷] [お試し+ホールド印刷] を選択した場合は、ホールド印刷ジョブとして本機に保存されます。本機のタッチパネルを操作し、ホールド印刷ジョブを印刷してください。 • [お試し印刷] [お試し+プライベート印刷] [お試し+ホールド印刷] を選択した場合は、サンプルが1部印刷され、残りの部数はお試し印刷ジョブとして本機に保存されます。本機のタッチパネルを操作し、お試し印刷ジョブを印刷してください。 • [本体に保存] のチェックボックスをオンにした場合は、印刷ジョブが指定したボックスに保存されます。
2	日付/時間	[予約印刷] を選択した場合は、[日付] と [時間] を設定します。
3	パスワード	[プライベート印刷] [お試し+プライベート印刷] を選択した場合は、パスワードを入力します。
	<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1~63文字のパスワードを入力します。パスワードには、半角の英数字および記号（0x21 ~ 0x7E までのASCIIコードの文字）を使用できます。 • ここで設定したパスワードを本機のタッチパネルから入力すると、ジョブの印刷が実行されます。このパスワードを忘れてしまうと、ジョブを印刷することができなくなるのでご注意ください。 	
4	本体に保存	印刷と同時にファイルを本体に保存する場合は、[本体に保存] チェックボックスをオンにします。
5	保存先	[保存先] ボックスで、保存先を選択します。ユーザボックスを選択した場合は、必要に応じてパスワードを入力します。
6	フォルダ	選択したボックス内のフォルダを指定する場合は、[フォルダ] ボックスにフォルダ名を入力します。
	<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • 入力したフォルダ名が存在しない場合、新規のフォルダとしてボックス内に作成されます。 • フォルダ名は最大64文字まで入力できます。 • フォルダの数が100に到達した場合は、新規に作成することはできません。 	

■【仕上げ】 タブ

印刷仕上げに関する設定を行います。

- 📖 P.98 「印刷方式」
- 📖 P.99 「両面印刷」
- 📖 P.100 「ページ集約」
- 📖 P.101 「ホチキス」
- 📖 P.103 「パンチ」
- 📖 P.103 「中折り」
- 📖 P.104 「余白/とじしろを編集する」
- 📖 P.104 「ポスター印刷」
- 📖 P.105 「製本設定」



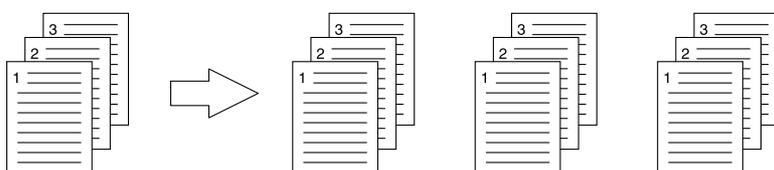
項目名	機能説明
1 印刷方式	複数部数の印刷を行うときに、印刷ページをどのようにソートするかを設定します。詳細は、以下を参照してください。 📖 P.98 「印刷方式」
2 両面印刷	用紙の両面に印刷をします。両面印刷をする場合は、とじしろの位置を選択します。詳細は、以下を参照してください。 📖 P.99 「両面印刷」 [製本] アイコン選択時に、[編集] をクリックすると、[製本設定] ダイアログボックスが表示されます。 📖 P.105 「製本設定」
3 ページ集約	複数のページを1枚の用紙に印刷します。詳細は、以下を参照してください。 📖 P.100 「ページ集約」
4 ホチキス	部ごとに用紙をホチキス留めする場合は、留め位置を選択します。詳細は、以下を参照してください。 📖 P.101 「ホチキス」
5 パンチ	印刷文書にパンチ処理（とじ用の穴開け）を行う場合は、パンチ位置を選択します。詳細は、以下を参照してください。 📖 P.103 「パンチ」
6 中折り	用紙を中折りして出力します。詳細は、以下を参照してください。 📖 P.103 「中折り」

	項目名	機能説明
7	余白/とじしろを編集する	ページの余白およびとじしろを設定する場合にチェックボックスをオンにして [詳細] をクリックし、上下左右の余白およびとじしろの設定します。詳細は、以下を参照してください。 📖 P.104 「余白/とじしろを編集する」
8	ポスター印刷	1つの印刷ジョブを複数の用紙に分割して印刷します。分割して印刷された用紙をつなぎあわせれば、ポスターのように大きな用紙の印刷物を作成することができます。この機能をオンにした場合は [編集] をクリックして、分割枚数を設定します。 📖 P.104 「ポスター印刷」

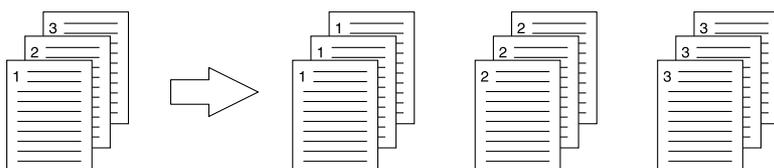
□ 印刷方式

複数部数の印刷を行うときに、印刷ページをどのようにソートするかを設定します。

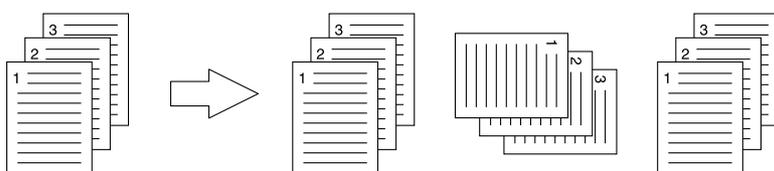
- **ソート**：ソート印刷を選択します（部ごとに仕分けして排紙します）。



- **グループ**：グループ印刷を選択します（ページごとにグループ分けして排紙します）。



- **縦横交互**：1部ずつ縦横交互に排紙します。



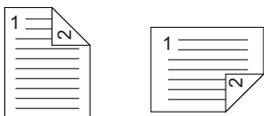
注意

- お使いの機種によっては、[縦横交互] は設定できません。
- [グループ] および [縦横交互] は、印刷部数を2部以上指定したときにのみ有効です。
- [縦横交互] は、用紙サイズに [Letter]、[A4]、[B5]、[16K] を選択したときにのみ有効です。あらかじめ [Letter]、[A4]、[B5]、[16K] サイズの異なる方向の用紙をカセットまたは、大容量給紙装置にセットしておきます。

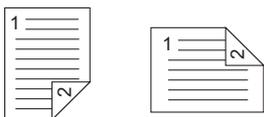
□ 両面印刷

用紙の両面に印刷をします。両面印刷をする場合は、とじしろの位置を選択します。

- **なし**：片面に印刷します。
- **長辺**：用紙の長い辺の方にとじしろを設定し、両面印刷します。

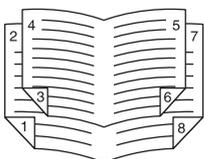


- **短辺**：用紙の短い辺の方にとじしろを設定し、両面印刷します。



- **製本**：本や雑誌のようなページ構成で印刷します。選択した場合は、[編集] をクリックしてどのように製本印刷するかを設定します。

📖 P.105 「製本設定」



注意

- この機能は、本機に自動両面ユニットが装着されている場合のみ使用できます。
- [基本] タブの [印刷用紙サイズ] ボックスで以下の用紙サイズが選択されている場合、両面印刷はできません。
 - はがき
 - 往復はがき
 - A6
 - IndexCard 3x5"
 - 封筒 COM10
 - 封筒 COM9
 - 封筒 Monarch
 - 封筒 長形6号
 - 封筒 長形3号
 - 封筒 長形4号
 - 封筒 洋形4号
 - 封筒 角形2号
 - 封筒 角形6号
 - A4 インデックス紙
 - Letter インデックス紙
 - A3ノビ (13 x 19")
- [基本] タブの [用紙種類] ボックスで以下の用紙種類が選択されている場合、両面印刷はできません。ただし、お使いになる機種やフィニッシャの装着状況により異なる場合があります。
 - OHP用紙
 - 厚紙4
 - 厚紙4 (うら)
 - 厚紙5
 - 特殊紙 1-6
 - 封筒 1-4

ページ集約

複数のページを1枚の用紙に印刷します。

- 配列
ページ集約印刷を行う際の配列を選択します。
- 周囲に境界線を印刷
チェックボックスをオンにすると、ページごとに境界線を印刷します。
- 印字方向
縦横の向きが混在した原稿を印刷する場合、縮小して原稿方向と同じ向きで印刷するか、縮小せずに原稿を90度回転させて印刷するか選択します。

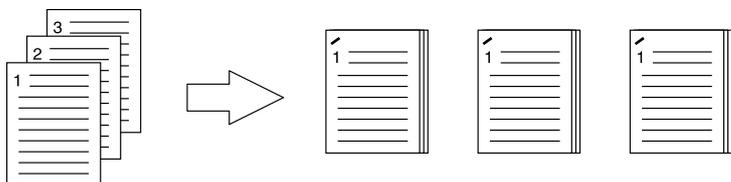
補足

両面印刷で [製本] を設定した場合は、[2 in 1] 設定のみ選択することができます。

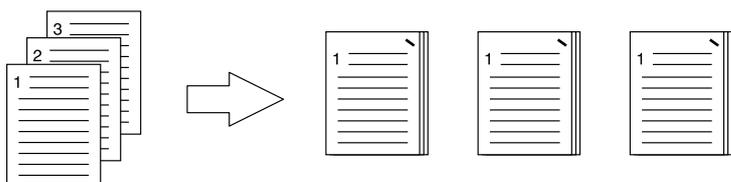
□ ホチキス

部ごとに用紙をホチキス留めする場合は、留め位置を選択します。

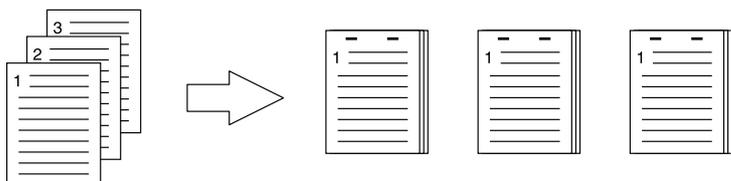
- **なし**：ホチキス留めをしません。
- **上段左**：部ごとに用紙の左上をホチキス留めして出力します。



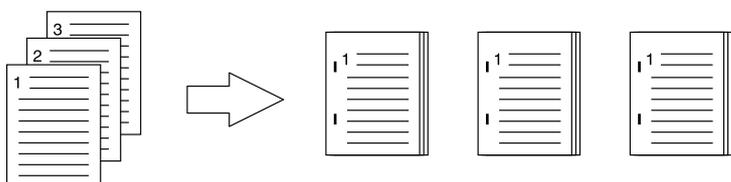
- **上段右**：部ごとに用紙の右上をホチキス留めして出力します。



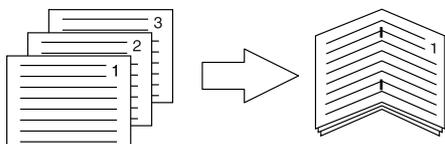
- **上段 (2か所)**：部ごとに用紙の上部2か所をホチキス留めして出力します。



- **左 (2か所)**：部ごとに用紙の左側2か所をホチキス留めして出力します。



- **サドルステッチ**：用紙の中央2か所をホチキス留めし中折りして出力します。この設定を選択すると、ほかの印刷設定に基づき文書を用紙に印刷し、単純に中折りとしして出力します。



補足

[サドルステッチ] は、すでにデータ上で製本された文書に対してサドルステッチ印刷を行う場合に使用します。通常のページ順の文書から製本印刷を行う場合は、[両面印刷] で [製本] を設定します。サドルステッチを使用した場合は、「製本設定」ダイアログボックスの [サドルステッチを使用する] チェックボックスをオンにしてください。

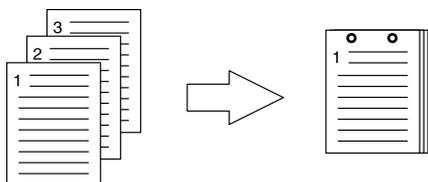
注意

- ホチキス印刷は、フィニッシャ装着時のみ実行できます。
- [サドルステッチ] は、サドルステッチフィニッシャ装着時のみ有効です。
- グループ印刷や製本印刷が設定されている場合、ホチキス印刷は実行できません。
- [基本] タブの [印刷用紙サイズ] ボックスで以下の用紙サイズが選択されている場合、ホチキス印刷は実行できません。
 - A5
 - A6
 - はがき
 - 往復はがき
 - IndexCard 3x5"
 - 305 x 457 mm
 - Statement
 - 12x18"
 - A4 インデックス紙
 - Letter インデックス紙
 - 320 x 450 mm
 - 320 x 460 mm
 - A3ノビ (13 x 19")
 - 封筒 COM10
 - 封筒 COM9
 - 封筒 Monarch
 - 封筒 長形6号
 - 封筒 長形3号
 - 封筒 長形4号
 - 封筒 洋形4号
 - 封筒 角形2号
 - 封筒 角形6号
 - ユーザ設定サイズ
- [基本] タブの [用紙種類] ボックスで以下の用紙種類が選択されている場合、ホチキス印刷は実行できません。ただし、お使いになる機種やフィニッシャの装着状況により異なる場合があります。
 - 厚紙4
 - 厚紙5
 - 特殊紙1-6
 - OHP用紙
 - 封筒1-4
 - 厚紙4 (うら)
 - 特殊紙1 (うら)
 - 特殊紙2 (うら)
 - 特殊紙3 (うら)

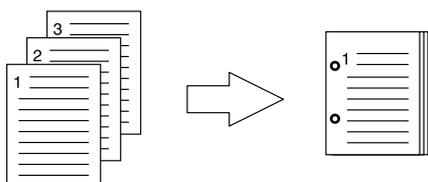
□ パンチ

印刷文書にパンチ処理（とじ用の穴開け）を行う場合は、パンチ位置を選択します。

- **なし**：パンチ処理をしません。
- **上段**：用紙の上部2か所に綴じ穴を開けて排紙します。



- **左**：用紙の左側2か所に綴じ穴を開けて排紙します。



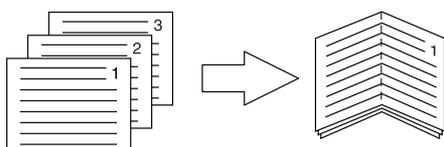
注意

- パンチ印刷は、パンチユニット装着時のみ実行できます。
- 製本印刷が設定されている場合、パンチ印刷は実行できません。
- 選択できるパンチ位置は、用紙サイズによって異なります。

□ 中折り

用紙を中折りして出力します。

- **なし**：用紙の中折りをしません。
- **中折り**：用紙の中央で中折りします。



補足

[中折り] は、あらかじめデータ上で製本された文書に対して、中折り印刷を行う場合に使用します。製本印刷を行う場合は、[両面印刷] で [製本] を設定します。中折りを使用する場合は、[両面印刷] で [製本] を設定して [編集] をクリックし、「製本設定」ダイアログボックスを開き、[中折り] チェックボックスをオンにしてください。

📖 P.105 「製本設定」

□ 余白/とじしろを編集する

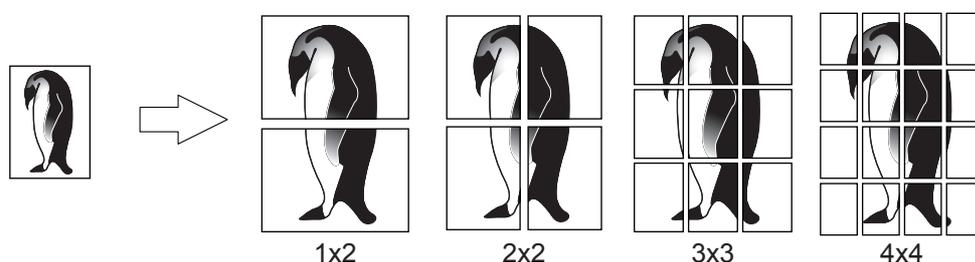
余白/とじしろを設定する場合にチェックボックスをオンにして [詳細] をクリックし、上下左右の余白およびとじしろを設定します。

注意

- [両面印刷] で [製本] が設定されている場合は、この機能は無効です。
- この機能は、アプリケーションが余白機能をサポートしていない場合にご使用ください。アプリケーションで余白が設定できる場合は、この機能は使用せずにアプリケーションの機能をご使用ください。
- この機能では、製本印刷のとじしろは設定できません。

□ ポスター印刷

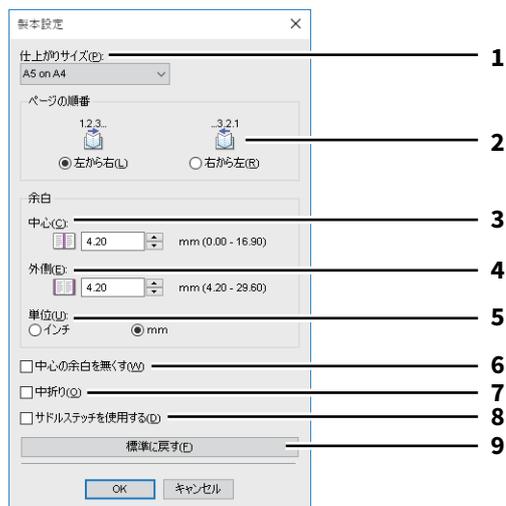
1つの印刷ジョブを複数の用紙に分割して印刷します。分割して印刷された用紙をつなぎあわせれば、ポスターのように大きな用紙の印刷物を作成することができます。この機能をオンにした場合は [詳細] をクリックして、分割枚数を設定します。



注意

- ユーザ設定サイズ、ページ集約印刷、両面印刷、スタンプ、オーバーレイ、シート挿入の各機能を設定している場合、ポスター印刷を実行することはできません。
- ポスター印刷は、[基本] タブの [印刷用紙サイズ] が以下のサイズを選択した場合にのみ設定できます。ただし、お使いになる機種により選択できる用紙サイズは異なります。
A4、A3、B4、B5、LT、LD
- [1x2] は、印刷用紙サイズをA4、A3、B4またはB5にした場合のみ選択できます。

□ 製本設定



	項目名	機能説明
1	仕上がりサイズ	出力される仕上がりサイズを選択します。
2	ページの順番	ページを左から右の順序で印刷するか、右から左の順序で印刷するかを選択します。
3	余白 - 中心	見開き印刷されるページの中央の余白を設定します。余白の設定値分だけ印刷イメージは縮小されます。
4	余白 - 外側	ページの上下左右の余白を設定します。余白の設定値分だけ印刷イメージは縮小されます。
5	余白 - 単位	余白の単位を選択します。
6	中心の余白を無くす	用紙の中央の余白を0 mm (0インチ) に設定します。このとき [余白-中心] に設定されていた値は、無効となります。
7	中折り	用紙の中央部分で中折りして出力します。
	<p>注意</p> <p>[中折り] は、以下の仕上がりサイズを指定したときのみ使用できます。 [A5 on A4]、[A4 on A3]、[B5 on B4]、[Letter - Half on Letter]、[LT on LD]、[1/2 LG on LG]、[16K on 8K]</p>	
8	サドルステッチを使用する	用紙の中央部分を2か所ホチキス留めして出力します。
	<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> [サドルステッチを使用する] は、以下の仕上がりサイズを指定したときのみ使用できます。 [A5 on A4]、[A4 on A3]、[B5 on B4]、[Letter - Half on Letter]、[LT on LD]、[1/2 LG on LG]、[16K on 8K] [サドルステッチを使用する] は、サドルステッチフィニッシャ装着時のみ有効です。 	
9	[標準に戻す]	「製本設定」ダイアログボックスで表示されている設定を初期設定に戻します。

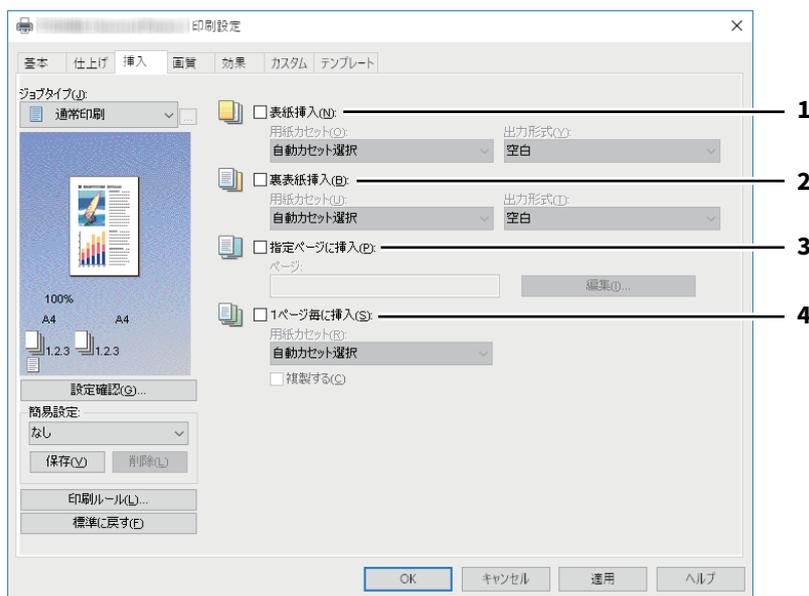
■ [挿入] タブ

表紙や裏表紙、空白シートを挿入して印刷する設定を行います。

📖 P.108 「指定ページに挿入」

注意

- インデックス紙印刷が設定されている場合、[表紙挿入]、[裏表紙挿入]、[指定ページに挿入]、[1ページ毎に挿入] は実行できません。
- 同じサイズの下紙を挿入するときは、本機の給紙元カセットの下紙種類を変更するか、[基本] タブで下紙カセットを選択しないと、挿入するカセットからすべて印刷されてしまいますので注意してください。
- ジョブタイプで [本体に保存] を選択した場合、[表紙挿入]、[裏表紙挿入]、[指定ページに挿入]、[1ページ毎に挿入] の設定は無効となります。



	項目名	機能説明
1	表紙挿入	<p>表紙印刷を設定します。異なる給紙元から給紙した用紙を挿入したり、異なる給紙元から給紙した用紙に文書のはじめのページを印刷します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 用紙カセット 表紙に使用する用紙を給紙する給紙元を選択します。 • 出力形式 表紙の印刷方法を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> - 空白：何も印刷せずに指定した給紙元の用紙を挿入します。 - 片面印刷：文書の最初のページを指定した給紙元の用紙の表面に印刷します。 - 両面印刷：文書の最初の2ページを指定した給紙元の用紙の両面に印刷します。この機能は、[仕上げ] タブで両面印刷が有効に設定されているときに選択できます。
	注意	[仕上げ] タブで両面印刷を設定したときに [片面印刷] を選択すると、表紙の表面のみに印刷が行われ、裏面は空白となります。

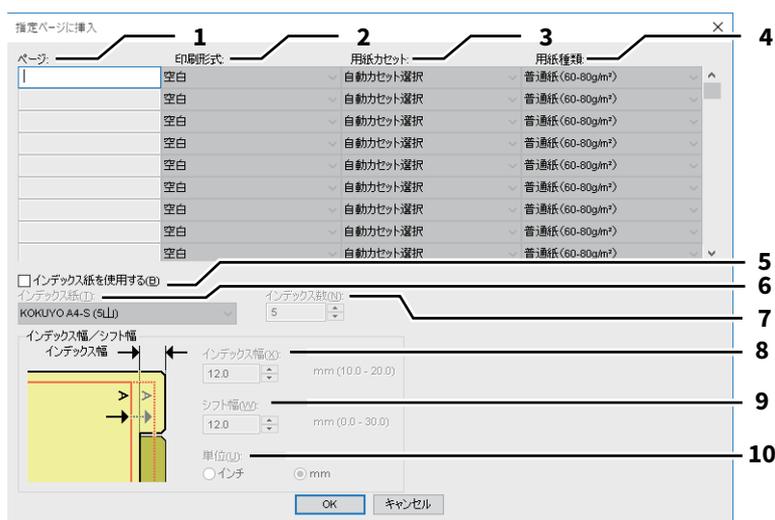
	項目名	機能説明
2	裏表紙挿入	<p>裏表紙印刷を設定します。異なる給紙元から給紙した用紙を挿入したり、異なる給紙元から給紙した用紙に文書の最後のページを印刷します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 用紙カセット 裏表紙に使用する用紙を給紙する給紙元を選択します。 • 出力形式 裏表紙の印刷方法を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> - 空白：何も印刷せずに指定した給紙元の用紙を挿入します。 - 片面印刷：文書の最後のページを指定した給紙元の用紙の表面に印刷します。 - 両面印刷：文書の最後の2ページを指定した給紙元の用紙の両面に印刷します。この機能は、[仕上げ] タブで両面印刷が有効に設定されているときに選択できます。
	<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • [仕上げ] タブで両面印刷を設定したときに [片面印刷] を選択すると、裏表紙の表面のみに印刷が行われ、裏面は空白となります。 • [両面印刷] を選択したときに裏表紙に印刷するページが1ページしかない場合は、裏表紙の表面のみに印刷が行われ、裏面は空白となります。 	
3	指定ページに挿入	<p>指定したページの間異なる給紙元から給紙した用紙を挿入したり、異なる給紙元から給紙した用紙に指定したページを印刷します。この機能は、印刷文書の各章の間に空白シートを挿入するときや、章の扉ページを本文とは違う用紙に印刷するときなどに便利です。[編集] をクリックして挿入方法を設定します。  P.108 「指定ページに挿入」</p>
	<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • [1ページ毎に挿入] と同時に設定することはできません。 • 挿入できるページ数は、最大50ページまでです。 	
4	1ページ毎に挿入	<p>印刷ジョブの各ページの間、異なる給紙元から給紙した用紙を挿入します。OHP用紙の間に色シートをそれぞれ挿入するときなどに便利な機能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 用紙カセット 挿入シートに使用する用紙を給紙する給紙元を選択します。 • 複製する 挿入シートすべてにそれぞれの前ページと同じページイメージを印刷します。OHP用紙の間の紙にそれぞれ印刷するときなどに便利な機能です。
	<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • [表紙挿入] [裏表紙挿入] と組み合わせて1ページごとに挿入を行った場合、表紙および裏表紙の後ろには用紙は挿入されません。 • [指定ページに挿入] と同時に設定することはできません。 	

□ 指定ページに挿入

指定したページの間異なる給紙元から給紙した用紙を挿入したり、異なる給紙元から給紙した用紙に指定したページを印刷します。この機能は、印刷文書の各章の間に空白シートを挿入するときや、章の扉ページを本文とは違う用紙に印刷するときなどに便利です。[編集] をクリックして挿入方法を設定します。

注意

- [1ページ毎に挿入] と同時に設定することはできません。
- 挿入できるページ数は、最大50ページまでです。

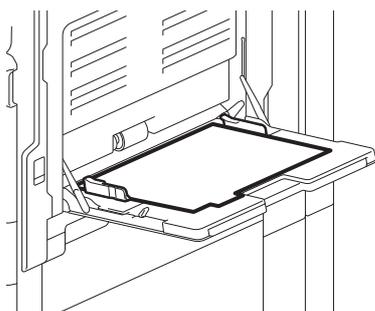


	項目名	機能説明
1	ページ	シートを挿入するページ番号を入力します。 [印刷形式] ボックスで [空白] が選択されていると、白紙シートが入力したページ番号の前にそれぞれ挿入されます。 [片面印刷] が選択されている場合は、指定したページが挿入シートに印刷されます。 [両面印刷] が選択されている場合は、指定したページおよび次のページが挿入シートの両面に印刷されます。
2	印刷形式	挿入シートの印刷方法を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 空白：何も印刷せずに指定した給紙元の用紙を指定したページに挿入します。 • 片面印刷：指定したページを別の用紙の表面にのみ印刷します。 • 両面印刷：指定したページと次のページを別の用紙に両面印刷します。この機能は、[仕上げ] タブで両面印刷が有効に設定されているときに選択できます。
3	用紙カセット	挿入シートに使用する用紙を給紙する給紙元を選択します。
4	用紙種類	指定した挿入ページに使用する用紙種類を選択します。
5	インデックス紙を使用する	指定したページの間インデックス紙を挿入したり、インデックス紙に指定したページを印刷します。
	注意	お使いの機種によっては、インデックス紙印刷は利用できません。

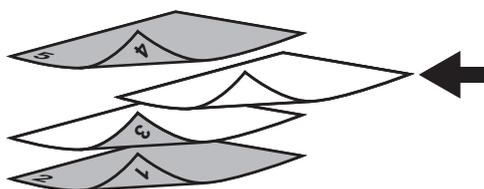
	項目名	機能説明
6	インデックス紙	<p>インデックス紙の製品名を選択します。</p> <p>A4 インデックス紙を選択した場合:</p> <ul style="list-style-type: none"> • KOKUYO A4-S (5山) • King JIM A4-S (5山) <p>Letter インデックス紙を選択した場合:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Blanks USA copy Tabs (5山) LT + 1/2" Tab • Blanks USA copy Tabs (8山) LT + 1/2" Tab
	注意	<p>上記以外のインデックス紙を使ってインデックス紙印刷を行う場合は、[カスタム] を選択しインデックス数やインデックス幅を手動で設定します。</p>
7	インデックス数	インデックス紙のインデックスの総数を1~10で選択します。[インデックス紙] 欄で [カスタム] を選択した場合に入力します。
8	インデックス幅	インデックスの幅を入力します。[インデックス紙] 欄で [カスタム] を選択した場合に入力します。
9	シフト幅	印刷イメージをシフトする幅を入力します。たとえば、A4 インデックス紙のインデックスにテキストを印刷する場合は、A4サイズの文書を作成し、右端にインデックスに印刷したいテキストを配置します。配置したテキストをインデックスの目的の位置までどのくらい移動させるかをシフト幅で指定します。
10	単位	インデックス幅およびシフト幅の単位を選択します。

注意

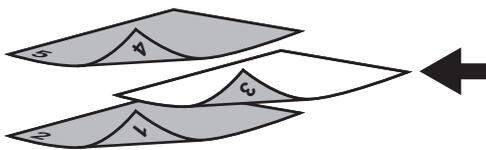
- 文書に配置するテキストの縦位置は、使用するインデックス紙のインデックスに収まるように調整して入力してください。
- お使いになる機種により、用紙の端から印刷できる範囲が異なります。
- インデックス紙は手差しトレイから給紙します。インデックスが外側になるように手差しトレイにインデックス紙をセットしてください。



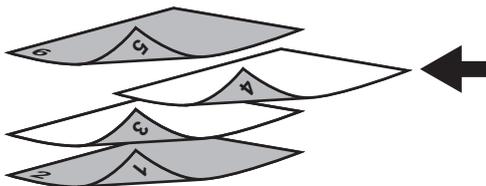
- インデックス紙印刷を行う文書が適切に作成されていない場合、またはシフト幅が適切に設定されていない場合は、インデックスの正しい位置に印刷されません。インデックス紙印刷を行う前に、文書が適切に作成されているか、適切なシフト幅が設定されているか確認してください。
- 両面印刷を設定時に、印刷形式で [空白] を選択し、偶数ページ（用紙の裏面に印刷されるページ、下図の例：4ページ）を指定した場合、指定したページ（用紙の裏面）は印刷されずブランクページとなり、次に白紙シートが挿入され、その次の表面から引き続き印刷されます。



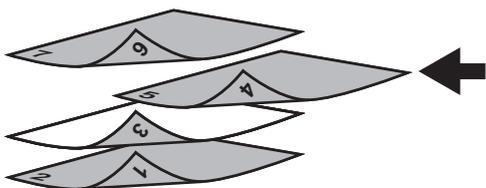
- 両面印刷を設定時に、印刷形式で「片面印刷」を選択すると、指定したページ（下図の例：3ページ）は挿入シートの表面に印刷され、シートの裏面はblankとなります。



- 両面印刷を設定時に、印刷形式で「片面印刷」を選択し、偶数ページ（用紙の裏面に印刷されるページ、下図の例：4ページ）を指定した場合、指定したページ（用紙の裏面）は印刷されずblankページとなり、挿入された用紙の表面に指定したページが印刷され、その次の表面から引き続き印刷されます。



- 両面印刷を設定時、印刷形式で「両面印刷」を選択し、偶数ページ（用紙の裏面に印刷されるページ、下図の例：4ページ）を指定した場合、指定したページ（用紙の裏面）は印刷されずblankページとなり、挿入された用紙の両面に指定したページと次のページが印刷され、それ以降のページはその次の表面から引き続き印刷されます。



■ [画質] タブ

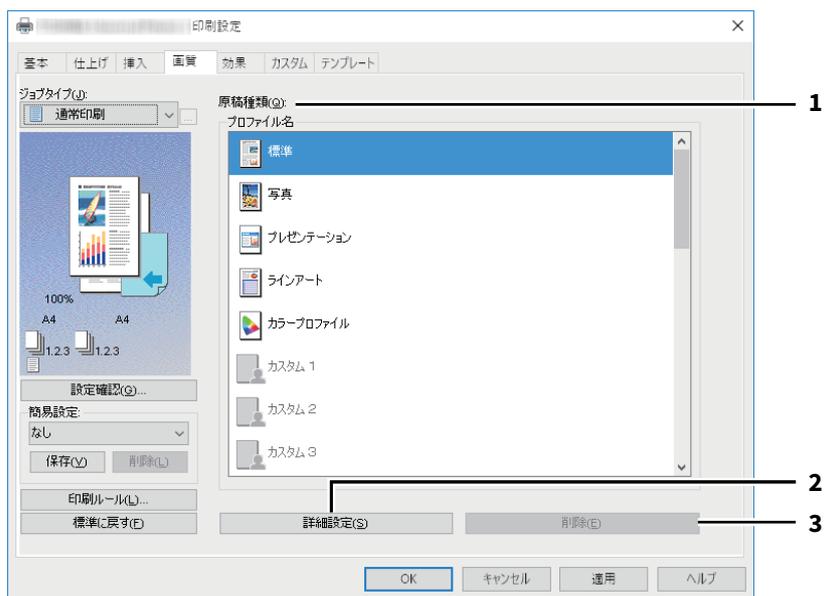
ページイメージをどのように印刷するかを設定します。文書の種類に応じた適切な画質を選択できます。

- 📖 P.113 「画質詳細設定：[基本] タブ」
- 📖 P.116 「画質詳細設定：[カラーバランス] タブ」
- 📖 P.117 「画質詳細設定：[画質調整] タブ」
- 📖 P.118 「画質詳細設定：[カラープロファイル] タブ」

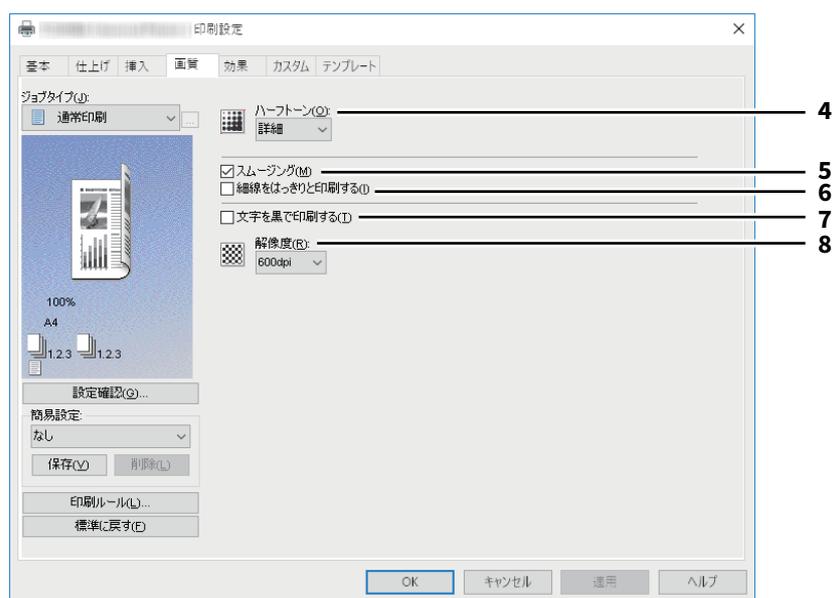
注意

お使いになる機種によって設定できる項目が異なります。

カラー MFPの場合



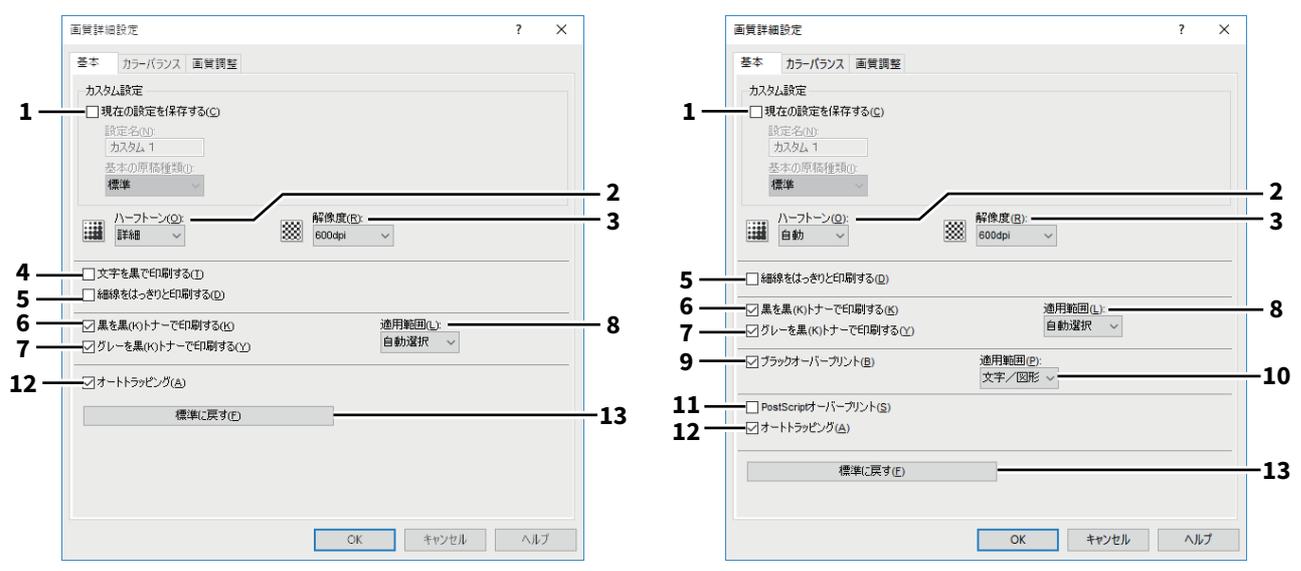
モノクロMFPの場合



	項目名	機能説明
1	原稿種類	<p>原稿種類に応じて適切な画質を適用します。あらかじめ登録されている原稿種類を選択するか、または作成したカスタム原稿種類を選択することができます。カスタム原稿種類の作成は、[詳細設定] をクリックして行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 標準：通常のカラー文書を印刷するのに適切な画質を適用します。 • 写真：写真を印刷するのに適切な画質を適用します。 • プレゼンテーション：プレゼンテーション資料を印刷するのに適切な画質を適用します。 • ラインアート：多くの文字やラインアートで構成される文書を印刷するのに適切な画質を適用します。 • カラープロファイル：カラースペースを調整するプロファイルを適用します。以下のプリンタドライバをお使いの場合のみ表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> - Universal Printer 2 (PostScript) - Universal PS3 - Universal XPS
	注意	[基本] タブの [カラー] ボックスで [白黒] または [2色] を選択した場合は、[標準] の設定となります。
2	[詳細設定]	<p>原稿種類をカスタマイズします。クリックすると「画質詳細設定」ダイアログボックスが表示されます。最大20個まで、カスタム原稿種類を作成することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 📖 P.113 「画質詳細設定：[基本] タブ」 📖 P.116 「画質詳細設定：[カラーバランス] タブ」 📖 P.117 「画質詳細設定：[画質調整] タブ」 📖 P.118 「画質詳細設定：[カラープロファイル] タブ」
	注意	新しいカスタム原稿種類は、[デバイスとプリンター] フォルダ (Windows Server 2008では [プリンタ] フォルダ) からプリンタドライバのプロパティを表示した場合のみ作成できます。アプリケーションの「印刷」ダイアログボックスからプリンタドライバのプロパティを表示した場合は、新しいカスタム原稿種類を作成することはできません。
3	[削除]	選択したカスタム原稿種別を削除します。
4	ハーフトーン	ハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。
5	スムージング	テキストやグラフィックスをなめらかに印刷します。
6	細線をはっきりと印刷する	細線をはっきりと印刷します。
7	文字を黒で印刷する	白文字を除き、テキストをすべて黒で印刷します。
8	解像度	<p>印刷の解像度を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [1200dpi] は、Universal Printer 2 (PostScript) / Universal PS3プリンタドライバを使用した場合のみ有効となります。 • 小さい文字や図形・細線のアウトラインのジャギー（ギザギザ）を抑え、よりなめらかに印刷することができます。 • 写真画像などを印刷する場合は、階調性の高い600 dpi設定をお勧めします。 • 1200 dpi印刷は扱うデータ量が大きくなるため、600 dpi印刷より印刷処理に時間がかかります。

□ 画質詳細設定：[基本] タブ

[基本] タブでは、以下の機能を設定できます。



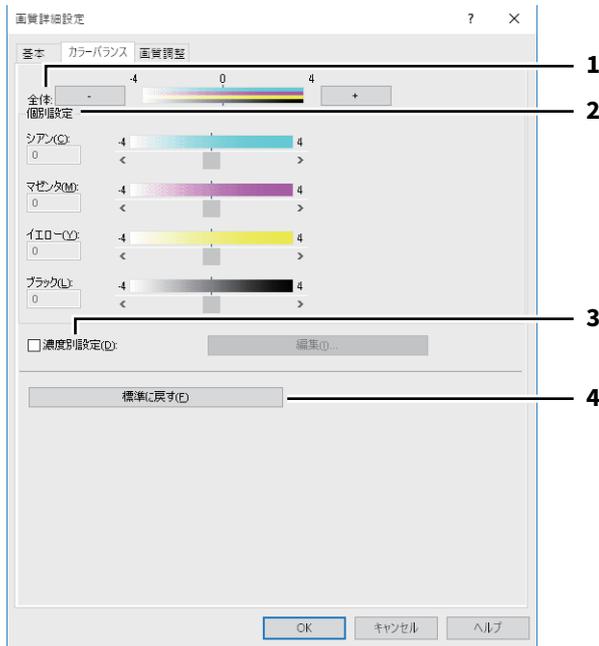
	項目名	機能説明
1	現在の設定を保存する	設定をカスタム原稿種類として保存します。チェックボックスをオフにした場合は、選択したカスタム原稿種類を未定義の状態に戻します。カスタム原稿種類は最大で20個まで作成することができます。
	注意 このチェックボックスは、[デバイスとプリンター] フォルダ（Windows Server 2008では [プリンタ] フォルダ）からプリンタドライバのプロパティを表示した場合のみ有効です。	
	設定名 保存するカスタム原稿種類の設定名を入力します。	
	補足 基本の原稿種類（[標準] [写真] [プレゼンテーション] [ラインアート] [カラープロファイル]）と同じ設定名を入力しても、基本の原稿種類は上書きされません。指定した名前で、新規のカスタム原稿種類として保存されます。	
	基本の原稿種類 設定するカスタム原稿種類のベースとなる原稿種類を選択します。	
2	ハーフトーン	ハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。

	項目名	機能説明
3	解像度	印刷の解像度を設定します。
	<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • [画質] タブの [原稿種類] で [写真] または [プレゼンテーション] を選択した場合、[1200dpi]、[600 x 1200dpi] は表示されません。 • [600 x 1200dpi] で印刷する場合、以下の機能を使用して印刷することはできません。 <ul style="list-style-type: none"> - 縦横交互排紙 - オートカセットチェンジ - オートトラッピング • A3サイズ用紙モデルの場合、[600 x 1200dpi] で印刷するときは、印刷に使用するカセットや用紙の向きに合わせて印刷データを確定した後、そのカセットにセットされた用紙の向きが変更されても、印刷データの向きは自動的に回転されません。たとえば、1段目カセットにセットされたA4縦向きの用紙を指定してホールド印刷を行い、印刷待ちの状態（本機で印刷データが確定された状態）となった後、1段目カセットの用紙の向きをA4縦向きからA4横向きに変更して印刷すると、印刷データは自動的に回転されずA4縦向きのままで印刷されます。 <p>補足</p> <p>[1200dpi]、[600 x 1200dpi] について</p> <ul style="list-style-type: none"> • 小さい文字や図形・細線のアウトラインのジャギー（ギザギザ）を抑え、よりなめらかに印刷することができます。 • 写真画像などを印刷する場合は、階調性の高い600 dpi設定をお勧めします。 • 1200 dpi印刷は扱うデータ量が大きくなるため、600 dpi印刷より印刷処理に時間がかかります。 	
4	文字を黒で印刷する	白文字を除き、テキストをすべて黒で印刷します。
	<p>注意</p> <p>この機能は、以下のプリンタドライバをお使いになる場合のみ有効です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Universal Printer 2 • Universal XPS 	
5	細線をはっきりと印刷する	細線をはっきりと印刷します。
6	黒を黒（K）トナーで印刷する	黒の箇所を黒トナーで印刷します。
7	グレーを黒（K）トナーで印刷する	グレースケールの箇所を黒トナーで印刷します。
	<p>注意</p> <p>[黒を黒（K）トナーで印刷する] が無効の場合、この機能も無効です。</p>	
8	適用範囲	[黒を黒（K）トナーで印刷する] と [グレーを黒（K）トナーで印刷する] を適用する範囲を選択します。
9	ブラックオーバープリント	黒色のテキスト、線画をカラー背景上にオーバープリントします。テキストと背景間のすき間やカラーの版ズレを回避できます。
	<p>注意</p> <p>この機能は、以下のプリンタドライバをお使いになる場合のみ有効です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Universal Printer 2（PostScript） • Universal PS3 	

	項目名	機能説明
10	適用範囲	<p>[ブラックオーバープリント] を適用する範囲を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 文字：フルカラー背景部分をすべて出力してから、カラー背景上に黒色のテキストを出力します。 • 文字/図形：フルカラー背景部分をすべて出力してから、カラー背景上に黒色のテキスト、図形を出力します。
	<p>注意</p> <p>この機能は、以下のプリンタドライバをお使いになる場合のみ有効です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Universal Printer 2 (PostScript) • Universal PS3 	
11	PostScriptオーバープリント	<p>アプリケーション上でオーバープリントの設定をしたオブジェクトを、オーバープリントを有効にして印刷します。</p>
	<p>注意</p> <p>この機能は、Universal PS3プリンタドライバをお使いになる場合のみ有効です。</p>	
12	オートトラッピング	<p>版ズレにより用紙の下地が見えてしまうことを防ぎます。隣接する色の接触部だけを重ねて印刷し版ズレを目立たなくします。</p>
	<p>注意</p> <p>この機能は、[基本] タブの [カラー] ボックスで [自動カラー選択]、[フルカラー] または [2色] を選択して印刷する場合に有効です。</p>	
13	[標準に戻す]	<p>[標準] タブで表示されている画質詳細設定を、初期設定に戻します。</p>

□ 画質詳細設定：[カラーバランス] タブ

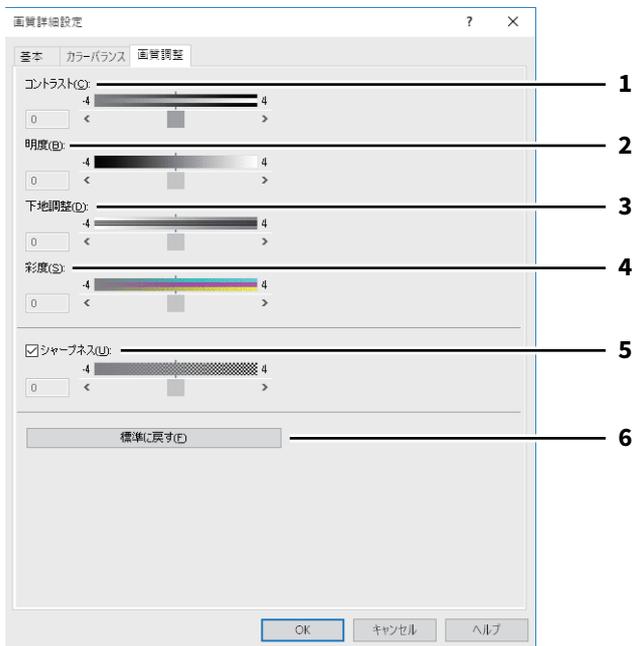
[カラーバランス] タブでは、以下の機能を設定できます。数値の調整は、左右の矢印ボタン、スクロールバーでそれぞれ行います。



	項目名	機能説明
1	全体	全色の印字濃度をまとめて調整します。
2	個別設定	各トナーの印字濃度を設定します。
3	濃度別設定	各色の濃度をより詳細に設定します。[編集] をクリックして「濃度別カラーバランス設定」ダイアログボックスを表示し、濃度別の設定を行います。
4	[標準に戻す]	[カラーバランス] タブで表示されている画質詳細設定を、初期設定に戻します。

□ 画質詳細設定：[画質調整] タブ

[画質調整] タブでは、以下の機能を設定できます。数値の調整は、左右の矢印ボタン、スクロールバーでそれぞれ行います。

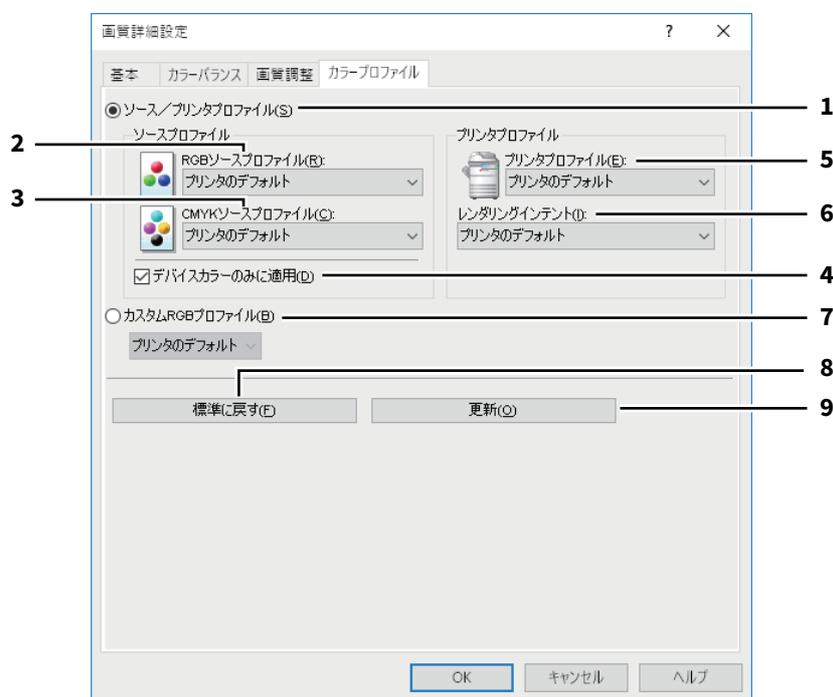


	項目名	機能説明
1	コントラスト	印字のコントラストを調整します。
2	明度	印字の明るさを調整します。
3	下地調整	下地濃度を調整します。
4	彩度	印刷の彩度を調整します。
5	シャープネス	シャープネスフィルタを使用します。
6	[標準に戻す]	[画質調整] タブで表示されている画質詳細設定を、初期設定に戻します。

□ 画質詳細設定：[カラープロファイル] タブ

[カラープロファイル] タブでは、以下の機能を設定できます。

本機のカラープロファイル情報は更新されている場合があります。本機と双方向通信ができる場合は、[カラープロファイル] タブを開いて、[更新] をクリックしてカラープロファイル情報を更新してください。



	項目名	機能説明
1	ソース／プリンタプロファイル	ソースプロファイルおよびプリンタプロファイルを使用する場合に選択します。
2	RGBソースプロファイル	RGBソースプロファイルを選択します。
3	CMYKソースプロファイル	CMYKソースプロファイルを選択します。
4	デバイスカラーのみに適用	画像に埋め込まれているカラープロファイルを優先します。
5	プリンタプロファイル	プリンタプロファイルを選択します。
6	レンダリングインテント	印刷時のカラースペース変換処理を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • プリンタのデフォルト：本機に設定されたデフォルトプロファイルに従って、カラースペース変換が行われます。 • 知覚的：写真画像に適しています。 • 相対的：[知覚的] よりも多くの画像のオリジナルの色を保持できます。 • 彩度：色の正確さよりも、画像の鮮明な色の再現を重視します。グラフや図表などのグラフィックに適しています。 • 絶対的：用紙の色を考慮して色を保持できます。
7	カスタムRGBプロファイル	カスタムRGBプロファイルを使用する場合に選択します。
8	[標準に戻す]	[カラープロファイル] タブで表示されている画質詳細設定を、初期設定に戻します。
9	[更新]	クリックすると、本機に設定された最新のカラープロファイル情報を取得し、情報を更新します。本機と双方向通信できる場合のみ有効です。

注意

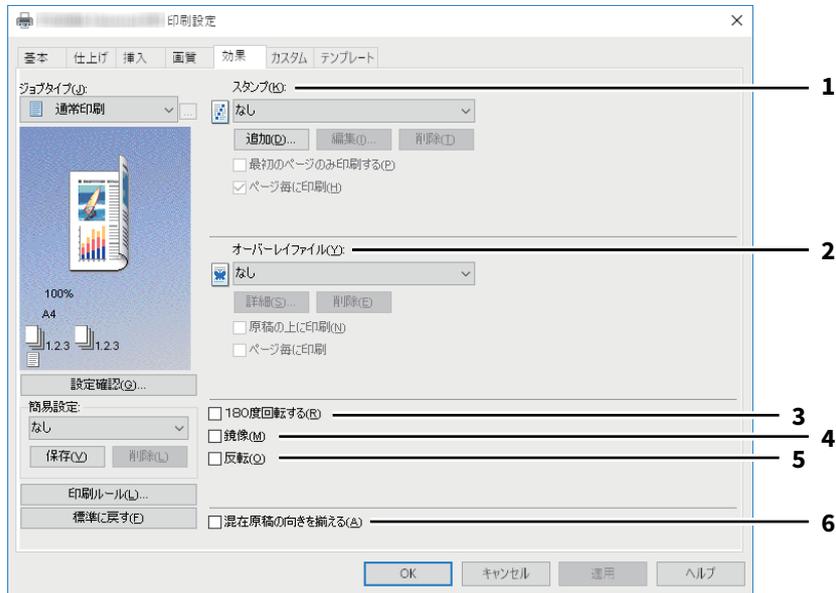
RGBソースプロファイル、CMYKソースプロファイル、プリンタプロファイル、およびレンダリングインテントの初期設定では、[プリンタのデフォルト] が選択されています。[プリンタのデフォルト] を選択した場合は、本機に設定されたデフォルトプロファイル（TopAccess管理者設定の [セットアップ] メニューにある [ICCプロファイル] サブメニューで、デフォルトプロファイルに設定されたプロファイル）に従って、カラースペース変換が行われます。

■ [効果] タブ

印刷ジョブの体裁をより整える設定を行います。

📖 P.123 「スタンプ」

📖 P.124 「オーバーレイファイル」



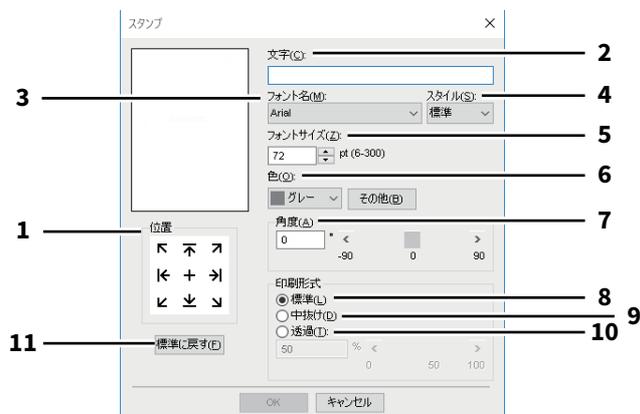
	項目名	機能説明
1	スタンプ	<p>使用または編集するスタンプを選択します。プリンタドライバには、標準で [極秘] [社外秘] [ドラフト] [オリジナル] [コピー] のスタンプが登録されています。また、新たに作成したスタンプを最大15個まで保存することもできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [追加] 新しいスタンプを作成します。[追加] をクリックすると [スタンプ] ダイアログボックスが表示されます。 📖 P.123 「スタンプ」 • [編集] [スタンプ] ボックスで選択したスタンプを編集します。[追加] をクリックすると [スタンプ] ダイアログボックスが表示されます。 📖 P.123 「スタンプ」 • [削除] [スタンプ] ボックスで選択したスタンプを削除します。 <p>注意 標準で登録されているスタンプも削除することができます。ただし、削除した場合、元に戻すことはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 最初のページのみ印刷する 選択したスタンプを文書の最初のページにのみ印刷します。 • ページ毎に印刷 スタンプを各ページに印刷します。ページ集約印刷時は、縮小された各ページにスタンプを印刷します。ページ集約印刷時にスタンプを用紙に印刷する場合は、この機能をオフにします。

	項目名	機能説明
2	オーバーレイファイル	文書にオーバーレイファイルを印刷します。スタンプはテキストのみですが、この機能は印刷文書の背面にグラフィックなどのイメージを印刷することができます。
<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ページ集約印刷時にオーバーレイファイルを選択した場合は、1ページのレイアウトに対してオーバーレイファイルが印刷されます。 オーバーレイファイルとそのオーバーレイファイルを使用して印刷する文書は、同じ用紙サイズ、用紙の向き、カラーモード、解像度で作成または印刷する必要があります。 <p>補足</p> <p>印刷ジョブにオーバーレイファイルを使用するときは、最初にオーバーレイファイルを作成する必要があります。オーバーレイファイルを作成するには、[ジョブタイプ] で [オーバーレイファイルで保存] を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 【詳細】 偶数と奇数ページでオーバーレイファイルの種類を変えたり、指定したページにだけオーバーレイファイルを使用したい場合など、どのオーバーレイファイルをどのページに使用するかを設定します。 [オーバーレイファイル] ボックスで [マルチオーバーレイ] を選択しているときにクリックすると、「マルチオーバーレイ」ダイアログボックスが表示されます。 📖 P.58 「マルチオーバーレイ」 【削除】 [オーバーレイファイル] ボックスで選択したオーバーレイファイルを削除します。 <p>注意</p> <p>[なし]、[マルチオーバーレイ] は削除できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原稿の上に印刷 印刷文書に重ねてオーバーレイファイルを印刷します。 ページ毎に印刷 ページ集約や製本で複数のページを1枚の用紙に印刷する際に、オーバーレイファイルを各ページに印刷します。 		
3	180度回転する	ページ全体を180度回転させて印刷します。
4	鏡像	ページ全体を鏡に映したように左右を反転させて印刷します。
<p>注意</p> <p>この機能は、以下のプリンタドライバをお使いになる場合のみ有効です。</p> <ul style="list-style-type: none"> Universal Printer 2 (PostScript) Universal XPS 		
5	反転	白黒反転させて印刷します。
<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> この機能は、[基本] タブの [カラー] ボックスで [白黒] を選択した場合のみ有効です。 この機能は、以下のプリンタドライバをお使いになる場合のみ有効です。 <ul style="list-style-type: none"> - Universal Printer 2 (PostScript) - Universal PS3 - Universal XPS 		

	項目名	機能説明
6	混在原稿の向きを揃える	原稿の用紙サイズと原稿の縦横の向きが混在する場合に、印刷結果の縦横の向きを揃えることができます。
	<p>原稿が以下の組み合わせの場合にチェックボックスをオンにしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • A4サイズ縦向きとA3サイズ横向き • A4サイズ横向きとA3サイズ縦向き • LTサイズ縦向きとLDサイズ横向き • LTサイズ横向きとLDサイズ縦向き • B5サイズ縦向きとB4サイズ横向き • B5サイズ横向きとB4サイズ縦向き • 16Kサイズ縦向きと8Kサイズ横向き • 16Kサイズ横向きと8Kサイズ縦向き <p>注意</p> <p>この機能は以下のプリンタドライバをお使いになる場合のみ有効です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Universal Printer 2 (PCL6) • Universal Printer 2 (PostScript) • Universal PS3 	

□ スタンプ

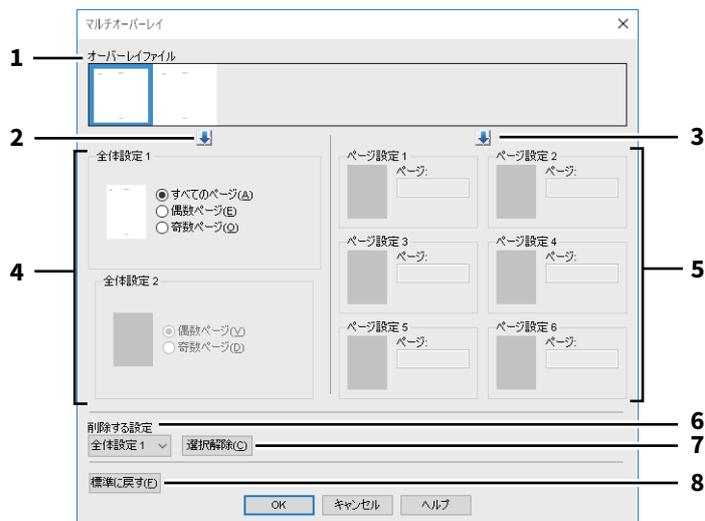
[追加] または [編集] をクリックすると、「スタンプ」ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、スタンプの新規作成や既存のスタンプの編集をします。



	項目名	機能説明
1	位置	スタンプの位置を調整します。
2	文字	スタンプテキストを入力します。
3	フォント名	スタンプテキストのフォントを選択します。
4	スタイル	スタンプテキストのスタイルを選択します。
5	フォントサイズ	スタンプテキストのフォントサイズを指定します。
6	色	スタンプテキストの色を選択します。ボックスに希望する色がない場合は、[その他] をクリックして新たな色を追加します。
	注意	<ul style="list-style-type: none"> この機能は、お使いの機種がカラー MFP の場合にのみ設定できます。 [基本] タブの [カラー] ボックスで [白黒] を選択している場合は、この機能は無効です。
7	角度	スタンプテキストの回転角度を指定します。
8	標準	スタンプを指定した色で塗りつぶして印刷します。
9	中抜け	スタンプを中抜きのフォントスタイルで印刷します。
10	透過	スタンプが文書のテキストやオブジェクトの背面に透過して見えるように印刷します。
11	[標準に戻す]	「スタンプ」ダイアログボックスで表示されている設定を初期設定に戻します。

□ オーバーレイファイル

どのオーバーレイファイルをどのページに使用するかを設定します。

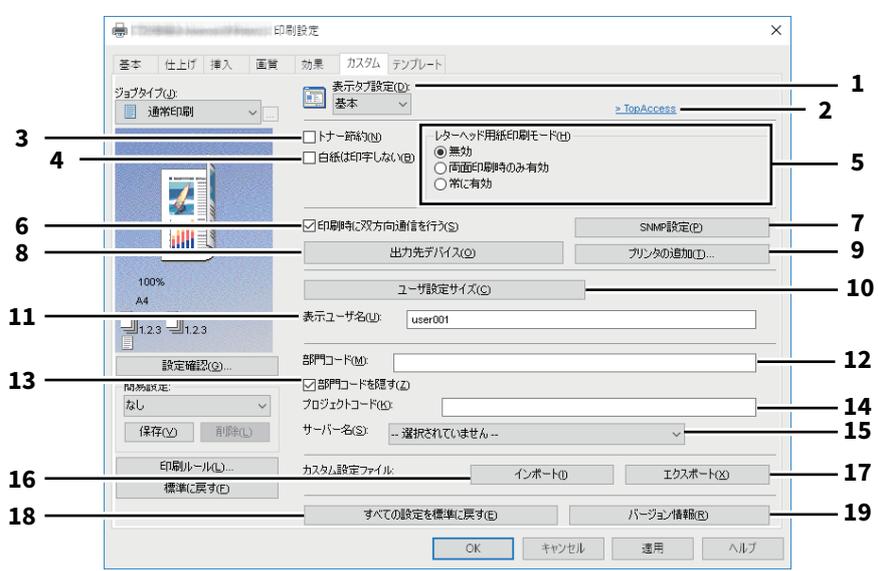


	項目名	機能説明
1	オーバーレイファイル	登録したオーバーレイファイルがサムネイル表示されます。使用するオーバーレイファイルを選択します。
	補足 オーバーレイファイルのサムネイル表示を、使用したいオーバーレイのグループ（全体設定 1/2、ページ設定 1-6）にドラッグアンドドロップして、直接設定することもできます。ドロップしたグループにオーバーレイファイルがすでに設定されていた場合は、上書きされます。	
2	[↓]（全体設定）	選択したオーバーレイファイルを、[全体設定] 欄に設定します。クリックするごとに、[全体設定 1] → [全体設定 2] の順に設定します。
3	[↓]（ページ設定）	選択したオーバーレイファイルを、[ページ設定] 欄に設定します。クリックするごとに、[ページ設定 1] → [ページ設定 2]・・・→ [ページ設定 6] の順に設定します。
4	全体設定 1/2	選択したオーバーレイファイルの使用ページを、全ページ、または偶数・奇数ページごとに設定します。
	注意 • 複数の全体設定を使用し、オーバーレイの指定ページが重複した場合、[すべてのページ] の設定よりも、[偶数ページ] / [奇数ページ] の設定が優先されます。 • [全体設定] と [ページ設定] で設定内容が重複した場合、[ページ設定] の設定が優先されます。	
5	ページ設定 1/2/3/4/5/6	選択したオーバーレイファイルの使用ページを、ページ番号で設定します。複数のページを指定する場合は「1,3,5」のように「,」で区切ります。ページ範囲で指定する場合は「6-10」のように最初のページと最後のページを「-」でつなぎます。
	注意 複数のページ設定を使用し、オーバーレイの指定ページが重複した場合、後から設定した内容が優先されます。	
6	削除する設定	削除したいオーバーレイファイルの設定を選択します。
7	[選択解除]	[削除する設定] ボックスで選択したオーバーレイファイルの設定を削除します。
8	[標準に戻す]	「マルチオーバーレイ」ダイアログボックスで表示されている設定を初期設定に戻します。

■ [カスタム] タブ

表示タブ設定やトナー節約、白紙は印字しない、ユーザ設定サイズなど、特殊な機能について設定します。

- 📖 P.128 「SNMP設定」
- 📖 P.129 「プリンタの追加」
- 📖 P.131 「出力先デバイス（タンデム印刷）」



項目名	機能説明
1 表示タブ設定	プリンタドライバを開いたときに、最初に表示されるタブを設定します。
注意 アプリケーションの印刷設定から [カスタム] タブを開いて設定した場合、設定はプリンタドライバを閉じると消去され初期設定に戻ります。設定を保持したい場合はプリンタフォルダからプリンタドライバの設定をしてください。	
2 TopAccess (リンク)	クリックすると、Webブラウザを起動してTopAccessを表示します。
3 トナー節約	トナー節約モードで印刷します。
注意 トナー節約モードで印刷すると、印字が薄くなる場合があります。	
4 白紙は印字しない	印刷原稿の白紙ページを印刷しません。 スタンプが設定されている場合は、白紙もすべて印字されます。 ヘッダやフッタを含む文書を印刷する場合、内容がないページも印刷されます。
5 レターヘッド用紙印刷モード	片面にイラストが印刷されている用紙を、表と裏を使い分けて印刷を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • 無効：レターヘッド用紙印刷モードを無効にします。 • 両面印刷時のみ有効：両面印刷の場合のみ、レターヘッド用紙印刷モードで印刷します。 • 常に有効：片面および両面印刷のいずれの場合もレターヘッド用紙印刷モードで印刷します。
注意 [常に有効] に設定した場合、印刷速度が遅くなる場合があります。	
6 印刷時に双方向通信を行う	印刷時に本機との双方向通信を行い、情報を取得します。

	項目名	機能説明
7	[SNMP設定]	SNMP設定の変更または確認を行います。 📖 P.128 「SNMP設定」
	注意	[SNMP設定] は、[デバイスとプリンター] フォルダ (Windows Server 2008では [プリンタ] フォルダ) からプリンタドライバのプロパティを表示した場合のみ設定できます。アプリケーションの「印刷」ダイアログボックスからプリンタドライバのプロパティを表示した場合は、設定できません。
8	[出力先デバイス]	印刷に使用する機体を変更したり、1つの印刷ジョブを2台の機体に分散させて印刷 (タンデム印刷) することができます。 📖 P.131 「出力先デバイス (タンデム印刷)」
9	[プリンタの追加]	ネットワーク上にあるe-STUDIO Seriesの機体を検索して、[プリンタ] に追加することができます。 📖 P.129 「プリンタの追加」
10	[ユーザ設定サイズ]	ユーザ設定サイズを定義します。 📖 P.130 「ユーザ設定サイズ」
	注意	<ul style="list-style-type: none"> • [ユーザ設定サイズ] は、[デバイスとプリンター] フォルダ (Windows Server 2008では [プリンタ] フォルダ) からプリンタドライバのプロパティを表示した場合のみ設定できます。アプリケーションの「印刷」ダイアログボックスからプリンタドライバのプロパティを表示した場合は、設定できません。 • [ユーザ設定サイズ] は、管理者権限で操作する場合のみ設定が可能です。
11	表示ユーザ名	必要に応じて、プライベート印刷ジョブ一覧やホールド印刷ジョブ一覧に表示されるユーザ名を入力します。
	補足	<ul style="list-style-type: none"> • [表示ユーザ名] の初期設定は、コンピュータのログインユーザ名です。[表示ユーザ名] を入力しない場合は、ログインユーザ名がプライベート印刷ジョブ一覧/ホールド印刷ジョブ一覧に表示されます。 • [表示ユーザ名] は、プライベート印刷ジョブ一覧およびホールド印刷ジョブ一覧にのみ適用されます。その他のジョブ一覧画面 (お試し印刷/部門コードなし) や印刷ログ画面には、コンピュータのログインユーザ名が表示されます。
12	部門コード	ユーザの部門コードを入力します。部門コードの入力は、本機が部門コードで管理されているときに必要となります。使用する部門コードについては、管理者にお問い合わせください。
13	部門コードを隠す	部門コードを伏せ字で表示します。
14	プロジェクトコード	プロジェクトコードを入力します。使用するプロジェクトコードについては、管理者にお問い合わせください。
15	サーバー名	必要に応じて指定したいLDAPサーバーを選択します。LDAPサーバーは、[デバイス設定] タブから [アカウント設定] - [LDAPサーバー設定] ダイアログボックスを開いて設定します。 📖 P.132 「[デバイス設定] タブ」

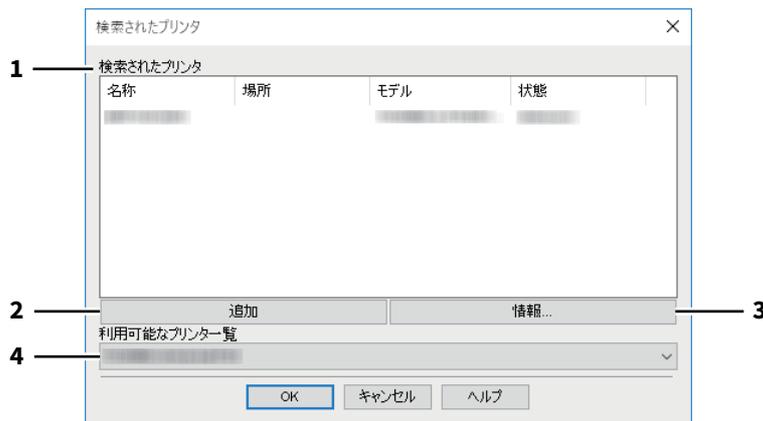
	項目名	機能説明
16	[インポート]	<p>テンプレート、スタンプ、オーバーレイ、原稿種類、ユーザ設定サイズ、簡易設定のカスタム設定内容をプリンタドライバにインポートします。 インポート方法</p> <ul style="list-style-type: none"> • [インポート] をクリックします。 • 「ファイルを指定」ダイアログボックスが表示されますので、インポートするファイル（*.cfu：Universal Printer 2、*.cfp：Universal PS3、*.cfv：Universal XPS）を選択し、[開く] をクリックします。 • ファイルの上書きを確認するメッセージが表示されますので [OK] をクリックします。
	注意	<p>[インポート] は、[デバイスとプリンター] フォルダ（Windows Server 2008では [プリンタ] フォルダ）からプリンタドライバのプロパティを表示した場合のみ設定・実行できます。アプリケーションの「印刷」ダイアログボックスからプリンタドライバのプロパティを表示した場合は、設定・実行できません。</p>
17	[エクスポート]	<p>テンプレート、スタンプ、オーバーレイ、原稿種類、ユーザ設定サイズ、簡易設定のカスタム設定内容をエクスポートします。 エクスポート方法</p> <ul style="list-style-type: none"> • [エクスポート] をクリックします。 • 「名前を付けて保存」ダイアログボックスが表示されるので、保存先とファイル名を指定し、[保存] をクリックします。
	注意	<p>[エクスポート] は、[デバイスとプリンター] フォルダ（Windows Server 2008では [プリンタ] フォルダ）からプリンタドライバのプロパティを表示した場合のみ設定・実行できます。アプリケーションの「印刷」ダイアログボックスからプリンタドライバのプロパティを表示した場合は、設定・実行できません。</p>
18	[すべての設定を標準に戻す]	[デバイス設定] タブを除くすべてのタブの印刷設定を初期設定に戻します。
	注意	<p>[デバイス設定] タブを変更するには、プリンタフォルダから管理者権限で操作する必要があります。詳細については以下を参照してください。 📖 P.132 「[デバイス設定] タブ」</p>
19	[バージョン情報]	クリックすると、プリンタドライバのバージョン情報を表示します。

□ SNMP設定

	項目名	機能説明
1	バージョン	<p>お使いの東芝複合機に設定されているSNMPバージョンを確認し、以下の中から選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • V1/V2 : SNMPV1およびV2を有効にします。 • V3 : SNMPV3を有効にします。 • V1/V2/V3 (「検索設定」ダイアログボックスのみ) : SNMPV1、V2、およびV3を有効にします。
2	SNMP V1/V2	<p>コミュニティ名 : お使いの東芝複合機に「private」(初期設定)以外のSNMPコミュニティ名が設定されている場合に、コミュニティ名を変更します。</p>
	注意	<ul style="list-style-type: none"> • SNMPV1/V2環境下でお使いの東芝複合機を検出するには、複合機に設定されているSNMPコミュニティ名を正しく指定することが必要です。詳しくは、管理者にお問い合わせください。 • コミュニティ名を変更するには、管理者の権限が必要です。Administrators (管理者) でログインし、プリンタドライバのプロパティを開く必要があります。

	項目名	機能説明
3	SNMP V3	SNMP V3を有効にした場合、以下の項目を選択して認証方法を設定します。 ユーザIDファイル ：ユーザIDファイルでの認証を行います。[参照] をクリックしてユーザIDファイルを指定してください。 ユーザ名/パスワード ：ユーザ名およびパスワードでの認証を行います。この認証方法を使用する場合は、以下の項目を入力または選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> • ユーザ名 • 認証プロトコル • 認証パスワード • プライバシープロトコル • プライバシーパスワード <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">注意</div> SNMP V3を有効にする場合は、事前にネットワーク管理者から認証方法についての確認を行ってください。
4	[標準に戻す]	クリックすると、設定値をすべてリセットして初期設定に戻します。

□ プリンタの追加



	項目名	機能説明
1	検索されたプリンタ	ネットワーク上で検索されたe-STUDIO Seriesの機体が表示されます。名称、設置場所、モデル名、状態を確認することができます。
2	[追加]	[検索されたプリンタ] で選択したプリンタを、プリンタフォルダに追加します。
3	[情報]	[検索されたプリンタ] で選択したプリンタの基本情報を表示します。カラー印刷機能の有無、両面印刷機能の有無、ホチキス機能の有無、印刷速度、解像度、およびセットされている用紙の種類を確認することができます。
4	利用可能なプリンター一覧	プリンタフォルダに登録されているe-STUDIO Seriesのプリンタが表示されます。

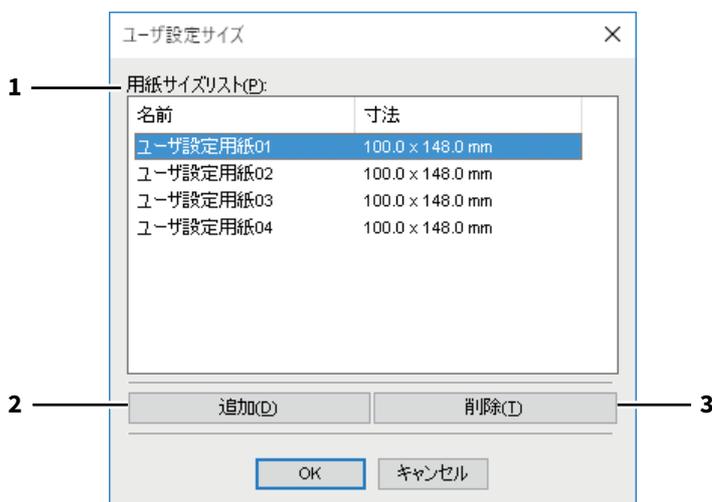
□ ユーザ設定サイズ

カスタムサイズの用紙を設定します。

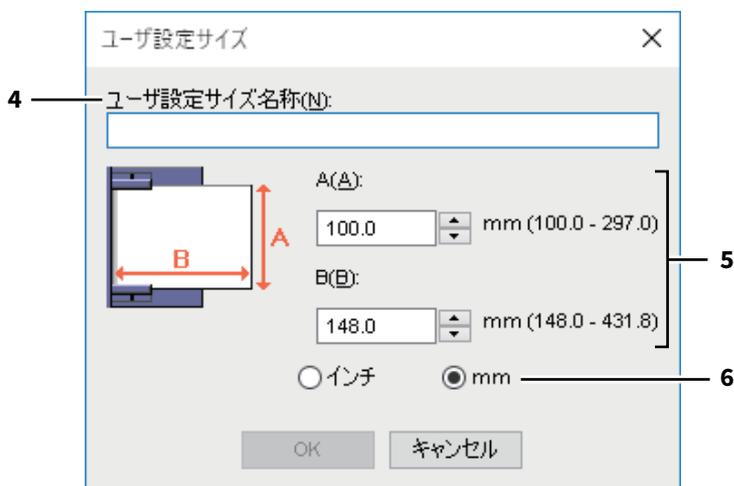
ここで定義したユーザ設定サイズは、[基本] タブの [原稿サイズ] および [印刷用紙サイズ] で選択できます。

補足

定義したユーザ設定サイズの設定は、Universal Printer 2 (PCL6) / Universal PS3 / Universal XPS プリンタドライバの間で共用できます。



「ユーザ設定サイズ」ダイアログボックス



	項目名	機能説明
1	用紙サイズリスト	定義するユーザ設定サイズ名称を選択します。
2	[追加]	クリックすると、「ユーザ設定サイズ」ダイアログボックスが表示されます。
3	[削除]	[用紙サイズリスト] で選択したユーザ設定サイズを削除し、初期設定の状態に戻します。
4	ユーザ設定サイズ名称	ユーザ設定サイズの名称を入力します。ここで設定した名前が、[基本] タブの [原稿サイズ] および [印刷用紙サイズ] に表示されます。
5	用紙寸法	用紙の横幅 (A) および縦幅 (B) を指定します。

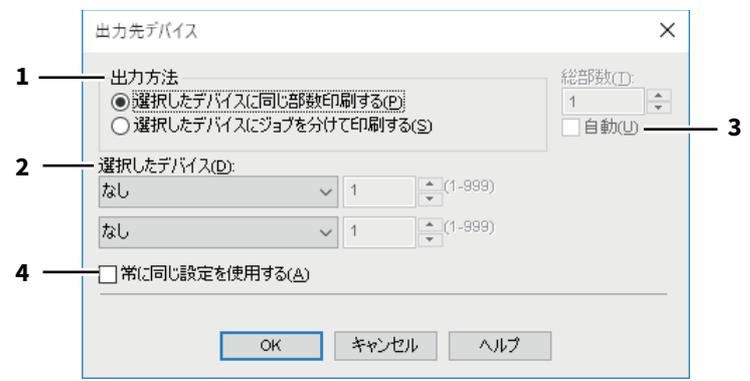
	項目名	機能説明
6	単位	用紙寸法の単位を切り替えます。

注意

- 横幅 (A) または縦幅 (B) いずれかは、定型サイズより7 mm以上異なる値で登録してください。横幅 (A) と縦幅 (B) いずれも定型サイズとの差異が7 mm未満だった場合、定型サイズとして扱われます。
- 横幅 (A) が縦幅 (B) よりも長い用紙サイズは登録できません。そのような文書を印刷したい場合は、用紙の向きを [横] に変更して印刷してください。

□ 出力先デバイス (タンデム印刷)

この機能は、1つの印刷ジョブを部数ごとに2台の機体に分散させて印刷する機能です。たとえば、枚数の多い資料を何十部も印刷しなければならない場合、ネットワーク上に存在するe-STUDIO Seriesの機体に部数単位で印刷を割り振ることで、2台の機体の同時印刷により短時間で処理することができます。



	項目名	機能説明
1	出力方法	[選択したデバイスに同じ部数印刷する] または [選択したデバイスにジョブを分けて印刷する] のいずれかを指定します。
2	選択したデバイス	印刷に使用したいプリンタを2台選択し、それぞれの印刷部数を設定します。
	注意	<ul style="list-style-type: none"> • [選択したデバイス] でプリンタを選択する場合は、印刷ジョブに対応する機能が搭載されたプリンタを選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> - ホチキス印刷を行う場合は、ホチキス機能が搭載されたプリンタを選択してください。 - パンチ印刷を行う場合は、パンチ機能が搭載されたプリンタを選択してください。 - 大容量給紙装置 (外付け) から印刷を行う場合は、大容量給紙装置 (外付け) が装着されたプリンタを選択してください。 - フルカラーまたは2色印刷を行う場合は、カラー印刷に対応したプリンタを選択してください。 • [選択したデバイス] で選択できるプリンタは、プリンタフォルダに登録されたプリンタの中から選択する必要があります。[カスタム] タブにある [プリンタの追加] を使うと、プリンタドライバ上からプリンタを追加することができます。 P.129 「プリンタの追加」
3	自動	チェックボックスをオンにすると、[総部数] に設定した印刷部数が、選択したプリンタで均等に印刷されるよう自動的に振り分けられます。
4	常に同じ設定を使用する	チェックボックスをオンにすると、次回以降の印刷時に「出力先デバイス」ダイアログボックスによる出力先の設定を省略することができます。

注意

- 選択したプリンタが対応していない印刷機能が印刷ジョブに設定されていた場合、印刷が正しく行われな
ない場合があります。
- 印刷時、選択したプリンタに対して部門コードの確認は行われません。[カスタム] タブの [部門コード]
に設定した部門コードが選択したプリンタで認められていなかった場合、その印刷ジョブの部門管理は行
われません。

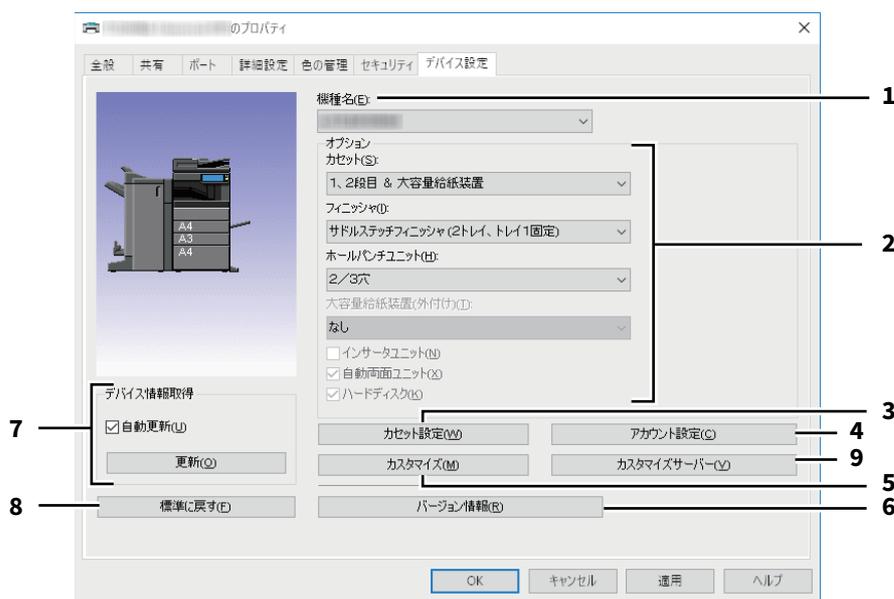
■ [デバイス設定] タブ

本機に装着されているオプション機器の構成を設定します。装着されたオプション機器を使用するには、[デ
バイス設定] タブでオプション構成を設定する必要があります。

- 📖 P.134 「カセット設定」
- 📖 P.135 「アカウント設定」
- 📖 P.136 「LDAPサーバー設定」
- 📖 P.137 「カスタマイズ設定：[プラグイン] タブ」
- 📖 P.138 「カスタマイズ設定：[言語] タブ」
- 📖 P.139 「カスタマイズ設定：[プリンタ言語設定] タブ」
- 📖 P.140 「カスタマイズ設定：[エコ設定] タブ」

注意

[デバイス設定] タブは、[デバイスとプリンター] フォルダ (Windows Server 2008では [プリンタ] フォル
ダ) からプリンタドライバのプロパティを表示した場合のみ設定できます。



項目名	機能説明
1 機種名	お使いになる機体のモデル名を選択します。
注意	[共通] を選択すると、プリンタドライバ上で設定できる機能を、ネットワーク上の複数のe-STUDIO Seriesに共通で搭載されている機能のみに絞り込むことができます。本機用にインストール済みのプリンタドライバを、e-STUDIO Seriesの他機種でも利用したい場合などに便利です。
2 オプション	装着されているオプション機器を選択します。
3 [カセット設定]	各カセットの用紙サイズ、用紙種類、使用目的を設定します。 📖 P.134 「カセット設定」

	項目名	機能説明
4	[アカウント設定]	ユーザ認証の有効/無効、およびプライベート/ホールド印刷限定機能を設定します。  P.135 「アカウント設定」
5	[カスタマイズ]	PCL6やPostScript固有の機能を設定したり、プラグイン設定やプリンタドライバの表示言語を変更することができます。  P.137 「カスタマイズ設定：[プラグイン] タブ」  P.138 「カスタマイズ設定：[言語] タブ」  P.139 「カスタマイズ設定：[プリンタ言語設定] タブ」  P.140 「カスタマイズ設定：[エコ設定] タブ」
	注意	プリンタ言語設定機能は、以下のプリンタドライバをお使いになる場合のみ有効です。 <ul style="list-style-type: none"> • Universal Printer 2 • Universal PS3
6	[バージョン情報]	プリンタドライバのバージョン情報を表示します。
7	デバイス情報取得	本機と双方向通信を行い、オプション構成の情報を取得します。 自動更新 チェックボックスをオンにすると、プリンタドライバの [デバイス設定] タブを開くたびにオプション構成の情報を自動で更新します。 [更新] 本機からシステム構成の情報を直ちに取得し、情報を更新します。
	補足	<ul style="list-style-type: none"> • 本機と双方向通信ができない場合、または接続がまだセットアップされていない場合は、「プリンタのアドレスが不明です。検索しますか？」というメッセージが表示されます。[はい] をクリックすると、「ローカル検索」ダイアログボックスが表示されます。本機を検索すると、双方向通信によるオプション構成の取得が可能となります。 • 本機とお使いのコンピュータが双方向通信できない状態で、[デバイス設定] の項目を設定すると、自動的に両面印刷機能が有効になります。
8	[標準に戻す]	[デバイス設定] タブで表示されている本機の構成を、初期設定に戻します。
9	[カスタマイズサーバー]	カスタマイズした印刷機能の設定を、カスタマイズサーバーからダウンロードして適用します。
	補足	<ul style="list-style-type: none"> • 事前にカスタマイズパッケージを生成し、カスタマイズサーバーに保存しておく必要があります。 • カスタマイズサーバーの設定についての詳細は、サービスエンジニアにお問い合わせください。

□ カセット設定

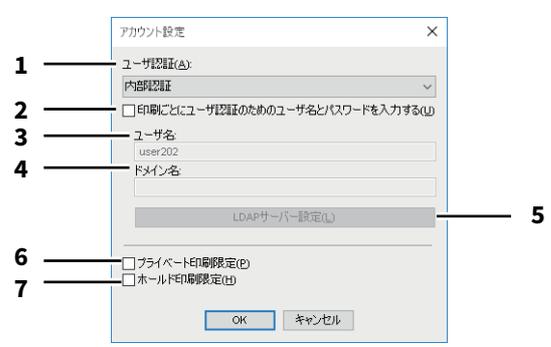


	項目名	機能説明
1	用紙サイズ	各カセットにセットされている用紙サイズを選択します。
2	用紙種類	各カセットにセットされている用紙の用紙種類を選択します。
3	使用目的	各カセットにセットされている用紙の使用目的を選択します。使用目的を選択すると、印刷設定に従って、設定した使用目的のカセットを優先的に使用します。
4	ドライバ用紙カセット優先	アプリケーションの給紙元設定を適用せずに、プリンタドライバの給紙元設定を優先して使用します。
5	[標準に戻す]	「カセット設定」ダイアログボックスで表示されている設定を初期設定に戻します。

□ アカウント設定

補足

本機との双方向通信が有効な場合、下記アカウント情報は本機から自動的に取得され、「アカウント設定」ダイアログボックスに表示されます。

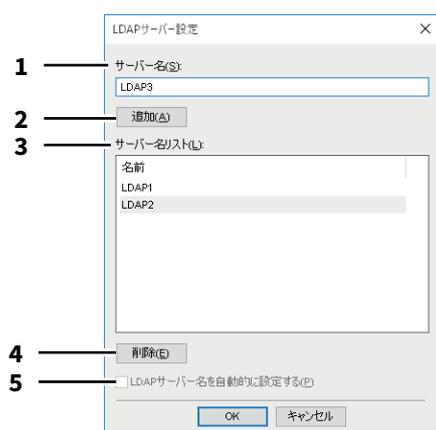


	項目名	機能説明
1	ユーザ認証	ユーザ認証機能の設定状況を選択します。お使いの東芝複合機の設定に合わせてください。
2	印刷ごとにユーザ認証のためのユーザ名とパスワードを入力する	印刷を実行する際にユーザ名とパスワードの入力が必要となります。 [ユーザ認証] ボックスでいずれかのユーザ認証機能を選択した場合に有効です。
	補足	このオプションは、すべてのユーザ認証機能（内部認証、Windowsドメイン認証、LDAP認証）と組み合わせて使用できます。
3	ユーザ名	コンピュータのログインユーザ名が表示されます。
4	ドメイン名	本機が属するドメイン名が表示されます。
5	LDAPサーバー設定	クリックすると [LDAPサーバー設定] ダイアログボックスが表示されます。このオプションは、[ユーザ認証] ボックスで [LDAP認証] を選択した場合に有効です。 📖 P.136 「LDAPサーバー設定」
6	プライベート印刷限定	プライベート印刷限定機能を有効にします。
7	ホールド印刷限定	ホールド印刷限定機能を有効にします。

補足

- プライベート印刷限定機能およびホールド印刷限定機能の詳細や設定については、**TopAccessガイド**を参照してください。
- [デバイス設定] タブでアカウント設定を変更した後、プリンタフォルダから印刷設定を開いて設定の確認を行ってください。または、アプリケーションから印刷する際に印刷プロパティを開いて内容を確認してください。

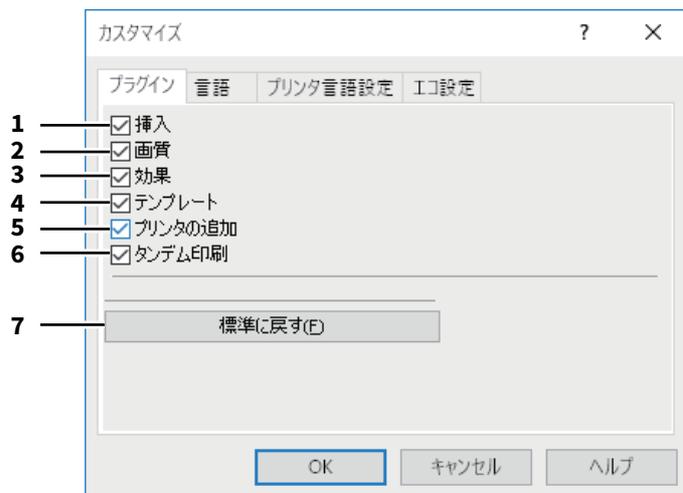
□ LDAPサーバー設定



	項目名	機能説明
1	サーバー名	任意のLDAPサーバーを指定する場合は、[サーバー名] ボックスにサーバー名を入力します。
2	[追加]	[サーバー名] ボックスに入力したLDAPサーバーを [サーバー名リスト] に登録します。
3	サーバー名リスト	登録されたLDAPサーバーが表示されます。
4	[削除]	サーバー名リストからLDAPサーバーを削除します。削除したいサーバーを選択し、このボタンをクリックしてください。
5	サーバー名を自動的に設定する	登録されているLDAPサーバーが1つのときに選択できます。この設定を有効にすると認証サーバーを自動的に設定できます。また印刷時の [LDAPサーバー選択] ダイアログボックスは表示されません。

□ カスタマイズ設定：[プラグイン] タブ

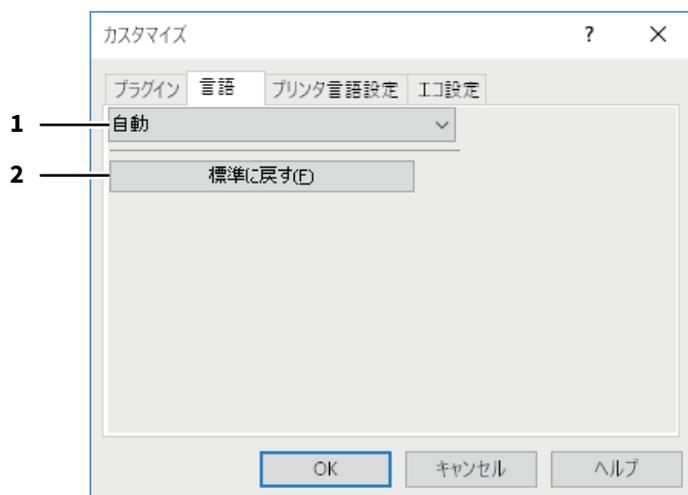
プラグイン設定の有効／無効を切り替えることができます。



	項目名	機能説明
1	挿入	[挿入] タブを有効にします。 📖 P.106 「[挿入] タブ」
2	画質	[画質] タブを有効にします。 📖 P.111 「[画質] タブ」
3	効果	[効果] タブを有効にします。 📖 P.120 「[効果] タブ」
4	テンプレート	[テンプレート] タブを有効にします。 📖 P.141 「[テンプレート] タブ」
5	プリンタの追加	[カスタム] タブの [プリンタの追加] 設定を有効にします。 📖 P.125 「[カスタム] タブ」 📖 P.129 「プリンタの追加」
6	タンデム印刷	[カスタム] タブの [出力先デバイス] 設定を有効にします。 📖 P.125 「[カスタム] タブ」
7	[標準に戻す]	[プラグイン] タブで表示されている設定を、初期設定の状態に戻します。

□ カスタマイズ設定：[言語] タブ

プリンタドライバの表示言語を切り替えます。



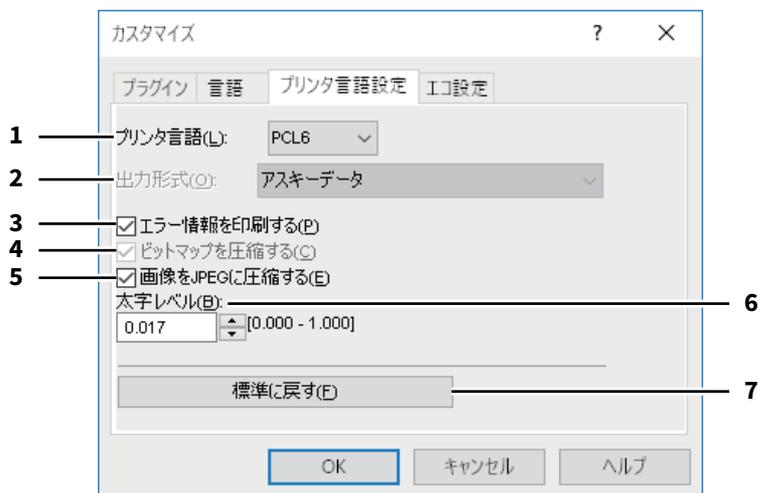
	項目名	機能説明
1	言語	お使いになる言語を選択します。
	補足 初期値は [自動] に設定されています。[自動] は、Windowsの地域の設定から最適な言語を自動的に判別して表示します。	
2	[標準に戻す]	[言語] タブで表示されている設定を初期設定に戻します。

□ カスタマイズ設定：[プリンタ言語設定] タブ

注意

プリンタ言語設定機能は、以下のプリンタドライバをお使いになる場合のみ有効です。

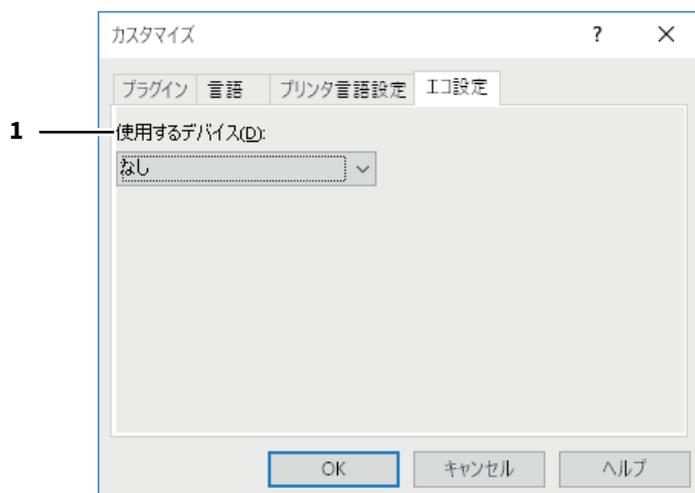
- Universal Printer 2
- Universal PS3



	項目名	機能説明
1	プリンタ言語	印刷に使用するPDLを選択します。Universal Printer 2プリンタドライバを使用している場合のみ、設定を変更することができます。Universal PS3プリンタドライバを使用している場合は [PostScript] に固定となります。
	注意	Universal Printer 2プリンタドライバで [PostScript] を選択した場合は、アプリケーションからのPostScriptパススルー出力による印刷はできません。PostScriptはGDIを経由して生成されるので、RGBカラースペース限定となります。Adobe IllustratorなどPostScriptを直接生成できるアプリケーションからパススルー印刷を行いたい場合は、Universal PS3プリンタドライバを使用してください。
2	出力形式	PostScript印刷の出力形式を選択します。[プリンタ言語] で [PostScript] を選択した場合のみ、設定を変更することができます。
	注意	EPS形式は、通常は文書に取り込むための画像を作成する場合に使用する形式です。[Encapsulated PostScript (EPS) 形式] を選択すると、文書の1ページのみしか印刷されません。
3	エラー情報を印刷する	印刷中に発生したPostScriptエラー情報を出力します。[プリンタ言語] で [PostScript] を選択した場合のみ、設定を変更することができます。
4	ビットマップを圧縮する	圧縮したビットマップデータを本機へ送信します。Universal Printer 2プリンタドライバをお使いで、[プリンタ言語] で [PostScript] を選択した場合のみ、設定を変更することができます。
5	画像をJPEGに圧縮する	圧縮したJPEGデータを本機へ送信します。Universal Printer 2プリンタドライバをお使いで、[プリンタ言語] で [PCL6] を選択した場合のみ設定を変更することができます。
6	太字レベル	文字の太さを調整します。初期設定は、「0.017」です。
	注意	お使いのフォントによっては、出力結果に正しく反映されない場合があります。
7	[標準に戻す]	[プリンタ言語設定] タブで表示されている設定を、初期設定に戻します。

□ カスタマイズ設定：[エコ設定] タブ

用紙を節約するために出力先のデバイスを切り替えます。



	項目名	機能説明
1	使用するデバイス	用紙を節約するために使用する出力先のデバイスを選択します。

注意

- 使用するデバイスはプリントサーバまたはクライアントコンピュータに追加しておく必要があります。
- 使用するデバイスをプリントサーバに追加する場合は、追加するデバイスを共有する必要があります。または、追加するデバイスのプロパティ画面から [セキュリティ] タブを選択し、[このプリンターの管理] を許可してください。
- [出力先デバイス] 画面で [選択したデバイス] としてデバイスが選択されている場合、印刷時にデバイスの切り替え画面は表示されません。
- 使用するデバイスが対応していない印刷機能が印刷ジョブに設定されていた場合、印刷が正しく行われなない場合があります。
- 印刷時、使用するデバイスに対して部門コードの確認は行われません。[カスタム] タブの [部門コード] に設定した部門コードが使用するデバイスで認められていなかった場合、その印刷ジョブの部門管理は行われません。

補足

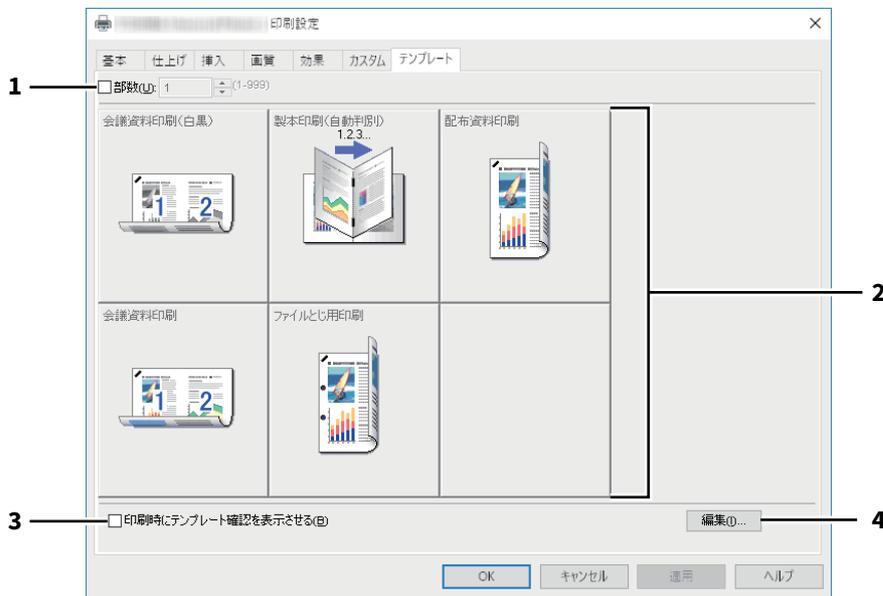
本機能は出力先のデバイスを切り替えるものであり、印刷時には、ジョブを送信したプリンタドライバの印刷設定とプリンタ言語設定が使用されます。

■ [テンプレート] タブ

よく使う印刷設定などを簡易設定として登録しておくことができます。
 📖 P.142 「テンプレートの編集」

補 足

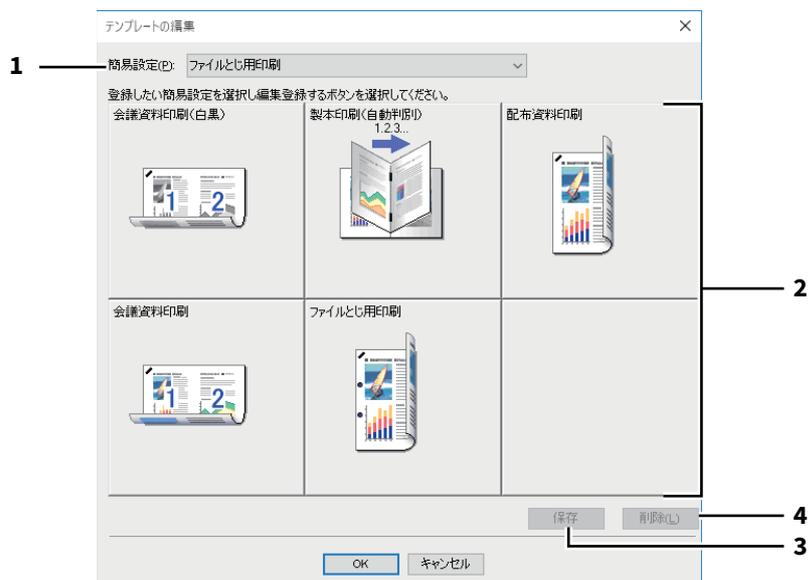
テンプレートボタンを利用するには、簡易設定の登録が必要です。



	項目名	機能説明
1	部数	印刷部数を指定します。
2	テンプレートボタン	クリックすると、ボタンに割り当てられた簡易設定がプリンタドライバの各設定に反映されます。
3	印刷時にテンプレート確認を表示させる	印刷の実行時に「テンプレート」ダイアログボックスが自動的に表示されるようになります。
4	[編集]	テンプレートボタンを編集します。 📖 P.142 「テンプレートの編集」

□ テンプレートの編集

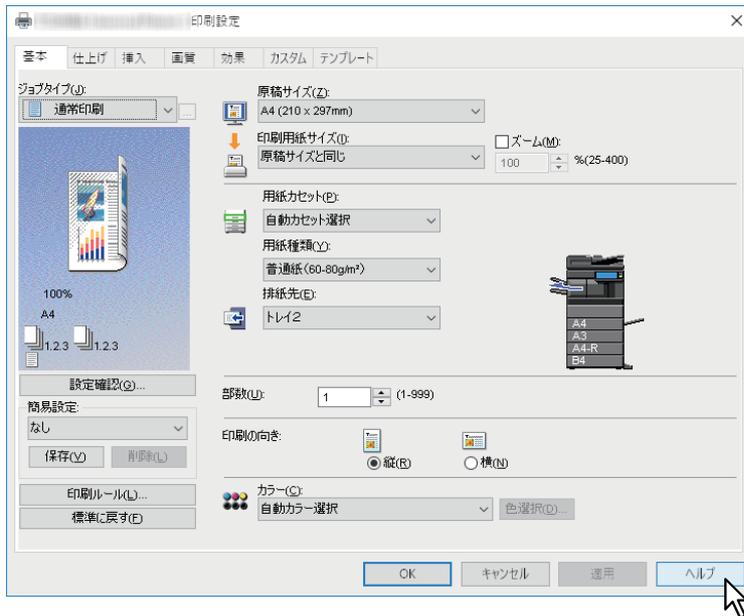
テンプレートボタンの設定内容を編集します。



	項目名	機能説明
1	簡易設定	テンプレートボタンに割り当てる簡易設定を選択します。
2	テンプレートボタン	編集するテンプレートボタンを選択します。
3	[保存]	選択した簡易設定を、選択したテンプレートボタンに割り当てます。
4	[削除]	選択したテンプレートボタンの設定内容を削除します。
	注意	[削除] をクリックしても、簡易設定の登録内容は削除されません。

■ プリンタドライバヘルプについて

プリンタドライバ画面で [ヘルプ] ボタンをクリックすると、プリンタドライバのヘルプが表示されます。



Mac OSアプリケーションから印刷する

基本的な印刷手順 (Mac OS X 10.6.8以降)	147
印刷方法	147
部門コードやユーザ名の入力が必要なときは	148
用紙や倍率に関する設定	149
定形用紙を選ぶ	149
さまざまな用紙を使って印刷する	152
拡大、縮小する	155
印刷の向きを変える	156
排紙先を選択する	157
レイアウトや仕上がりに関する設定	158
1部ごと仕分けして排紙する (丁合い)	158
両面印刷する	160
本や雑誌のようなページ構成で印刷する (製本)	161
複数ページを1枚の用紙に印刷する	162
ページの順番を逆にして印刷する	163
奇数 (または偶数) ページのみを印刷する	163
ホチキス留めにする	164
パンチ穴をあける	166
用紙の中央で中折りして印刷する	167
節約に関する機能	168
両面印刷する	168
複数ページを1枚の用紙に印刷する	168
白紙は印刷しないようにする	168
トナーを節約する	169
表紙やページ間に別の用紙を挿入する	170
表紙および裏表紙を挿入する	170
バナーページを挿入する	171
色や画質に関する設定	172
印刷色を指定する	172
印刷時の版ズレを防ぐ	175
原稿に合わせて画質を選択する	176
画質を調整したいときは	178
印刷内容を付加する機能	184
文書上に薄い文字を重ねて印刷する (スタンプ)	184

本体にジョブを保存してから出力する	185
指定した日時にジョブを印刷する（予約印刷）	185
機密文書やサンプル印刷を設定する	186
本体のボックスに保存する（本体に保存）	187
印刷設定の保存	188
設定内容の確認/注意事項	189
印刷設定の内容や消耗品を確認する	189
注意事項について	189
プリンタドライバの機能概要	190
プリンタドライバの表示方法	190
「ページ設定」ダイアログボックス	191
「プリント」ダイアログボックス	191

基本的な印刷手順（Mac OS X 10.6.8以降）

インストールガイドの「プリンタのインストール（Mac OS X 10.6.8以降）」で説明している手順でPPDファイルのインストールを完了すれば、ほとんどのMac OS Xのアプリケーションから印刷を行うことができます。

📖 P.147 「印刷方法」

📖 P.148 「部門コードやユーザ名の入力が必要なときは」

■ 印刷方法

すべてのプリンタはシステム環境設定のプリンタとファクスで管理されており、プリンタを印刷前に切り替える必要はありません。

プリンタリストにプリンタを追加すれば、「ページ設定」ダイアログボックスまたは「プリント」ダイアログボックスからすべてのプリンタを直接選択できます。

Mac OSアプリケーションから印刷する場合は、印刷機能を「ページ設定」ダイアログボックスおよび「プリント」ダイアログボックスで設定します。

注意

「ページ設定」ダイアログボックスの表示は、アプリケーションによって異なる場合があります。また、アプリケーションによっては【ファイル】メニューには存在せず、「プリント」ダイアログボックスに設定が含まれている場合があります。

- 1 文書を開き、【ファイル】メニューで【ページ設定】（または【用紙設定】）を選択します。
- 2 【対象プリンタ】から本機を選択し、ページ設定を行います。



- 3 【OK】をクリックし、設定を保存します。
- 4 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 5 【プリンタ】から本機を選択し、印刷設定をセットアップします。



補足

- ・「プリント」ダイアログボックスの表示はアプリケーションによって異なる場合があります。
- ・各設定項目の並び方は、お使いになるMac OSの種類により異なる場合があります。

6 【プリント】 をクリックします。

補 足

【プリセット】 で【現在の設定をプリセットとして保存】 を選択し、設定内容に名前を付けて保存することができます。設定内容を初期値として使用する場合は、【プリセット】 で使用するプリセットを選択します。

■ 部門コードやユーザ名の入力が必要なときは

本機が部門コードで管理されている場合、印刷時に部門コードを入力する必要があります。部門管理機能を使用すると、管理者は部門ごとの印刷部数を確認できます。ユーザは本機の操作パネルまたはジョブ監視ツールから各ユーザの印刷ジョブを確認できます。

補 足

- 部門コードおよびプロジェクトコードは1～63桁の英数字で指定します。プロジェクトコードについては、サービスエンジニアにお問い合わせください。
- 部門コードに入力できる文字は、0～9までの数字、a～zおよびA～Zまでのアルファベット、-（ハイフン）、_（アンダーバー）、.（ピリオド）の半角文字のみです。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【ジョブタイプ】メニューの【部門コード】を選択して、右横のボックスに部門コードを入力します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】 をクリックし、印刷ジョブを送信します。

用紙や倍率に関する設定

- 📖 P.149 「定形用紙を選ぶ」
- 📖 P.152 「さまざまな用紙を使って印刷する」
- 📖 P.155 「拡大、縮小する」
- 📖 P.156 「印刷の向きを変える」
- 📖 P.157 「排紙先を選択する」

■ 定形用紙を選ぶ

印刷目的に合わせて用紙を設定します。

- 📖 P.149 「用紙サイズを指定する」
- 📖 P.150 「給紙元を選択する」
- 📖 P.151 「用紙種類を指定する」

注意

「ページ設定」ダイアログボックスの表示は、アプリケーションによって異なることがあります。また、アプリケーションによっては「ファイル」メニューには存在せず、「プリント」ダイアログボックスに設定が含まれている場合があります。

□ 用紙サイズを指定する

印刷に使用する用紙サイズを選択します。

- 1 アプリケーションの「ファイル」メニューで「ページ設定」（または「用紙設定」）を選択します。
- 2 「ページ属性」メニューの「用紙サイズ」で、使用する用紙のサイズを選択します。



- | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> • A3 (297 x 420 mm) • A4 (210 x 297 mm) • A5 (148 x 210 mm) • B4 (257 x 364 mm) • B5 (182 x 257 mm) • Folio (210 x 330 mm) • 305 x 457 mm • 12 x 18" • はがき (100 x 148 mm) • Letter (8 1/2 x 11") • Legal (8 1/2 x 14") • Ledger (11 x 17") • Statement (5 1/2 x 8 1/2") • Computer (10 1/8 x 14") | <ul style="list-style-type: none"> • 13" LG (8 1/2 x 13") • 8.5" SQ (8 1/2 x 8 1/2") • A3ノビ (13 x 19") • 16K (195 x 270 mm) • 8K (270 x 390 mm) • 320 x 450 mm • 320 x 460 mm • 封筒 COM10 (4 1/8 x 9 1/2") • 封筒 Monarch (3 7/8 x 7 1/2") • 封筒 長形3号 (120 x 235 mm) • 封筒 長形6号 (110 x 220 mm) • 封筒 洋形4号 (105 x 235 mm) • 封筒 角形2号 (240 x 332 mm) |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

注意

- [A3ノビ (13 x 19")] は、以下の機種をお使いの場合にのみ有効となります。
 - e-STUDIO7516AC Series
 - e-STUDIO8518A Series
- [305 x 457 mm]、[12 x 18"]、[320 x 450 mm] および [320 x 460 mm] は、以下の機種をお使いの場合にのみ有効となります。
 - e-STUDIO5015AC Series
 - e-STUDIO7516AC Series
 - e-STUDIO8518A Series
- 以下の機種をお使いの場合は、[320 x 450 mm] および [320 x 460 mm] で両面印刷はできません。
 - e-STUDIO5015AC Series
- 設定できる項目は、お使いになる機種により異なります。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 5 [プリンタ] から本機を選択し、印刷設定をセットアップします。
- 6 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ 給紙元を選択する

用紙の給紙元を選択します。はじめのページと残りのページに異なった給紙元を設定することもできます。

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [給紙] メニューで給紙元を指定します。



すべてのページ：すべてのページに同じ給紙元を使用する場合は、右のボックスで使用する給紙元を選択します。[自動選択] を選んだ場合は、原稿と同じ用紙サイズのカセットから給紙します。[手差しトレイ] を選択した場合は、手差しトレイに用紙を置いてください。

補足

Mac OS X 10.6.x~10.8.xでは、[すべてのページ] は [全体] と表示されます。

先頭ページのみ／残りのページ：先頭ページとそのほかのページに異なる給紙元を使用する場合は、[先頭ページのみ] および [残りのページ] で給紙元を選択します。[自動選択] を選んだ場合は、原稿と同じ用紙サイズのカセットから給紙します。[手差しトレイ] を選択した場合は、手差しトレイに用紙を置いてください。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。
- 4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ 用紙種類を指定する

印刷に使用する用紙の種類を選択します。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【仕上げ】メニューの【用紙種類】ボックスで用紙種類を指定します。はじめのページと残りのページに異なった用紙種類を設定することもできます。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ さまざまな用紙を使って印刷する

用紙をセットする際に注意が必要となる印刷の手順を説明します。

📖 P.152 「はがきに印刷する」

📖 P.153 「カスタム用紙サイズを登録して印刷する」

□ はがきに印刷する

手差しトレイよりはがきを印刷する方法を説明します。

注意

- 郵便はがきに印刷できます。インクジェット用はがき、写真用はがき、往復はがき、私製はがきには印刷できません。
- お使いの機種によっては、はがき印刷は利用できません。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【ページ設定】（または【用紙設定】）を選択します。
- 2 【ページ属性】メニューの【用紙サイズ】で【はがき】を選択し、【OK】をクリックします。



- 3 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 4 【仕上げ】メニューの【用紙種類】で【厚紙2】を選択します。

注意

e-STUDIO5018A Seriesをお使いの場合は、【厚紙3】を選択してください。

- 5 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 6 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。
- 7 はがきの下側（後端）を機体の方に向けて、印刷する面を下にしてセットします。
- 8 サイドガイドをはがきの幅に合わせます。
手差しトレイへのはがきのセット方法は、[用紙準備ガイド](#)を参照してください。
- 9 タッチパネルの【状況確認】を押します。
- 10 用紙種類の選択画面で、【厚紙2】を押します。

注意

e-STUDIO5018A Seriesをお使いの場合は、【厚紙3】を選択してください。

- 11 【スタート】ボタンを押します。

□ カスタム用紙サイズを登録して印刷する

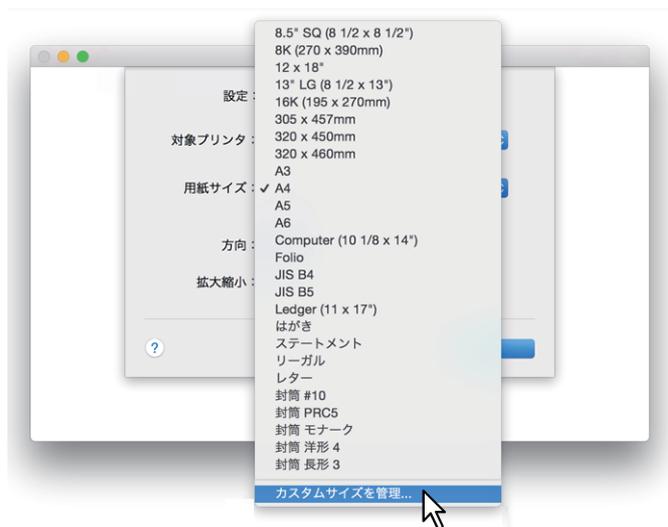
カスタムサイズの内紙を登録する方法を説明します。

注意

- 定形サイズより長いカスタムサイズの用紙を使用するときは、用紙のセット時および排紙時に注意が必要です。詳細は用紙準備ガイドを参照してください。
- 設定できるカスタム用紙サイズについては、仕様ガイドの非定形サイズを参照してください。

カスタム用紙サイズを作成する

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [ページ設定] (または [用紙設定]) を選択します。
- 2 [用紙サイズ] で [カスタムサイズを管理] を選択します。



- 3 [+] をクリックします。

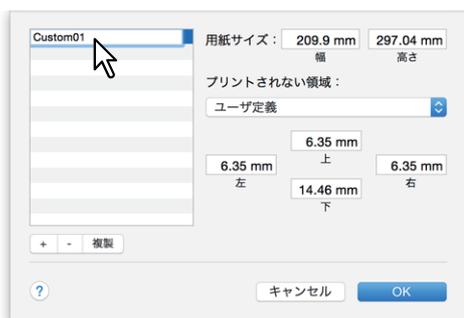


新しいカスタム用紙サイズ名が一覧に追加されます。

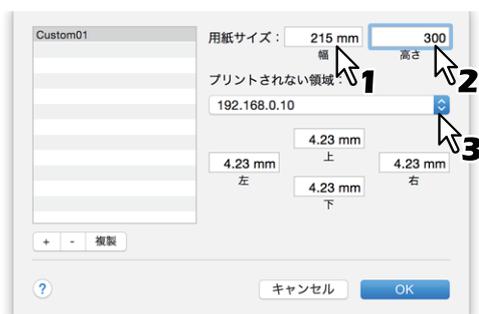
補足

既存のカスタム用紙サイズの設定を複製して、新しいカスタム用紙サイズを作成する場合は、カスタム用紙サイズを選択し、[複製] をクリックします。

4 追加されたカスタム用紙サイズ名をダブルクリックし、カスタム用紙サイズ名を変更します。



5 [用紙サイズ] に幅と高さを入力し、[プリントされない領域] で本機のプリンタ名を選択します。



補足

- Mac OS X 10.6.x~10.7.xをお使いの場合は、[用紙サイズ] に幅と高さを入力し、[プリントされない領域] で本機プリンタ名を選択します。
- 余白設定は、[プリントされない領域] で本機プリンタ名を選択したときに自動的に入力される値を使用してください。
- 作成したカスタム用紙サイズは、[-] をクリックすると削除することができます。

6 [OK] をクリックします。

カスタム用紙サイズの設定が保存され、[ページ属性] メニューの [用紙サイズ] で選択できるようになります。

📖 P.149 「用紙サイズを指定する」

■ 拡大、縮小する

指定した用紙のサイズに収まるように、ページイメージを自動で拡大または縮小します。倍率は手動で設定することもできます。

📖 P.155 「用紙サイズに合わせる」

📖 P.155 「倍率を指定する」

□ 用紙サイズに合わせる

指定した用紙のサイズに収まるように、ページイメージを自動で拡大または縮小して印刷します。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【用紙処理】メニューで【用紙サイズに合わせる】を選択し、用紙サイズを選択します。

補 足

文書サイズより大きい用紙に印刷する場合、拡大せずに印刷したいときは、【縮小のみ】を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ 倍率を指定する

拡大縮小の倍率を手動で設定します。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【ページ設定】（または【用紙設定】）を選択します。
- 2 【ページ属性】メニューの【拡大縮小】の倍率を入力します。

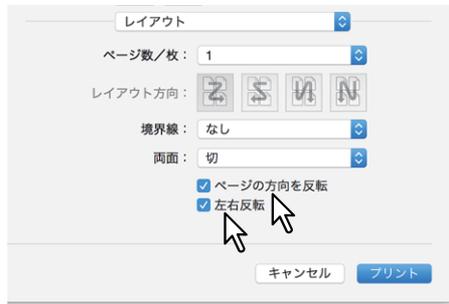


- 3 ほかの印刷機能を設定し、【OK】をクリックします。
- 4 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 5 【プリンタ】から本機を選択し、印刷設定をセットアップします。
- 6 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 印刷の向きを変える

排紙される用紙の向きを逆にしたり、ページ全体の左右を反転させて印刷します。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【レイアウト】メニューの【ページの方向を反転】または【左右反転】を選択します。



【ページの方向を反転】をオンにすると、用紙の上端が本機のタッチパネル側に排紙されます。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 排紙先を選択する

印刷ジョブが出力される排紙先トレイを選択します。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【仕上げ】メニューの【排出先】で排紙先を選択します。



排紙先

- **プリンタのデフォルト**：デフォルト排紙トレイ（TopAccessのプリンタ設定ページにある【Raw印刷ジョブ_排紙トレイ】に設定された排紙先）に排紙します。
- **排紙トレイ**：排紙トレイに排紙します。
- **上トレイ**：上部の排紙トレイに排紙します。
- **横トレイ**：横排紙トレイに排紙します。
- **インナー上トレイ**：インナートレイの上段排紙トレイに排紙します。
- **インナー下トレイ**：インナートレイの下段排紙トレイに排紙します。
- **トレイ1**：フィニッシャの上段排紙トレイに排紙します。
- **トレイ2**：フィニッシャの下段排紙トレイに排紙します。

注意

- 選択できる排紙先は、お使いになる機種、およびオプションの装着状態によって異なります。
- フィニッシャの種類によって、指定した排出先でホチキスやパンチがされない場合があります。
- 出力先に【プリンタのデフォルト】を選んだ場合、本機の設定により、ホチキスやパンチのされないトレイに排出されることがあります。
- 【トレイ1】および【トレイ2】は、フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャ装着時のみ有効です。
- 【横トレイ】は、フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャ未装着時のみ有効です。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

レイアウトや仕上がりに関する設定

- 📖 P.158 「1部ごと仕分けして排紙する（丁合い）」
- 📖 P.160 「両面印刷する」
- 📖 P.161 「本や雑誌のようなページ構成で印刷する（製本）」
- 📖 P.162 「複数ページを1枚の用紙に印刷する」
- 📖 P.163 「ページの順番を逆にして印刷する」
- 📖 P.163 「奇数（または偶数）ページのみを印刷する」
- 📖 P.164 「ホチキス留めにする」
- 📖 P.166 「パンチ穴をあける」
- 📖 P.167 「用紙の中央で中折りして印刷する」

■ 1部ごと仕分けして排紙する（丁合い）

部単位に仕分けして印刷します（ソート印刷）。

- 📖 P.158 「「用紙処理」メニューで丁合いを設定する」
- 📖 P.159 「「プリント」ダイアログボックスで丁合いを設定する」

注意

- 「プリント」ダイアログボックスの表示は、アプリケーションによって異なることがあります。
- 各設定項目の並び方は、お使いになるMac OSの種類により異なることがあります。

□ 「用紙処理」メニューで丁合いを設定する

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【用紙処理】メニューで【丁合い】を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ 「プリント」 ダイアログボックスで丁合いを設定する

注意

この機能は、Mac OS X 10.6.xをお使いの場合のみ有効です。

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [丁合い] を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。
- 4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

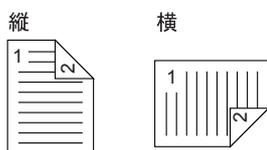
■ 両面印刷する

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [レイアウト] メニューの [両面] で [長辺とじ] または [短辺とじ] を選択します。

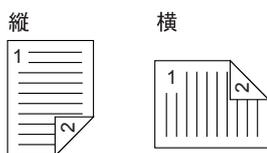


両面

- **長辺とじ**：用紙の長い辺を綴じるように両面印刷します。裏面に印刷されるページの印刷方向は、用紙の向きによって異なります。



- **短辺とじ**：用紙の短い辺を綴じるように両面印刷します。裏面に印刷されるページの印刷方向は、用紙の向きによって異なります。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。
- 4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 本や雑誌のようなページ構成で印刷する（製本）

製本印刷を選択すると、本や雑誌と同じような印刷物を作成することができます。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【製本】メニューで【製本を有効】を選択します。
- 3 製本の詳細を設定します。



中央余白（036 pt）：見開き印刷されるページの中央の余白を選択します。スクロールバーを使って3 pt単位で設定します。（1 pt = 0.353 mm）

外側余白（036 pt）：ページの上下左右の余白を選択します。スクロールバーを使って6 pt単位で設定します。（1 pt = 0.353 mm）

左から右/右から左：製本印刷の向きを選択します。

- 4 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 5 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 複数ページを1枚の用紙に印刷する

複数ページを1枚の用紙にレイアウトします（ページ集約印刷）。ページの多い文書の体裁を確認したい場合などに便利です。たとえば、ページが長いWebページや、プレゼンテーション用ドキュメントなどにページ集約印刷を使用すると、効率的に文書の全体を確認することができます。また、用紙の使用量を削減することもできます。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【レイアウト】メニューを設定します。



ページ数/枚：複数ページを1枚の用紙に印刷します。指定した用紙サイズに収まるように自動的に縮小して印刷します。

- **1**：通常印刷します。
- **2**：2ページを1枚の用紙に印刷します。
- **4**：4ページを1枚の用紙に印刷します。
- **6**：6ページを1枚の用紙に印刷します。
- **9**：9ページを1枚の用紙に印刷します。
- **16**：16ページを1枚の用紙に印刷します。

レイアウト方向：ページをレイアウトする方向を設定します。【ページ/数】でページ集約印刷を選択したときに設定できます。

- **左上から右下へ（横方向優先）**：ページを左上から右下に横方向を優先して1枚の用紙に並べます。
- **右上から左下へ（横方向優先）**：ページを右上から左下に横方向を優先して1枚の用紙に並べます。
- **左上から右下へ（縦方向優先）**：ページを左上から右下に縦方向を優先して1枚の用紙に並べます。
- **右上から左下へ（縦方向優先）**：ページを右上から左下に縦方向を優先して1枚の用紙に並べます。

境界線：各ページに枠線を付けてページ集約印刷するかを選択します。

- **なし**：枠線を付けずにページ集約印刷します。
- **極細線**：各ページに極細の枠線を付けてページ集約印刷します。
- **細線**：各ページに細い枠線を付けてページ集約印刷します。
- **極細2本線**：各ページに極細の二重枠線を付けてページ集約印刷します。
- **細2本線**：各ページに細い二重枠線を付けてページ集約印刷します。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ ページの順番を逆にして印刷する

逆順印刷を設定します。

補足

用紙処理メニューに表示される設定は、お使いのMac OSの種類によって異なります。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【用紙処理】メニューの【ページの順序】で【逆送り】を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 奇数（または偶数）ページのみを印刷する

すべてのページを印刷するか、奇数ページまたは偶数ページのみを印刷するかを選択します。

補足

用紙処理メニューに表示される設定は、お使いのMac OSの種類によって異なります。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【用紙処理】メニューの【プリントするページ】（または【プリント】）で【奇数ページのみ】または【偶数ページのみ】を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ ホチキス留めにする

部ごとに用紙をホチキス留めにして出力することができます。

注意

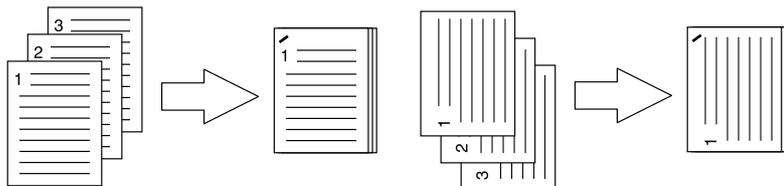
ホチキス印刷は、フィニッシャ装着時のみ有効です。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【仕上げ】メニューの【ホチキス】でホチキス留めの位置を指定します。

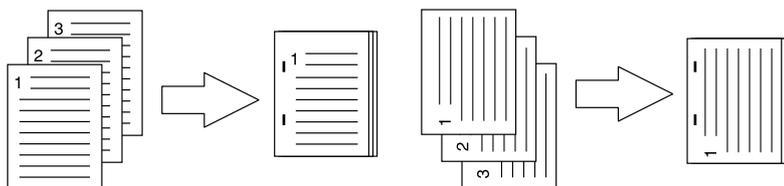


ホチキス

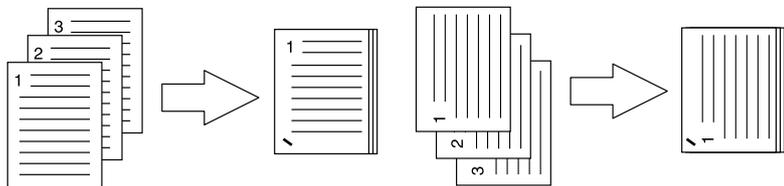
- **オフ**：ホチキス留めをしません。
- **左上側（縦置き）／右上側（横置き）**：縦型文書の左上部をホチキス留めします。または、横型文書の右上部をホチキス留めします。



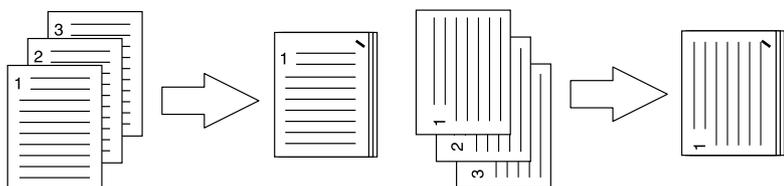
- **左側（縦置き）／上側（横置き）**：縦型文書の左側を2か所ホチキス留めします。または、横型文書の上部を2か所ホチキス留めします。



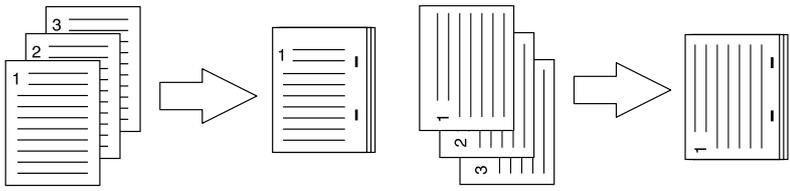
- **左下側（縦置き）／左上側（横置き）**：縦型文書の左下部をホチキス留めします。または、横型文書の左上部をホチキス留めします。



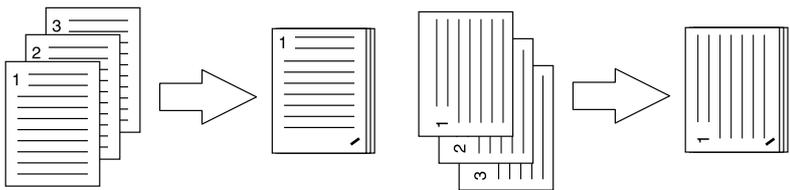
- **右上側（縦置き）／右下側（横置き）**：縦型文書の右上部をホチキス留めします。または、横型文書の右下部をホチキス留めします。



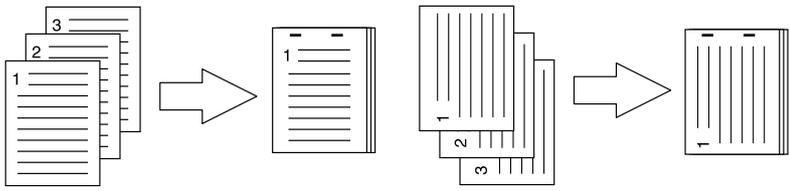
- **右側（縦置き）／下側（横置き）**：縦型文書の右側を2か所ホチキス留めします。または、横型文書の下部を2か所ホチキス留めします。



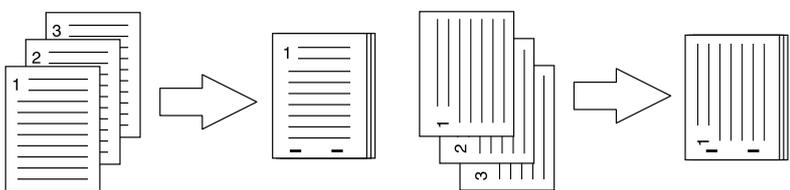
- **右下側（縦置き）／左下側（横置き）**：縦型文書の右下部をホチキス留めします。または、横型文書の左下部をホチキス留めします。



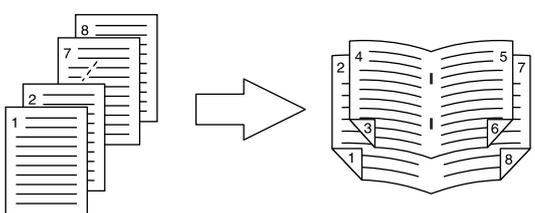
- **上側（縦置き）／右側（横置き）**：縦型文書の上部を2か所ホチキス留めします。または、横型文書の右側を2か所ホチキス留めします。



- **下側（縦置き）／左側（横置き）**：縦型文書の下部を2か所ホチキス留めします。または、横型文書の左側を2か所ホチキス留めします。



- **中央（縦置き）／中央（横置き）**：製本印刷を行う際に、用紙の中央を2か所ホチキス留めします。この機能は、製本印刷を実行するときのみ選択してください。



注意

【中央（縦置き）／中央（横置き）】は、サドルステッチフィニッシャ装着時にのみ有効です。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■パンチ穴をあける

印刷用紙にとじるための穴を開けて排紙することができます。

注意

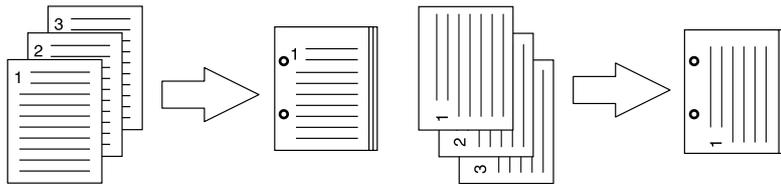
パンチ印刷は、ホールパンチユニット装着時のみ有効です。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【仕上げ】メニューの【パンチ】でパンチ穴の位置を指定します。

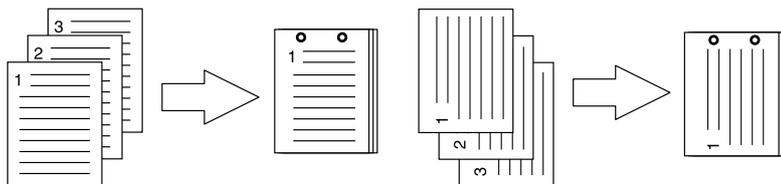


パンチ

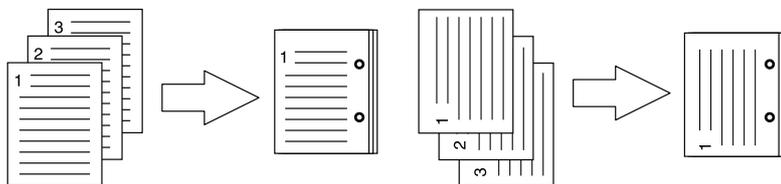
- **オフ**：パンチ処理をしません。
- **長尺側へ穴あけ**：縦型文書の左側にパンチ処理をします。または、横型文書の上部にパンチ処理をします。



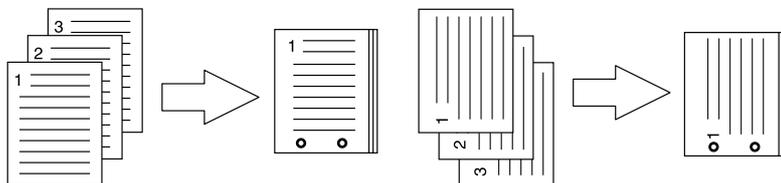
- **短尺側へ穴あけ**：縦型文書の上部にパンチ処理をします。または、横型文書の右側にパンチ処理をします。



- **長尺側へ穴あけ (画像180回転)**：縦型文書の右側にパンチ処理をします。または、横型文書の下部にパンチ処理をします。



- **短尺側へ穴あけ (画像180回転)**：縦型文書の下部にパンチ処理をします。または、横型文書の左側にパンチ処理をします。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。
- 4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

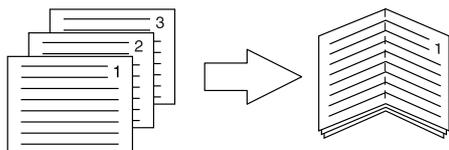
■ 用紙の中央で中折りして印刷する

ほかの印刷設定に基づき文書を用紙に印刷し、用紙の中央で中折りして出力します。製本印刷などで使用します。

注意

[中折り] は、サドルステッチフィニッシャを装着した場合にのみ有効です。

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [仕上げ] メニューの [中折り] を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。
- 4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

節約に関する機能

用紙やトナーを節約するための機能について説明します。

- 📖 P.160 「両面印刷する」
- 📖 P.162 「複数ページを1枚の用紙に印刷する」
- 📖 P.168 「白紙は印刷しないようにする」
- 📖 P.169 「トナーを節約する」

■ 両面印刷する

用紙の両面に印刷し、用紙を節約します。

- 📖 P.160 「両面印刷する」

■ 複数ページを1枚の用紙に印刷する

複数ページを1枚の用紙にレイアウトして印刷します。用紙の使用量を削減することができます。

- 📖 P.162 「複数ページを1枚の用紙に印刷する」

■ 白紙は印刷しないようにする

印刷原稿の白紙ページを印刷しません。

注意

- レイアウトメニューの [ページ数/枚] で2以上が選択されている場合は、白紙ページは印刷されます。
- ヘッダやフッタを含む文書を印刷する場合は、内容がないページも印刷されます。

1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。

2 [ジョブタイプ] メニューで [白紙は印字しない] を選択します。



3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。

4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ トナーを節約する

トナー節約モードで印刷します。

注意

トナー節約モードで印刷すると、印字が薄くなることがあります。

カラー MFPの場合

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [カラー設定1] メニューの [トナー節約] を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。
- 4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

モノクロMFPの場合

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [印刷品質] メニューで [トナー節約] を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。
- 4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

表紙やページ間に別の用紙を挿入する

原稿の最初や最後に表紙、裏表紙、バナーページなどを挿入する機能です。

📖 P.170 「表紙および裏表紙を挿入する」

📖 P.171 「バナーページを挿入する」

■ 表紙および裏表紙を挿入する

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [カバーページ] メニューで表紙/裏表紙の詳細を設定します。



注意

[用紙カセット] で選択できる給紙元は、本機に装着されているオプション機器および給紙メニューの設定によって異なります。

表紙挿入：表紙印刷を設定します。この印刷機能を設定すると、表紙に違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙を挿入したり、違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙に文書のはじめのページを印刷することができます。

表紙印刷を設定する場合は、[表紙挿入] を選択し、用紙カセットと出力形式をそれぞれのボックスから選択します。

• 用紙カセット

表紙に使用する用紙を給紙する給紙元カセットを選択します。[自動カセット選択] を選んだ場合は、本文の印刷サイズに合わせて、同じ用紙サイズが設定されたカセットから給紙します。

• 用紙種類

表紙に使用する用紙の種類を選択します。

• 出力形式

表紙の印刷方法を選択します。

- **空白**：何も印刷せずに指定した給紙元の用紙を挿入します。
- **印刷する**：文書の最初のページを指定した給紙元の用紙の表面に印刷します。レイアウトメニューで両面印刷が有効に設定されているときは、文書の最初の2ページを指定した給紙元の用紙の両面に印刷します。
- **片面印刷**：レイアウトメニューで両面印刷が有効に設定されているときに文書の最初のページを指定した給紙元の用紙の表面に印刷します。裏面は空白となります。

裏表紙挿入：裏表紙印刷を設定します。この印刷機能を設定すると、裏表紙に違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙を挿入したり、違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙に文書の最後のページを印刷することができます。裏表紙印刷を設定する場合は、[裏表紙挿入] を選択し、用紙カセットと出力形式をそれぞれのボックスから選択します。

• 用紙カセット

裏表紙に使用する用紙を給紙する給紙元カセットを選択します。[自動カセット選択] を選んだ場合は、本文の印刷サイズに合わせて、同じ用紙サイズが設定されたカセットから給紙します。

• 用紙種類

裏表紙に使用する用紙の種類を選択します。

• 出力形式

裏表紙の印刷方法を選択します。

- **空白**：何も印刷せずに指定した給紙元の用紙を挿入します。
- **印刷する**：文書の最後のページを指定した給紙元の用紙の表面に印刷します。レイアウトメニューで両面印刷が有効に設定されているときは、文書の最後の2ページを指定した給紙元の用紙の両面に印刷します。
- **片面印刷**：レイアウトメニューで両面印刷が有効に設定されているときに文書の最後のページを指定した給紙元の用紙の表面に印刷します。裏面は空白となります。

補 足

両面印刷を選択したときに裏表紙に印刷するページが1ページしかない場合は、裏表紙の表面のみに印刷が行われ、裏面は空白となります。

3 ほかの印刷機能を設定し、**【プリンタ】** から本機を選択します。

4 **【プリント】** をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ バナーページを挿入する

印刷ジョブにバナーページを付けて印刷するかを設定します。バナーページには、jobID、Title、Requesting User、Billing Infoなどの情報が印刷されます。

補 足

ジョブ名に、ひらがな、カタカナ、漢字を使用すると文字化けしますので、英数字を使用することを推奨します。

1 アプリケーションの**【ファイル】**メニューで**【プリント】**を選択します。

2 **【表紙】**メニューでバナーページの詳細を設定します。



表紙をプリント：バナーページを印刷するかを設定します。

- **なし**：バナーページ印刷を無効にします。
- **書類の前**：文書の前にバナーページを挿入します。
- **書類の後**：文書の最後にバナーページを挿入します。

表紙のタイプ：[表紙をプリント]で[書類の前]または[書類の後]を選択した場合に、挿入する表紙の種類を選択します。

3 ほかの印刷機能を設定し、**【プリンタ】** から本機を選択します。

4 **【プリント】** をクリックし、印刷ジョブを送信します。

色や画質に関する設定

- 📖 P.172 「印刷色を指定する」
- 📖 P.175 「印刷時の版ズレを防ぐ」
- 📖 P.176 「原稿に合わせて画質を選択する」
- 📖 P.178 「画質を調整したいときは」

■ 印刷色を指定する

- 📖 P.172 「カラー文書を白黒で印刷する」
- 📖 P.173 「カラー文書を2色で印刷する」
- 📖 P.174 「黒トナーの適用範囲を指定する」

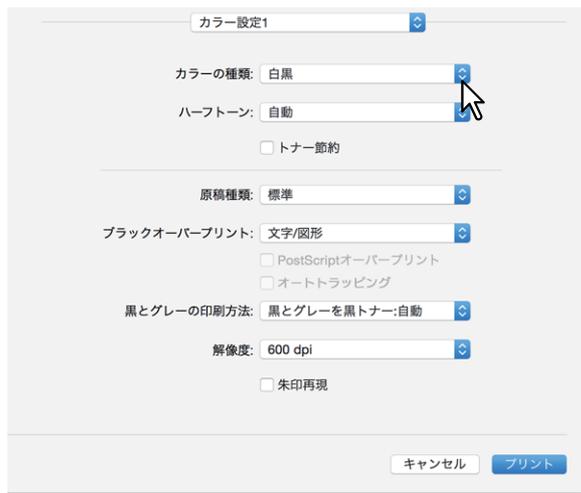
□ カラー文書を白黒で印刷する

プリンタドライバは、印刷文書のカラーモードを自動認識し、カラー文書はカラーで、白黒文書は白黒でそれぞれ印刷します。印刷費やカートナーの消費を抑えるために、手動で白黒モードを選択し、カラー文書を白黒で印刷することもできます。

注意

この機能は、お使いの機種がカラー MFPの場合にのみ設定できます。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【カラー設定1】メニューの【カラーの種類】で【白黒】を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ カラー文書を2色で印刷する

2色印刷を行うと、カラー文書の黒い部分は黒色で印刷し、そのほかのカラー部分を指定した色で印刷することができます。

注意

この機能は、お使いの機種がカラー MFPの場合にのみ設定できます。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【カラー設定1】メニューの【カラーの種類】で印刷色を指定します。



カラーの種類

- **2色-ブラック／レッド**：黒と赤で2色印刷するときに選択します。文書の黒色の箇所は黒色で、そのほかの色の箇所は赤色で印刷します。
- **2色-ブラック／グリーン**：黒と緑で2色印刷するときに選択します。文書の黒色の箇所は黒色で、そのほかの色の箇所は緑色で印刷します。
- **2色-ブラック／ブルー**：黒と青で2色印刷するときに選択します。文書の黒色の箇所は黒色で、そのほかの色の箇所は青色で印刷します。
- **2色-ブラック／シアン**：黒とシアンで2色印刷するときに選択します。文書の黒色の箇所は黒色で、そのほかの色の箇所はシアン色で印刷します。
- **2色-ブラック／マゼンタ**：黒とマゼンタで2色印刷するときに選択します。文書の黒色の箇所は黒色で、そのほかの色の箇所はマゼンタ色で印刷します。
- **2色-ブラック／イエロー**：黒と黄で2色印刷するときに選択します。文書の黒色の箇所は黒色で、そのほかの色の箇所は黄色で印刷します。
- **2色-ブラック／ホワイト**：黒と白で2色印刷するときに選択します。文書の黒色の箇所は黒色で、そのほかの色の箇所は空白で印刷します。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ 黒トナーの適用範囲を指定する

文書の黒とグレースケール部分を黒トナーで印刷するかを選択します。

注意

この機能は、お使いの機種がカラー MFPの場合にのみ設定できます。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【カラー設定1】メニューの【黒とグレーの印刷方法】で黒トナーの適用範囲を指定します。



黒とグレーの印刷方法

- オフ：文書をカラーモードで印刷します。
- 黒を黒トナー：自動：原稿の黒の部分黒トナーで印刷する際の、適用範囲を自動で選択します。
- 黒を黒トナー：文字：黒の文字部分のみを黒トナーで印刷します。
- 黒を黒トナー：文字/図形：黒の文字と図形部分のみを黒トナーで印刷します。
- 黒を黒トナー：全体：黒の全部分を黒トナーで印刷します。
- 黒とグレーを黒トナー：自動：原稿の黒およびグレーの部分黒トナーで印刷する際の、適用範囲を自動で選択します。自動を選択した場合、原稿種類に応じて最適な範囲を黒トナーで印刷します。
- 黒とグレーを黒トナー：文字：黒およびグレーの文字部分のみを黒トナーで印刷します。
- 黒とグレーを黒トナー：文字/図形：黒およびグレーの文字と図形部分のみを黒トナーで印刷します。
- 黒とグレーを黒トナー：全体：黒およびグレーの全部分を黒トナーで印刷します。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 印刷時の版ズレを防ぐ

オーバープリントやオートトラッピングを設定し、印刷時の版ズレを防ぎます。

注意

この機能は、お使いの機種がカラー MFPの場合にのみ設定できます。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【カラー設定1】メニューで以下の項目を指定します。



ブラックオーバープリント：黒色のテキスト、線画をカラー背景上にオーバープリントするかを選択します。テキストと背景間のすき間やカラーの版ズレを回避できます。

- **オフ**：オーバープリントをせずに印刷します。
- **文字**：フルカラー背景部分をすべて出力してから、カラー背景上に黒色のテキストを出力します。
- **文字/図形**：フルカラー背景部分をすべて出力してから、カラー背景上に黒色のテキスト、図形を出力します。

PostScriptオーバープリント：アプリケーション上でオーバープリントの設定をしたオブジェクトを、オーバープリント印刷します。

注意

カラー設定1メニューの【カラーの種類】で【自動】、【カラー】を選択した場合のみ、設定できます。

オートトラッピング：オートトラッピングを有効にします。隣接する色の接触部だけを重ねて印刷し、版ズレにより用紙の下地が見えてしまうことを防ぎます。

注意

この機能は、e-STUDIO5015AC Seriesおよびe-STUDIO7516AC Seriesをお使いの場合のみ有効です。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 原稿に合わせて画質を選択する

ジョブタイプの選択に応じて画像をどのように印刷するかを設定します。プリンタドライバは、ジョブタイプによって適切な画質を自動的に適用します。

注意

この機能は、お使いの機種がカラー MFPの場合にのみ設定できます。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【カラー設定1】メニューの【原稿種類】で原稿の種類を指定します。



原稿種類

- **標準**：通常のカラー文書用の設定です。
- **写真**：写真用の設定です。
- **プレゼンテーション**：プレゼンテーション資料用の設定です。
- **ラインアート**：多くの文字やラインアートで構成される文書用の設定です。
- **カラープロファイル設定**：カラースペースを調整するプロファイルを適用します。詳細は、以下を参照してください。
📖 P.177 「カラープロファイル設定」

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ カラープロファイル設定

カラープロファイル設定メニューは、[カラー設定1] メニューの [原稿種類] で [カラープロファイル設定] を選択すると表示されます。

注意

この機能は、お使いの機種がカラー MFPの場合にのみ設定できます。

補足

TopAccessから設定できます。詳細はTopAccessガイドを参照してください。



1. **RGB**
RGBソースプロファイルを選択します。本機よりカラープロファイル情報を取得した場合は、本機のRGBソースプロファイルを表示します。
2. **CMYK**
CMYKソースプロファイルを選択します。本機よりカラープロファイル情報を取得した場合は、本機のCMYKソースプロファイルを表示します。
3. **機器の色だけに適用されます。**
画像に埋め込まれているカラープロファイルを優先する場合に選択します。
4. **プリンタプロファイル**
プリンタプロファイルを選択します。本機よりカラープロファイル情報を取得した場合は、本機のプリンタプロファイルを表示します。
5. **レンダリングインテント**
印刷時のカラー空間変換を、どのような方法で処理するか選択します。
 - 知覚的：写真画像に適しています。
 - 相対的：[知覚的] よりも多くの画像のオリジナルの色を保持できます。
 - 彩度：色の正確さよりも、画像の鮮明な色の再現を重視します。グラフや図表などのグラフィックに適しています。
 - 絶対的：用紙の色を考慮して色を保持できます。
6. **カスタムRGBプロファイル**
カスタムRGBプロファイルを使用する場合に選択します。

注意

RGBソースプロファイル、CMYKソースプロファイル、プリンタプロファイル、およびレンダリングエンジンの初期設定では、[プリンタのデフォルト] が選択されています。[プリンタのデフォルト] を選択した場合は、本機に設定されたデフォルトプロファイル (TopAccess管理者設定の [セットアップ] メニューにある [ICCプロファイル] サブメニューで、デフォルトプロファイルに設定されたプロファイル) に従って、カラースペース変換が行われます。

7. 初期値に戻す
カラープロファイル設定を、初期設定に戻します。
8. この設定を使用する
クリックするとカラープロファイル設定を保存し、[カラー設定1] メニューに戻ります。

■ 画質を調整したいときは

- 📖 P.178 「薄い部分の模様が気になる (ハーフトーン)」
- 📖 P.179 「テキストやグラフィックスをなめらかにする (スムージング)」
- 📖 P.180 「細い線をはっきりと印刷する」
- 📖 P.180 「印刷時のカラーを調整する」
- 📖 P.181 「カラーバランスや画質を調整する」
- 📖 P.182 「画質が粗い (解像度)」

□ 薄い部分の模様が気になる (ハーフトーン)

ハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。

カラー MFPの場合

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [カラー設定1] メニューの [ハーフトーン] でハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。



ハーフトーン

- **自動**：自動的に適したハーフトーンで印刷します。
- **詳細**：ハーフトーンを処理する密度を高くして印刷します。
- **スムーズ**：ハーフトーンの階調をなめらかに印刷します。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。
- 4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

モノクロMFPの場合

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【印刷品質】メニューの【ハーフトーン】でハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。



ハーフトーン

- **自動**：自動的に適したハーフトーンで印刷します。
- **詳細**：ハーフトーンを処理する密度を高くして印刷します。
- **スムーズ**：ハーフトーンの階調をなめらかに印刷します。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

テキストやグラフィックスをなめらかにする（スムージング）

テキストやグラフィックスの縁をなめらかに印刷します。

注意

この機能は、お使いの機種がモノクロMFPの場合にのみ設定できます。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【印刷品質】メニューで【スムージング】を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ 細い線をはっきりと印刷する

細線をはっきりと印刷します。

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [ジョブタイプ] メニューで [細線をはっきりと印刷する] を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。
- 4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ 印刷時のカラーを調整する

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [カラー・マッチング] メニューでカラー調整を行います。



ColorSync：印刷される出力のカラーマネジメントを、使用中のアプリケーションから制御する場合に選択します。

プリンタのカラー：印刷される出力のカラーマネジメントを、使用中のプリンタから制御する場合に選択します。

プロファイル：[ColorSync] を選択した場合に、適用するカラープロファイルを選択します。

補 足

初期設定では「sRGB IEC 61966-2.1」が選択されます。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。
- 4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ カラーバランスや画質を調整する

注意

この機能は、お使いの機種がカラー MFPの場合にのみ設定できます。

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [カラー設定2] メニューで [カラーバランス] や [画質調整] を設定します。



カラーバランス：各トナーの印字濃度を設定します。-4（薄い）から4（濃い）を設定できます。

注意

[カラー設定1] メニューの [カラーの種類] で [自動]、[カラー]、[2色] を選択した場合のみ、設定できます。

画質調整：シャープネス、明るさ、コントラスト、彩度を設定します。

- シャープネス
印字のなめらかさを調整します。[シャープネスフィルタを使用する] を選択して、スクロールバーで -4（ソフト）から4（シャープ）の範囲で設定します。
- 明度
印字の明るさを調整します。スクロールバーで -4（暗）から4（明）の範囲で設定します。
- コントラスト
印字のコントラストを調整します。スクロールバーで -4（低）から4（高）の範囲で設定します。
- 彩度
印字の彩度を調整します。スクロールバーで -4（淡い）から4（鮮やか）の範囲で設定します。
- 下地調整
下地濃度を調整します。スクロールバーで -4（薄くなる）から4（濃くなる）の範囲で設定します。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。
- 4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ 画質が粗い（解像度）

印刷の解像度を設定します。

カラー MFPの場合

1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。

2 【カラー設定1】メニューの【解像度】で数値を指定します。



解像度

- **600 dpi** : 600 x 600 dpiの解像度で印刷します。
- **1200 dpi** : 1200 x1200 dpiの解像度で印刷します。
- **600 x 1200 dpi** : 600 x 1200 dpiの解像度で印刷します。

注意

- [1200 dpi] は、以下の機種で印刷をする場合のみ有効となります。
[1200 dpi] を選択すると、カラー、白黒ともに3600 dpi 相当× 1200 dpiの解像度で印刷します。
 - e-STUDIO5015AC Series
 - e-STUDIO5018A Series
 - e-STUDIO7516AC Series
 - e-STUDIO8518A Series
- [1200 dpi] または [600 x 1200 dpi] で印刷する場合、以下の機能は使用できません。
 - オートトラッピング
- [600 x 1200 dpi] は、e-STUDIO2010ACで印刷する場合のみ有効となります。
- 以下の解像度を選択して製本印刷をする場合、解像度は600 dpiに変換して印刷されます。
 - e-STUDIO5015AC Seriesで [1200 dpi] を選択した場合
 - e-STUDIO2010ACで [600 x 1200 dpi] を選択した場合
- [600 x 1200 dpi] で印刷するときは、印刷に使用するカセットや用紙の向きに合わせて印刷データを確定した後、そのカセットにセットされた用紙の向きが変更されても、印刷データの向きは自動的に回転されません。たとえば、1段目カセットにセットされたA4縦向きの用紙を指定してホールド印刷を行い、印刷待ちの状態（本機で印刷データが確定された状態）となった後、1段目カセットの用紙の向きをA4縦向きからA4横向きに変更して印刷すると、印刷データは自動的に回転されずA4縦向きのままで印刷されます。
- [600 x 1200 dpi] で印刷する場合、オートカセットチェンジの異方向用紙の許可は使用できません。

- 封筒または非定形サイズの内紙を使用する場合、カセットに内紙をセットする際に内紙の長い辺を手前側に向けてセットしたときのみ、オートカセットチェンジが利用できます。ただし、[600 dpi] を選択して印刷する場合は除きます。
- 封筒または非定形サイズの内紙を使用する場合、オートカセットチェンジの異方向内紙の許可は使用できません。

3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。

4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

モノクロMFPの場合

1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。

2 [印刷品質] メニューの [解像度] で数値を指定します。



解像度

- **600 dpi** : 600 x 600 dpiの解像度で印刷します。
- **1200 dpi** : 1200 x 1200 dpiの解像度で印刷します。

注意

[解像度] および選択項目はお使いの機種によっては利用できません。

3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。

4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 文書上に薄い文字を重ねて印刷する（スタンプ）

スタンプメニューでは、「Confidential」、「Draft」、「Proof」、「Top Secret」などの文字列を印刷する文書に重ねた状態で用紙に印刷できます。スタンプによって印刷文書の種類や用途を一目で分かるように分類することができます。スタンプは標準で登録されていますが、スタンプに使用する文字は自分で作成することもできます。スタンプはテキストだけです。

注意

プラグインをインストールした場合に表示されます。プラグインのインストールについてはインストールガイドを参照してください。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【スタンプ】メニューで詳細を設定します。



文字：印刷するスタンプを選択します。テキストを入力し、スタンプを新たに作成することもできます。

注意

半角・全角63文字まで入力することができます。ただし、文字数が多いと、スタンプが大き過ぎるため正しく印刷することができない場合があります。

フォント：フォントを選択します。

寸法：フォントサイズを入力します。

6 ptから300 ptの範囲を1 pt単位で設定できます。スクロールバーを使って設定することもできます。

角度：回転角度を入力します。

0360（度）の範囲を1度単位で設定できます。スクロールバーを使って設定することもできます。

カラー：色を選択します。

注意

【カラー設定1】メニューの「カラーの種類」で【白黒】を選択している場合は、選択した色ではなくグレーの濃淡で印刷します。

最前面に配置：スタンプテキストを前面に配置して印刷します。

最背面に配置：スタンプテキストを背面に配置して印刷します。

位置：スクロールバーでスタンプの位置を調整します。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

本体にジョブを保存してから出力する

印刷ジョブを処理する方法には、通常印刷のほかに、[予約印刷]、[プライベート印刷]、[ホールド印刷]、[お試し印刷]、[マルチステーション印刷]、[本体に保存]があります。

📖 P.185 「指定した日時にジョブを印刷する（予約印刷）」

📖 P.186 「機密文書やサンプル印刷を設定する」

📖 P.187 「本体のボックスに保存する（本体に保存）」

■ 指定した日時にジョブを印刷する（予約印刷）

いつ印刷ジョブを本機に送信するかを設定します。

注意

この機能は、Mac OS X 10.6.xをお使いの場合のみ有効です。

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [スケジューラ] メニューで詳細を指定します。



書類をプリント

- **今すぐプリント**：印刷ジョブを今すぐ送信します。
- **後でプリント**：印刷ジョブを送信する時間を指定します。印刷ジョブは指定した時間またはMac OSのキューから印刷ジョブの実行を操作するまでMac OSのキューに保留されます。
- **保留**：印刷ジョブをMac OSのキューに保留します。

優先順位：印刷ジョブの優先順位を選択します。印刷ジョブが複数ある場合に、優先順位が高いものから印刷されます。優先順位は、[至急]、[高]、[中]、[低] の4段階で設定できます。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。
- 4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 機密文書やサンプル印刷を設定する

本機が各印刷ジョブをどのように処理するかを設定します。ジョブタイプにはプライベート印刷、お試し印刷、ホールド印刷、マルチステーション印刷などがあります。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【ジョブタイプ】メニューで表示ユーザ名やジョブタイプを設定します。

表示ユーザ名：必要に応じて、プライベート印刷ジョブ一覧、ホールド印刷ジョブ一覧に表示されるユーザ名を入力します。ユーザ自身が任意のユーザ名を設定できるので、本機のタッチパネルから印刷を実行する際に自分が登録したジョブを容易に見つけることができます。

補 足

- 半角31文字まで入力できます。
- 【表示ユーザ名】を入力しない場合は、ログインユーザ名がプライベート印刷ジョブ一覧、ホールド印刷ジョブ一覧に表示されます。
- 【表示ユーザ名】は、プライベート印刷ジョブ一覧、ホールド印刷ジョブ一覧にのみ適用されます。その他のジョブ一覧画面（お試し印刷／部門コードなし）や印刷ログ画面には、コンピュータのログインユーザ名が表示されます。

ジョブタイプ：印刷ジョブの処理方法を設定します。

- **通常印刷：**通常の印刷を行います。
- **マルチステーション印刷：**本機に送信したジョブを別の複合機から印刷することができます。送信した印刷ジョブは、本機のマルチステーション印刷ジョブ一覧に保存されます。印刷を実行するには、タッチパネルで目的のジョブを選択し、【印刷】を押します。

注 意

【マルチステーション印刷】機能を使用するには、マルチステーション印刷オプションが必要です。マルチステーション印刷の設定については、**TopAccessガイド**を参照してください。

- **ホールド印刷：**ジョブをホールド印刷として処理します。送信した印刷ジョブは、本機のホールドジョブ一覧に保存されます。印刷を実行するには、タッチパネルで目的のジョブを選択し、【印刷】を押します。出力紙の取り忘れを防ぐために便利な機能です。
- **お試し印刷：**複数部数の印刷を実行する前に確認用に1部だけサンプルコピーを印刷します。サンプルの出力結果を確認した後に、本機のタッチパネルから残り部数の印刷を実行します。この機能を使用すれば、間違った印刷設定などによる用紙の無駄遣いなどを削減できます。
- **プライベート印刷：**ジョブをプライベート印刷として処理します。これを選択した場合は、右横のボックスに5桁のパスワード（文書パスワード）を指定します。送信した印刷ジョブは、本機のプライベートジョブ一覧に保存され、タッチパネルからパスワードを入力するまでジョブは保留され、実行されません。この機能は、他人に見られたくない機密文書を印刷するときに有効な機能です。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 本体のボックスに保存する（本体に保存）

本体に保存メニューでは、印刷ジョブをお使いのアプリケーションから本機の内蔵ストレージへ送信し、保存することができます。保存したジョブは、タッチパネルから印刷できます。ジョブの保存先には、共有ボックスまたはユーザボックスを選択できます。また、ボックス内に作成したフォルダを指定することもできます。共有ボックスは、ネットワーク上で共有されており、どのユーザでもアクセスすることができます。ユーザボックスは、ユーザが任意に作成できるボックスで、パスワードを設定してアクセスを制限できます。

注意

プラグインのインストールについてはインストールガイドを参照してください。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【本体に保存】メニューで保存先やパスワードを設定します。



本体に保存：印刷ジョブを本機に保存します。

同時に印刷：保存と同時に印刷を行います。

排紙先：保存先を選択します。共有ボックスまたはユーザボックスを選択できます。

- パスワード
ユーザボックスにパスワードが設定されている場合は、ユーザボックスのパスワード（5桁）を入力します。
- 保管先フォルダ
保存先に共有ボックスまたはユーザボックス内のフォルダを指定する場合は、フォルダ名を入力します。

注意

- フォルダ名は最大64文字まで入力できます。
- フォルダの数の上限は100です。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

印刷設定の保存

「プリント」ダイアログボックスで設定した内容は、プリセットとして名前を付けて保存することができます。設定内容を初期値として使用する場合は、[プリセット] より使用するプリセットを選択します。

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [プリンタ] から本機を選択し、印刷設定をセットアップします。



補足

- 「プリント」ダイアログボックスの表示はアプリケーションによって異なることがあります。
- 各設定項目の並び方は、お使いになるMac OSの種類により異なることがあります。

- 3 [プリセット] より [現在の設定をプリセットとして保存] を選択し、名前を付けて [OK] をクリックします。



📖 P.189 「印刷設定の内容や消耗品を確認する」

📖 P.189 「注意事項について」

■ 印刷設定の内容や消耗品を確認する

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [サプライのレベル] メニューでトナーカートリッジや用紙の残量を確認できます。



- 3 [キャンセル] をクリックし、ダイアログボックスを閉じます。

■ 注意事項について

- 印刷を実行する際のユーザ名、文書名に全角文字が含まれている場合、本機のタッチパネルの印刷ジョブに「OSX User」および「OSX Document」と表示されます。半角文字の場合には、実際のユーザ名、文書名が表示されます。
- プリンタ機能のカバーページメニューと表紙機能を同時に使用することはできません。
- e-Filing機能は、カスタム用紙、製本、2色印刷、1200 dpi印刷、600 x 1200 dpi印刷、ホールド印刷、お試し印刷、マルチステーション印刷、およびプライベート印刷と同時に使用することはできません。
- e-Filing機能でホチキスやパンチ機能を利用できる機種の場合、以下の設定は使用することができません。これらの設定を選択しても解除されません。
 - ホチキス：
[右側(縦置き)／下側(横置き)]、[右下側(縦置き)／左下側(横置き)]、[下側(縦置き)／左側(横置き)]
 - パンチ：
[長尺側へ穴あけ(画像180回転)]、[短尺側へ穴あけ(画像180回転)]
- お試し印刷、プライベート印刷、ホールド印刷、マルチステーション印刷を行う場合、およびe-Filing機能を使用する場合は、LPRまたはBonjourを使用してください。
- ユーザ認証機能を使用するには、[アカウント] → [ログインオプション] → [ネットワークアカウントサーバ] → [ディレクトリユーティリティを開く] → [サービス] でドメインの設定を行ってください。

プリンタドライバの機能概要

■ プリンタドライバの表示方法

Mac OSアプリケーションから印刷する場合は、印刷機能を「ページ設定」ダイアログボックスおよび「プリント」ダイアログボックスで設定し、印刷します。

□ 「ページ設定」ダイアログボックス

補足

「ページ設定」ダイアログボックスの表示は、アプリケーションによって異なる場合があります。また、アプリケーションによっては [ファイル] メニューには存在せず、「プリント」ダイアログボックスに設定が含まれている場合があります。

- 1 文書を開き、[ファイル] メニューで [ページ設定] (または [用紙設定]) を選択します。
- 2 [対象プリンタ] から本機を選択し、印刷ジョブのページ設定を行います。



□ 「プリント」ダイアログボックス

補足

- 「プリント」ダイアログボックスの表示はアプリケーションによって異なることがあります。
- 各設定項目の並び方は、お使いになるMac OSの種類により異なることがあります。

- 1 文書を開き、[ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [プリンタ] から本機を選択し、印刷設定をセットアップします。



■「ページ設定」ダイアログボックス

メニュー名	設定項目名	機能説明
ページ設定	対象プリンタ	プリンタを選択します。
	用紙サイズ	用紙サイズを選択します。
	方向	印刷する用紙の向きを選択します。
	拡大縮小	拡大または縮小して印刷する場合に、倍率を指定します。

■「プリント」ダイアログボックス

メニュー名	設定項目名	機能説明
印刷部数と印刷ページ	印刷部数	印刷する部数を設定します。
	丁合い *1	部単位に仕分けして印刷します (ソート印刷)。
	ページ	印刷するページを指定します。
	両面	両面印刷を設定します。
レイアウト	ページ数/枚	複数ページを1枚の用紙に印刷します。
	レイアウト方向	ページをレイアウトする方向を設定します。
	境界線	各ページに枠線を付けてページ集約印刷するかを選択します。
	両面	両面印刷を設定します。
	ページの方向を反転	排紙される用紙の向きを逆にします。
	左右反転	ページ全体の左右を反転させて印刷します。
カラーマッチング	ColorSync	印刷される出力のカラーマネジメントを、使用中のアプリケーションから制御する場合に選択します。
	プリンタのカラー	印刷される出力のカラーマネジメントを、使用中のプリンタから制御する場合に選択します。
	プロファイル	[ColorSync] を選択した場合に、適用するカラープロファイルを選択します。
用紙処理	丁合い	部単位に仕分けして印刷します (ソート印刷)。
	プリントするページ	すべてのページを印刷するか、奇数ページまたは偶数ページのみを印刷するかを選択します。
	ページの順序	ページを印刷する順序を選択します。
	用紙サイズに合わせる	指定した用紙のサイズに収まるように、ページイメージを自動で拡大または縮小して印刷します。
	出力用紙サイズ	出力用紙サイズを選択します。
	縮小のみ	文書サイズより大きい用紙に印刷する場合、拡大せずに印刷します。
給紙	全体	すべてのページに同じ給紙元を使用する場合に選択します。
	先頭ページのみ / 残りのページ	先頭ページとその他のページに異なる給紙元を使用する場合は、[先頭ページのみ] および [残りのページ] で給紙元を選択します。
表紙	表紙をプリント	バナーページを印刷するかを設定します。
	表紙のタイプ	[表紙をプリント] で [書類の前] または [書類の後] を選択した場合に、挿入する表紙の種類を選択します。
	課金情報 *2	バナーページに課金情報を印刷したい場合は、課金情報を入力します。

メニュー名	設定項目名	機能説明
ジョブタイプ	部門コード	印刷を実行するのに部門コードの入力を必要とするかを選択します。
	表示ユーザ名	必要に応じて、プライベート印刷ジョブ一覧、ホールド印刷ジョブ一覧に表示されるユーザ名を入力します。
	プロジェクトコード	プロジェクトコードを入力します。
	ジョブタイプ	印刷ジョブの処理方法を設定します。
	細線をはっきりと印刷する	細線をはっきりと印刷するかを選択します。
	白紙は印字しない	白紙ページを印刷するかを選択します。
仕上げ	排出先	排紙先を選択します。
	用紙種類	用紙種類を選択できます。
	ホチキス	印刷文書をホチキス留めして出力するかを設定します。
	パンチ	印刷文書にパンチ処理（綴じ用の穴開け）をするかを設定します。
	中折り	ほかの印刷設定に基づき文書を用紙に印刷し、用紙の中央で中折りして出力する場合に選択します。
カラー設定	カラーの種類	印刷ジョブをカラーで印刷するか、白黒で印刷するかを選択します。
	ハーフトーン	ハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。
	トナー節約	トナーを節約して印刷する場合に選択します。
	原稿種類	ジョブタイプの選択に応じて画像をどのように印刷するかを設定します。
	ブラックオーバープリント	黒色のテキスト、線画をカラー背景上にオーバープリントするかを選択します。
	PostScript オーバープリント	アプリケーション上でオーバープリントの設定をしたオブジェクトを、オーバープリント印刷の場合に選択します。
	オートトラッピング	版スレにより用紙の下地が見えてしまうことを防ぐ場合に選択します。
	黒とグレーの印刷方法	文書の黒とグレースケール部分を黒トナーで印刷するかを選択します。
	解像度	解像度を設定します。
	朱印再現	朱肉を用いた朱印などの色再現性を高めたいときに選択します。
	カラーバランス	各トナーの印字濃度を設定します。-4（薄い）から4（濃い）の範囲で調整できます。
	画質調整	シャープネス、明るさ、コントラスト、彩度を設定します。
	カラー設定 (カラープロファイル設定)	RGB
CMYK		CMYKソースプロファイルを選択します。
機器の色のみ適用 されます。		画像に埋め込まれているカラープロファイルを優先する場合に選択します。
プリンタ プロファイル		プリンタプロファイルを選択します。
レンダリング intent		印刷時のカラースペース変換を、どのような方法で処理するかを選択します。
初期値に戻す		カラープロファイル設定を、初期設定に戻します。
この設定を使用する		クリックするとカラープロファイル設定を保存し、カラー設定1メニューに戻ります。

メニュー名	設定項目名	機能説明
印刷品質	解像度	印刷の解像度を設定します。
	ハーフトーン	ハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。
	トナー節約	トナーを節約して印刷する場合に選択します。
	スムージング	文字やグラフィックスの縁をなめらかに印刷する場合に選択します。
カバーページ	表紙挿入	表紙印刷を設定します。
	裏表紙挿入	裏表紙印刷を設定します。
製本	製本を有効	本や雑誌と同じような印刷物を作成する場合に選択します。
	製本中央余白 (036 pt)	見開き印刷されるページの中央の余白を選択します。 (1 pt = 0.353 mm)
	製本外側余白 (036 pt)	ページの上下左右の余白を選択します。 (1 pt = 0.353 mm)
	左から右	左から右に読むように印刷を行う場合に選択します。
	右から左	右から左に読むように印刷を行う場合に選択します。
本体に保存	本体に保存	印刷ジョブを本機に保存する場合に選択します。
	同時に印刷	保存と同時に印刷を行う場合に選択します。
	排紙先	印刷ジョブの保存先を選択します。共有ボックスまたはユーザボックスを選択できます。
スタンプ	文字	スタンプを選択します。
	フォント	フォントを選択します。
	寸法	フォントサイズを入力します。
	角度	回転角度を入力します。
	カラー	色を選択します。
	最前面に配置	スタンプテキストを前面に配置して印刷します。
	最背面に配置	スタンプテキストを背面に配置して印刷します。
	位置	スクロールバーでスタンプの位置を調整します。
スケジューラ *1	書類をプリント	印刷ジョブを本機にいつ送信するかを設定します。
	優先順位	印刷ジョブの優先順位を選択します。

*1 Mac OS X 10.6.xをお使いの場合のみ表示されます。

*2 Mac OS X 10.6.x~10.9.xをお使いの場合のみ表示されます。

その他の印刷方法

UNIX/Linux環境から印刷する	196
注意点と確認事項について	196
LPコマンドを使用して印刷する	196
一般的なlpおよびlptapオプション	197
一般的なオプション	197
PCL5e固有オプション	209
USBダイレクト印刷	213
USBメディアからファイルを印刷する	213
印刷時の注意事項	216
FTP印刷	217
Eメール印刷	218
Eメールダイレクト印刷	219

UNIX/Linux環境から印刷する

ここでは、UNIX/Linuxワークステーションから印刷を行う方法を説明します。

注意

- 本機のユーザ管理設定が有効な場合、UNIX/Linuxワークステーションから送信された印刷ジョブは、無効ジョブとしてユーザ認証強制の設定に従って処理されます。ユーザ認証強制の設定については、**TopAccessガイド**を参照してください。
- UNIX/Linuxワークステーションから印刷を実行する前に、すべてのUNIX/Linuxフィルタがワークステーションにインストールされているかを確認してください。UNIX/Linuxフィルタの設定については、**インストールガイド**の「プリンタドライバのインストール (UNIX/Linux)」を参照してください。

補足

CUPSのインストールおよび設定については**インストールガイド**を参照してください。

■ 注意点と確認事項について

- 本機はUNIX/Linux用のフィルタ印刷のみサポートしています。ドライバのサポートはしていません。印刷ページのサイズや順序を変更することはできません。
- UNIX/Linux用フィルタでは、以下の機能はサポートされていません。
 - 変倍印刷
 - 縦横交互
 - Nin1印刷
 - スタンプ
 - 表紙・裏表紙挿入
 - シート挿入
 - 予約印刷
 - オーバーレイで保存
 - 本体に保存
 - オーバーレイファイルを使用
- Linuxではlpコマンドはサポートされていないため、代わりにlptapコマンドを使ってファイルを本機へ送信して印刷を行ってください。
- AIXでは、qdaemonを使った印刷をサポートしています。qdaemonを使用して印刷するには、lp、lprまたはqprtコマンドを使って印刷を行ってください。また、UNIX/Linuxフィルタを利用して印刷する場合は、lpコマンドまたはqprtコマンドを使って印刷を行ってください。

■ LPコマンドを使用して印刷する

lpコマンド（Linuxではlptapコマンド）を使ってファイルを本機へ送信し印刷します。lpコマンドでは、-oオプションを使って本機特有の機能を指定することができます。また、さまざまなパラメータを利用して印刷機能を設定することもできます。印刷出力に使用できるさまざまな機能やパラメータを確認するには、[man net_estcolor] コマンドを実行し、オンラインドキュメントを表示してください。すべての設定は印刷ジョブの先頭に付加されて本機へ送信されるため、送信したファイル自体に印刷機能の設定が含まれている場合は、lpコマンドで指定した印刷機能を上書きして印刷することがあります。

■ 一般的なlpおよびlptapオプション

□ ファイルの印刷方法

プリンタを指定してファイルを印刷するlpコマンドは以下となります。
`lp -d <queuename> <filename>`

□ 印刷部数

印刷ジョブの印刷部数は、lpコマンドを使って `[-n <value>]` パラメータで指定します。初期値は、lpコマンドにより決定され常に `[1]` となります。印刷は常にページ順をそろえて出力されます。

□ タイトル

バナーページに印刷されるタイトルは、lpコマンドを使って `[-t <title>]` パラメータで指定することができます。タイトルを指定しない場合は、印刷ファイルの名称がバナーページのタイトルになります。同じlpコマンドを使って複数のファイルを印刷する場合、初期設定のタイトルがlpコマンドによって最初のファイルの名称に設定されます。

■ 一般的なオプション

下記オプションは、本機で印刷するすべての印刷ファイルに適用されます。

注意

- オプションの構成や使用できる用紙サイズなどの違いにより、お使いの機種では設定できないオプションコマンドがあります。
- オプションコマンドは大文字・小文字の区別がありますので、以下の説明のとおりに入力してください。
- 本機の仕様が優先されるため、オプションコマンドの組み合わせによっては無効となる場合があります。

□ 印刷言語

`[net_estcolor]` プログラムは、印刷する各ファイルにどのプリンタ言語が使用されているかを把握する必要があります。この情報に従って、正しいコマンドを実行することができます。印刷言語の有効なオプションは、次のとおりです。

オプション値	代替値	説明
auto		印刷する各ファイルが <code>[%!]</code> シーケンスで始まっているかを確認します。始まっている場合は、PostScriptファイルと判断します。そうでない場合は、プレーンテキストファイル、PCL5eまたはPCL6ファイルと判断します。
pcl		印刷ファイルを常にプレーンテキストファイル、PCL5eまたはPCL6ファイルとして扱います。
postscript	ps	ファイルを常にPostScriptファイルとして扱います。
raw		ファイルを必要なすべてのコマンドを含んだ完全にフォーマットされたファイルとして扱います。ファイルに何らかの変更を加えることなく本機へ送信します。このモードでは、オプションは無効であり、またバナーページも印刷されません。

すべてのPCL5eジョブは、LFキャラクタを [復帰] シーケンスに変換する `[<esc>&k2G]` コマンドを自動で送信します。PCL5eジョブにジョブ自身のエスケープシーケンスが含まれていると、上記設定が上書きされてしまう場合があります。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定 (auto) が使用されます。

[例] ファイルをPostScriptとして指定するコマンド：`lp -o ps <filename>`

□ ホチキス

部ごとに用紙をホチキス留めして排紙するかを設定します。フィニッシャが装着されている場合、下記オプションを使用してホチキス位置を指定できます。

オプション値	代替値	説明
staple=0		ホチキス機能を無効にします。
staple=1		縦型ページの左上部をホチキス処理します。横型ページの場合は、右上部をホチキス処理します。
staple=2		縦型ページの左側を2か所ホチキス処理します。または、長手方向に給紙された横型ページの上部を2か所ホチキス処理します。このコマンドは、短手方向に給紙されるページには適用されません。
staple=3		縦型ページの左下部をホチキス処理します。横型ページの場合は、左上部をホチキス処理します。
staple=4		縦型ページの右上部をホチキス処理します。横型ページの場合は、右下部をホチキス処理します。
staple=5		縦型ページの右側を2か所ホチキス処理します。または、長手方向に給紙された横型ページの下部を2か所ホチキス処理します。このコマンドは、短手方向に給紙されるページには適用されません。
staple=6		縦型ページの右下部をホチキス処理します。横型ページの場合は、左下部をホチキス処理します。
staple=7		縦型ページの上側を2か所ホチキス処理します。または、短手方向に給紙された横型ページ（A3またはLedgerの大型サイズの用紙）の右側を2か所ホチキス処理します。このコマンドは、長手方向に給紙されるページ、または小型サイズの用紙には適用されません。
staple=8		縦型ページの下側を2か所ホチキス処理します。または、短手方向に給紙された横型ページ（A3またはLedgerの大型サイズの用紙）の左側を2か所ホチキス処理します。このコマンドは、長手方向に給紙されるページ、または小型サイズの用紙には適用されません。
staple=9		横型ページの中央を2か所ホチキス処理（サドルステッチ処理）し、中折りとじを出力します。このコマンドはブックレット印刷に関連するものであり、長手方向に給紙されるページには適用されません。

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（staple=0）が使用されます。

[例] 長手方向に給紙された縦型ページの左上部にホチキスするときのコマンド：

```
lp -o staple=1 <filename>
```

ホチキス位置の値は、用紙サイズ、給紙方向や印刷の向きにより決定されます。この機能はすべての用紙サイズに使用できるわけではなく、対応する用紙サイズについては**用紙準備ガイド**を参照してください。特に、A5、A6およびStatement用紙には、この機能を使用することはできません。

注意

フィニッシャ、サドルステッチフィニッシャでホチキス印刷を行う場合は、[トレイ2] を指定してください。

□ 中折り

下記オプションを使用して中折り印刷をするかを設定できます。

オプション値	代替値	説明
folding=off	OFF	中折りを無効にします。
folding=on	ON	中折りを有効にします。

本機にサドルステッチフィニッシャが装着されていない場合や、このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（folding=off）が使用されます。

[例] 中折りを有効にするコマンド：lp -o folding=on <filename>

注意

[中折り] は、サドルステッチフィニッシャを装着した場合にのみ有効です。

出力トレイ

下記オプションを使用して出力トレイを指定することができます。

オプション値	代替値	説明
inner		本体の排紙トレイを選択します（フィニッシャ未装着時）。
bin1		フィニッシャの上段排紙トレイを選択します。
bin2		フィニッシャの下段排紙トレイを選択します。

本機にフィニッシャが装着されていない場合や、このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（inner）が使用されます。

[例] 上段排紙トレイ（bin 1）を指定するコマンド：`lp -o bin1 <filename>`

パンチ

印刷文書にパンチ処理（とじ用の穴開け）をするかを設定します。パンチユニットが装着されている場合、下記オプションを使用してパンチ処理を行うことができます。

オプション値	代替値	説明
punch=0	nopunch	パンチ機能を無効にします。
punch=1		長手パンチ（回転なし）
punch=2		短手パンチ（回転なし）
punch=3		長手パンチ（180度回転）
punch=4		短手パンチ（180度回転）

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（nopunch）が使用されます。この機能はすべての用紙サイズに使用できるわけではなく、対応する用紙サイズについてはコピーガイドを参照してください。特に、A5、A6およびStatement用紙には、この機能を使用することはできません。

[例] 長手方向に給紙した縦型ページにパンチ処理するコマンド：

`lp -o punch=1 <filename>`

用紙種類

下記オプションを使用して、用紙種類を指定することにより給紙元を指定できます。

オプション値	代替値	説明
mtype=Plain		普通紙のセットされた給紙元を指定します。
mtype=Transparency		OHPフィルムのセットされた給紙元を指定します。
mtype=Thick1		厚紙1がセットされた給紙元を指定します。
mtype=Thick2		厚紙2がセットされた給紙元を指定します。
mtype=Thick3		厚紙3がセットされた給紙元を指定します。

PostScriptでは〔メディア選択の据え置き〕が常時有効なため、用紙サイズが用紙種類や給紙元より優先されます。PCL5eでは、用紙サイズが常時用紙種類や給紙元より優先されます。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（mtype=Plain）が使用されます。

[例] 普通紙を指定するコマンド：`lp -o mtype=Plain <filename>`

給紙元

下記オプションを使用して用紙の給紙元を指定できます。

オプション値	代替値	説明
auto-source		自動で給紙元を指定します。
manual		手差しトレイを指定します。
drawer1	upper cas1	1段目カセットを指定します。
drawer2	lower cas2	2段目カセットを指定します。
drawer3	pedupper cas3	3段目カセットを指定します。
drawer4	pedlower cas4	4段目カセットを指定します。
LCF	lcf	大容量給紙装置を指定します。
external		大容量給紙装置（外付け）を指定します。

PostScriptでは「メディア選択の据え置き」が常時有効なため、用紙サイズが給紙元より優先されます。PCL5eでは、用紙サイズが常に給紙元より優先されます。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（auto-source）が使用されます。

[例] 大容量給紙装置を指定するコマンド：lp -o lcf <filename>

注意

この機能は、本機で使用できる給紙元を指定した場合のみ有効となります。

両面印刷

下記オプションを使用して両面印刷モードを指定できます。

オプション値	代替値	説明
simplex		両面印刷機能を無効にします。
duplex	lduplex duplex_long duplex=long hduplex	両面印刷（長手とじ）
sduplex	duplex_short duplex=short vduplex	両面印刷（短手とじ）

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（simplex）が使用されます。ブックレットモードを選択すると、[sduplex]（両面印刷：短手とじ-有効）が自動的に選択されます。個別に行った両面印刷設定は、ブックレットモード設定よりも優先されます。

[例] 両面印刷（長手とじ）を指定するコマンド：lp -o duplex <filename>

□ 用紙サイズ

下記オプションを使用して用紙サイズを指定できます。

オプション値	代替値	説明
letter	lt LT	Letterサイズ用紙を選択します。
A4	a4	A4サイズ用紙を選択します。
legal	lg LG	Legalサイズ用紙を選択します。
statement	st ST	Statementサイズ用紙を選択します。
ledger	ld LD	Ledgerサイズ用紙を選択します。
ledgerwide	ldwide LDWIDE	Ledger-Wideサイズ用紙を選択します。
folio	folio-japan	Folioサイズ用紙を選択します。
A3	a3	A3サイズ用紙を選択します。
A3WIDE	a3wide	A3-Wideサイズ用紙を選択します。
A5	a5	A5サイズ用紙を選択します。
A6	a6	A6サイズ用紙を選択します。
B4	b4b4-jis B4-JIS	JIS B4サイズ用紙を選択します。
B5	b5b5-jis B5-JIS	JIS B5サイズ用紙を選択します。
computer	co CO	Computerサイズ用紙を選択します。
legal13	lg13 LG13	13インチLGサイズ用紙を選択します。
sq85	letter-square	8.5SQサイズ用紙を選択します。
postcard		はがき用紙を選択します。
8K	8k	8Kサイズ用紙を選択します。
16K	16k	16Kサイズ用紙を選択します。
13.5" Legal	lg13.5 lg135 LG135	13.5インチLGサイズの用紙を選択します。
Executive	exec EXEC executive EXECUTIVE	Executiveサイズ用紙を選択します。
IndexCard		IndexCardサイズ用紙を選択します。

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。

[例] A4サイズ用紙を選択するコマンド：`lp -o a4 <filename>`

□ 印刷モード

下記オプションを使用して印刷モードを選択できます。

オプション値	代替値	説明
normal		通常の印刷ジョブとして処理します。
hold		ホールド印刷ジョブとして処理します。
proof		お試し印刷ジョブとして処理します。
private=din		プライベート印刷ジョブとして処理します。[din] は1~163文字のパスワード（文書パスワード）です。

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（normal）が使用されます。

プライベート印刷を行うには、最大63文字のパスワードを指定します。

64文字以上のパスワードを指定した場合は、64文字以上の文字を省いて印刷ジョブを送信します。

以下の文字は、パスワードに指定することはできません。

" & ' () ; < > ^ ` | ~ @ # % * !

□ 部門コード

下記オプションを使用して部門コードを設定できます。

オプション値	代替値	説明
dept=code		部門コードを設定します。[code] は1~163文字の部門コードです。

最大63文字の部門コードを指定します。

64文字以上の部門コードを指定した場合は、64文字以上の文字を省いて印刷ジョブを送信します。

以下の文字は、部門コードに指定することはできません。

" & ' () ; < > ^ ` | ~ @ # % * !

補 足

- TopAccess管理者設定の [部門コードなし印刷ジョブ] の設定と、本機との双方向通信が有効であるかにより、間違った部門コードを入力して印刷した場合の印刷ジョブの処理は変わります。
 - 双方向通信が有効で、部門コードなし印刷ジョブが [部門コードの使用を強制する] に設定されている場合は、間違った部門コードを入力するとエラーメッセージが表示されます。
 - 双方向通信が無効で、部門コードなし印刷ジョブが [部門コードの使用を強制する] に設定されている場合は、間違った部門コードを入力した印刷ジョブは無効ジョブとして保留され、部門コードなし印刷ジョブリストに表示されます。
 - 部門コードなし印刷ジョブが [印刷] の場合は、間違った部門コードを入力した印刷ジョブもそのまま印刷されます。
 - 部門コードなし印刷ジョブが [削除] の場合は、間違った部門コードを入力した印刷ジョブは削除されます。
- 使用する部門コードについては、管理者にご確認ください。

□ スムージング

文字やグラフィックをなめらかに印刷するか選択します。下記オプションを使用してスムージングモードを設定できます。

オプション値	代替値	説明
smoothing=on	ON	スムージングモードを設定します。
smoothing=off	OFF	スムージングモードを解除します。

[例] スムージングモードを指定するコマンド : `lp -o smoothing=on <filename>`

注 意

- この機能は、お使いの機種がモノクロMFPの場合にのみ設定できます。
- お使いの機種によっては、[解像度] を [1200 dpi] に設定すると [スムージング] は設定できません。

細線モード

細線をはっきりと印刷するかを設定します。下記オプションを使用して細線モードを設定できます。

オプション値	代替値	説明
thinlinelimit=on	ON	細線モードを設定します。
thinlinelimit=off	OFF	細線モードを解除します。

[例] 細線モードを指定するコマンド : `lp -o thinlinelimit=on <filename>`

白紙は印字しない

白紙ページを印刷するかを設定します。下記オプションを使用して白紙印字モードを設定できます。

オプション値	代替値	説明
blankpage=0		白紙ページを印字します。
blankpage=1		白紙ページを印字しません。

[例] 白紙印字モードを指定するコマンド : `lp -o blankpage=0 <filename>`

トナー節約

下記オプションを使用してトナー節約モードを設定できます。

オプション値	代替値	説明
tonersave=on	ON	トナー節約モードを設定します。
tonersave=off	OFF	トナー節約モードを解除します。

[例] トナー節約モードを指定するコマンド : `lp -o tonersave=on <filename>`

製本印刷

下記オプションを使用して製本印刷を選択できます。

注意

製本印刷はPostScriptデータのみにも適用されます。PCLデータを製本印刷した場合は、印刷が無効になります。

オプション値	代替値	説明
booklet=letter	lt LT	Letterサイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=A4	a4	A4サイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=legal	lg LG	Legalサイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=statement	st ST	Statementサイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=ledger	ld LD	Ledgerサイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=folio	folio-japan	Folioサイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=A3	a3	A3サイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=A5	a5	A5サイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=B4	b4 B4-JIS b4-jis	JIS B4サイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=B5	b5 B5-JIS b5-jis	JIS B5サイズ用紙を使用して製本印刷を行います。

オプション値	代替値	説明
booklet=computer	co CO	Computerサイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=legal13	lg13 LG13	13インチLGサイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=SQ85	sq85 letter-square	8.5SQサイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=8K	8k	8Kサイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=16K	16k	16Kサイズ用紙を使用して製本印刷を行います。

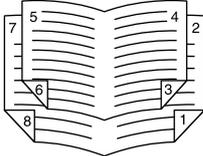
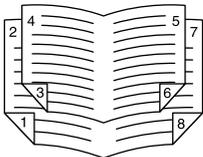
このオプションの値、およびページ記述言語のデータが [LT] の場合、Letter用紙を使用したブックレットが出力されます。一方、このオプションの値が [A4] でページ記述言語のデータが [A5] の場合には、A4用紙を使用したA5サイズのブックレットが出力されます。ブックレットモードオプションを選択すると、対応する用紙サイズが自動的に設定されます。この機能は、A4とLetter用紙にのみ使用することができます。また、ブックレットモードを選択すると、[sduplex] (両面印刷：短手とじ-有効) が自動で選択されます。個別に行った両面印刷設定は、ブックレットモード設定よりも優先されます。

[例] Letterサイズ用紙を使用してブックレット印刷を行うコマンド：

```
lp -o booklet=letter <filename>
```

□ ページレイアウト

下記オプションを使用して製本印刷でのページレイアウトを選択できます。

オプション値	代替値	説明
left2right=off	OFF	右から左方向のページレイアウトで製本印刷を行います。この値は、製本のページレイアウトを決定します。この値が [OFF] の場合、右から左方向のページレイアウトは下図のように出力されます。 
left2right=on	ON	左から右方向のページレイアウトで製本印刷を行います。この設定が初期値です。この値が [ON] の場合、左から右方向のページレイアウトは下図のように出力されます。 

[left2right=off] の場合、長手とじ (左右開き) が選択されます。一方、[left2right=on] の場合、短手とじ (上下開き) が選択されます。

[例] 左から右方向のページレイアウトで製本印刷を行うコマンド：

```
lp -o left2right=on <filename>
```

中央マージン

下記オプションを使用して製本印刷を行う際のページの中央マージンを指定できます。

オプション値	代替値	説明
centermargin=value		製本印刷を行う際のページの中央マージンを指定します。アプリケーションで指定済みの中央マージンに加えて、中央マージンまたは「のどあき」をピクセル単位で設定できます。 [value] はピクセルの単位で、0～300の範囲で設定できます。初期値は、0です。

[例] 製本印刷の中央マージンを指定するコマンド：

```
lp -o centermargin=value <filename>
```

外側マージン

下記オプションを使用して製本印刷を行う際のページの外側マージンを設定できます。

オプション値	代替値	説明
outermargin=value		製本印刷を行う際のページの外側マージンを指定します。製本印刷を出力中に各ページに設ける外側マージンまたは「クリープ」をピクセル単位で設定します。[value] はピクセルの単位で、0～600の範囲で設定できます。初期値は、0です。

[例] 製本印刷の外側マージンを指定するコマンド：

```
lp -o outermargin=value <filename>
```

部単位印刷

下記オプションを使用して部単位印刷を設定できます。

オプション値	代替値	説明
collate=off	OFF	部単位印刷を無効にします。
collate=on	ON	部単位印刷を有効にします。

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（collate=on）が使用されます。

[例] 部単位印刷を無効にするコマンド：lp -o collate=off <filename>

印刷向き

下記オプションを使用して印刷の向きを指定できます。

オプション値	代替値	説明
portrait		ドキュメントを縦向きで印刷します。
landscape		ドキュメントを横向きで印刷します。

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。

[例] 印刷向きに横向きを指定するコマンド：lp -o landscape <filename>

□ フォントピッチ

ピッチを指定すると、[net_estcolor] プログラムは自動的に、等幅フォントを選択します。そのほかの場合は、初期値のフォントが使用されます。下記オプションを使用して、フォントのピッチを選択できます。

オプション値	代替値	説明
c	pitch=16.67	文字ピッチを16.67文字/インチに設定します。
10	pitch=10	文字ピッチを10文字/インチに設定します。
12	pitch=12	文字ピッチを12文字/インチに設定します。
pitch=value		文字ピッチを入力した [value] /インチに設定します。

ピッチを変更すると、フォントサイズは自動的に適切なサイズに変更されます。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。

[例] 文字ピッチを8文字/インチに設定するコマンド：`lp -o pitch=8 <filename>`

□ ページ長

下記オプションを使用してページの印字行数を指定できます。

オプション値	代替値	説明
pl=value		印字行数を入力した [value] に設定します。

本機はページプリンタであり、用紙の物理的な長さを変更することはできません。このため、インチ当たりの行数を変更するこのコマンドを使用し、目的の行数でページを印刷します。上部マージンやテキスト長オプションが使用されている場合、実際のページ長はこの値と異なる場合があります。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。指定できる最小のページ長は [5] です。[5] 未満の値を指定した場合、ページ長は [5] に設定されます。

[例] 1ページの印刷行数を66行に指定するコマンド：`lp -o pl=66 <filename>`

□ カラーモード

印刷ジョブをカラーで印刷するか、白黒で印刷するか、2色印刷するかを選択します。下記オプションを使用してカラーモードを設定できます。

オプション値	代替値	説明
colormode=COLOR	color	カラーモードを設定します。
colormode=GRAYSCALE	grayscale	グレースケールモードを設定します。
colormode=AUTO	auto	オートカラーモードを設定します。
colormode=2KR	2kr	2色カラーモード（黒と赤）を設定します。
colormode=2KG	2kg	2色カラーモード（黒と緑）を設定します。
colormode=2KB	2kb	2色カラーモード（黒と青）を設定します。
colormode=2KC	2kc	2色カラーモード（黒とシアン）を設定します。
colormode=2KM	2km	2色カラーモード（黒とマゼンタ）を設定します。
colormode=2KY	2ky	2色カラーモード（黒とイエロー）を設定します。
colormode=2KW	2kw	2色カラーモード（黒と白）を設定します。

[例] カラーモードを設定するコマンド：`lp -o colormode=COLOR <filename>`

注意

この機能は、カラー MFPをお使いの場合にのみ有効となります。

 黒とグレーを黒 (K) トナーで印刷する

黒とグレーの部分にKトナーで印字するかを設定します。下記オプションを使用して黒とグレーの印字方法を設定できます。

オプション値	代替値	説明
pureblackgray=0		黒とグレーの黒トナー印刷を無効にします。
pureblackgray=1		黒を黒トナーで印刷します。
pureblackgray=2		黒とグレーを黒トナーで印刷します。

[例] 黒とグレーを黒トナーで印刷するコマンド: `lp -o pureblackgray=1 <filename>`

注意

この機能は、カラー MFPをお使いの場合にのみ有効となります。

 原稿種類

下記オプションを使用して原稿種類を指定できます。

オプション値	代替値	説明
iqnormal		通常のカラー文書を印刷するのに適切な画質を適用します。
iqphoto		写真を印刷するのに適切な画質を適用します。
iqpresen		プレゼンテーション資料を印刷するのに適切な画質を適用します。
iqlineart		多くの文字やラインアートで構成される文書を印刷するのに適切な画質を適用します。

[例] 通常の前稿種類で印刷するコマンド: `lp -o iqnormal <filename>`

注意

この機能は、カラー MFPをお使いの場合にのみ有効となります。

 ハーフトーン

印刷時にハーフトーン処理を行うかを設定します。下記オプションを使用してハーフトーンの印字方法を設定できます。

オプション値	代替値	説明
halftone=AUTO		画像部分は写真に合ったハーフトーンで印刷し、文字部分は文字に合ったハーフトーンで印刷します。
halftone=DETAIL		ハーフトーンを処理する密度を高くして印刷します。
halftone=SMOOTH		ハーフトーンの階調をなめらかに印刷します。

[例] ハーフトーンの印字方法に自動を指定するコマンド:

`lp -o halftone=AUTO <filename>`

□ ブラックオーバープリント

黒色のテキスト、線画をカラー背景上にオーバープリントするかを設定します。有効にした場合はテキストと背景間のすき間やカラーの版ズレを回避できます。下記オプションを使用してブラックオーバープリントを設定できます。

オプション値	代替値	説明
blackoverprint=0		ブラックオーバープリントを無効にします。
blackoverprint=1		ブラックオーバープリントを有効にします。

[例] ブラックオーバープリントを有効にするコマンド：lp -o blackoverprint=1 <filename>

注意

この機能は、カラー MFPをお使いの場合にのみ有効となります。

□ カラーバランス

下記オプションを使用してカラーバランスを設定できます。

オプション値	代替値	説明
CBC=value		シアントナーの印字濃度を指定します。以下の値を設定できます。 -4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4
CBM=value		マゼンタトナーの印字濃度を指定します。以下の値を設定できます。 -4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4
CBY=value		イエロートナーの印字濃度を指定します。以下の値を設定できます。 -4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4
CBK=value		黒トナーの印字濃度を指定します。以下の値を設定できます。 -4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4

[例] 黒トナーのカラーバランスを「1」に設定するコマンド：lp -o CBK=1 <filename>

注意

この機能は、カラー MFPをお使いの場合にのみ有効となります。

□ 画質調整

下記オプションを使用して画質調整を設定できます。

オプション値	代替値	説明
brightness=value		明るさを指定します。以下の値を設定できます。 -4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4
contrast=value		コントラストを指定します。以下の値を設定できます。 -4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4
saturation=value		彩度を指定します。以下の値を設定できます。 -4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4
sharpness=value		シャープネスを指定します。以下の値を設定できます。 -4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4
backgroundadjustment=value		下地調整を指定します。以下の値を設定できます。 -4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4

[例] 明るさを「1」に設定するコマンド：lp -o brightness=1 <filename>

注意

この機能は、カラー MFPをお使いの場合にのみ有効となります。

■ PCL5e固有オプション

下記オプションは、プレーンテキストまたはPCL5eファイルのみに適用されます。

テキストラップ

下記オプションを使用してテキストラップ機能（テキストをウィンドウサイズや用紙の大きさに合わせて適当な位置で改行する機能）を管理します。

オプション値	代替値	説明
wrap		自動的にテキストラップを実行する。
nowrap		テキストラップを自動的に実行しない。

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。

[例] テキストラップ機能を指定するコマンド：`lp -o wrap <filename>`

左マージン

下記オプションを使用して左マージン位置を指定できます。

オプション値	代替値	説明
lm=value		左マージンを入力した [value] に設定します（コラム単位）。

左マージンを右マージンの右側に設定した場合、その設定は無視されます。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。

[例] 左マージンを5コラムに設定するコマンド：`lp -o lm=5 <filename>`

右マージン

下記オプションを使用して右マージン位置を指定できます。

オプション値	代替値	説明
rm=value		右マージンを入力した [value] に設定します（コラム単位）。

右マージンを左マージンの左に設定した場合、または実際のページ幅よりはみ出た位置に設定した場合は、その設定は無視されます。また、負の値も無視されます。入力する [value] は、左マージンからのコラム数を示します。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。

[例] Example: 右マージンを50コラムに設定するコマンド：

`lp -o rm=50 <filename>`

上マージン

下記オプションを使用して上マージン位置を指定できます。

オプション値	代替値	説明
tm=value		上マージンを入力した [value] に設定します（行単位）。

上マージンを設定すると、極端に高い位置または低い位置にあるテキストはプリンタの非印字領域により印刷されない場合があります。上マージンを実際のページ長より高い位置に設定した場合、その設定は無視されます。上マージンの設定は、ページ長オプションにより指定した行数に影響を及ぼす場合があります。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。

[例] 上マージンを10行に設定するコマンド：`lp -o tm=10 <filename>`

□ テキスト長

下記オプションを使用してページの印字行数を指定できます。

オプション値	代替値	説明
tl=value		印字行数を入力した [value] に設定します。

テキスト長の設定が大き過ぎる場合、用紙の印字可能領域に入りきらず印字されないことがあります。本機のページ長の初期設定値から上マージンの設定を引いた数値よりテキスト長の設定が大きい場合は、テキスト長の設定は無効になります。テキスト長は上マージンからの行数を指定します。テキスト長の設定は、ページ長オプションにより指定した行数に影響を及ぼす場合があります。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。

[例] 1ページの印刷行数を40行に指定するコマンド：lp -o tl=40 <filename>

□ バナーページ

バナーページはジョブごとに自動で印刷されます。バナーページは常にPCL5eジョブとして送信され、以下の内容が印刷されます。

- 印刷ジョブを実行したユーザ名
- ジョブ番号とジョブを実行したワークステーション名
- ジョブタイトル（ジョブタイトルは、[-t] オプションで指定することができます。通常は、[lp] コマンドにより指定された同じタイトル名が各ジョブに適用されます。）
- 印刷時に指定したオプション
- 印刷部数
- プリンタ名およびIPアドレス
- 日付と時刻

バナーページはジョブに設定された部数に関係なく各ジョブにつき1部のみ印刷されます。また、バナーページは元々のジョブとは別のジョブとして送信されるため、ホチキス印刷を実行しても、バナーページと一緒にホチキスすることはありません。バナーページは、常に以下の設定で印刷されます。

- 部数=1
- ホチキス=オフ
- パンチ=オフ
- 用紙の向き=縦
- 両面印刷=オフ
- 用紙サイズ= [-o] オプションによるプリンタのデフォルトサイズ指定
- 給紙元=給紙カセットまたは用紙種類ジョブオプションにより指定可能
- 出力トレイ= [-o] オプションによるプリンタのデフォルトサイズ指定
- ページ長=6/インチ
- テキストラップ=オン

注意

- バナーページはA5/Statement以上の大きさの用紙に収まるようにデザインされています。
以下の用紙サイズを選択した場合は、1ページに収まりきらないためデフォルト用紙を使用します。
 - Statement
 - A5
 - A6
 - B5
 - はがき
 - 往復はがき
- バナーページはジョブが印刷される前に印刷されます。
- 印刷言語が [raw] に設定されている場合は、バナーページは印刷されません。
- バナーページの給紙カセットまたは用紙種類による給紙元の指定は、ジョブの給紙カセットまたは用紙種類とは別に指定することができます。バナーページ用の給紙元が指定されていない場合は、自動選択が適用されます。用紙種類が指定されていない場合は、プリンタのデフォルト用紙種類が適用されます。
- 出力トレイや用紙サイズの印刷情報を含んでいるファイルを印刷した場合、バナーページは異なる出力トレイに出力されたり、異なる用紙サイズを使用して出力されることがあります。
- バナーページはパンチ処理されません。

バナーオプション

下記オプションを使用してバナーページの印刷を設定できます。

オプション値	代替値	説明
banner=last		ジョブを印刷した後にバナーページを印刷し、出力されたジョブの一番上（最後）にバナーページを出力します。
banner=first	banner	ジョブを印刷する前にバナーページを印刷し、出力されたジョブの一番下（最初）にバナーページを出力します。
nobanner	nb	バナーページを印刷しません。ただし、管理者によりLPDのバナーページを印刷するよう本機で設定されている場合は、このオプションは無効となりバナーページが印刷されます。

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（`banner=first`）が使用されます。

[例] ジョブを印刷した後にバナーページを印刷するコマンド：`lp -o banner=last <filename>`

バナー給紙元

下記オプションを使用してバナーページの給紙元を指定できます。

オプション値	代替値	説明
bauto-source		自動で給紙元を指定します。
bdrawer1	buuper bcas1	1段目カセットを指定します。
bdrawer2	blower bcas2	2段目カセットを指定します。
bdrawer3	bpedupper bcas3	3段目カセットを指定します。
bdrawer4	bpedlower bcas4	4段目カセットを指定します。
blcf		大容量給紙装置を指定します。

このオプションを指定しない場合、PCL5eの自動給紙元指定コマンド「`<esc>&17H`」が送信されます。バナーページは手差しトレイから給紙することはできません。また、バナー給紙元の指定より用紙サイズによる給紙元の指定が優先して適用されます。

[例] 大容量給紙装置から給紙するコマンド：`lp -o blcf <filename>`

バナー用紙種類

下記オプションを使用して、用紙種類を指定することによりバナーページの給紙元を指定できます。

オプション値	代替値	説明
bmtime=Plain		普通紙のセットされた給紙元を指定します。
bmtime=Transparency		OHPフィルムのセットされた給紙元を指定します。
bmtime=Thick1		厚紙1がセットされた給紙元を指定します。
bmtime=Thick2		厚紙2がセットされた給紙元を指定します。
bmtime=Thick3		厚紙3がセットされた給紙元を指定します。

用紙サイズが常に用紙種類や給紙元より優先されます。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。

[例] 普通紙を指定するコマンド : `lp -o bmtime=Plain <filename>`

USBダイレクト印刷

■ USBメディアからファイルを印刷する

USBダイレクト印刷は、本機のUSBポートに接続したUSBメディアに保存してあるファイルを印刷する機能です。印刷できるのは、PDF/暗号化PDFファイル（拡張子が「.pdf」）、XPSファイル（拡張子が「.xps」）、JPEGファイル（拡張子が「.jpg」または「.jpeg」）、PRNファイル（拡張子が「.prn」）およびPSファイル（拡張子が「.ps」）です。

注意

「USBメディアを読み込み中です USBメディアを取り外せません」というメッセージが出ている間は、接続したUSBメディアを抜かないでください。USBメディア内のデータが壊れたり、本機が故障したりする原因となります。

- 1 タッチパネルのホーム画面で【プリント】を押します。
- 2 USBメディアを、本機のUSBポートに接続します。
数秒後、画面左下に「USBメディアを検知しました」と表示されます。

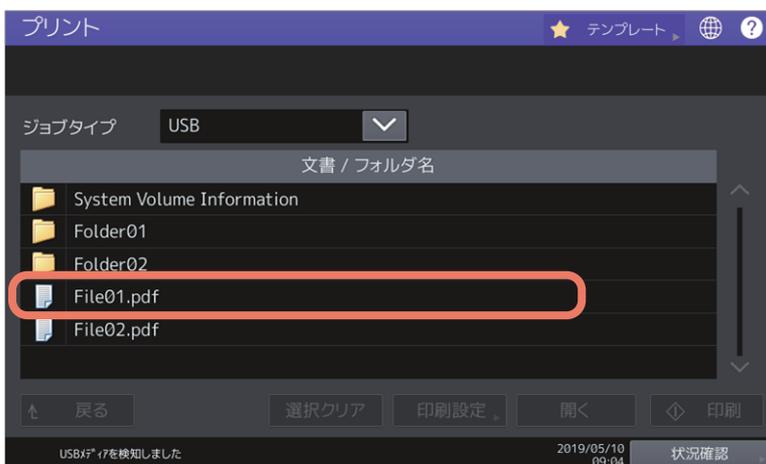
補足

USBポートの位置については、[かんたん操作ガイド](#)を参照してください。

- 3 【USB】を選択します。



- 4 「文書/フォルダ名」一覧から印刷したいファイルを選択します。ファイルは複数選択することもできます。



- フォルダの中のファイルを選択する場合は、フォルダを選択して、【開く】を押します。
- 選択したファイルにパスワードが設定されている場合は、パスワードを入力して【OK】を押します。

補 足

- Adobe Acrobat 6.0以降で作成した暗号化PDFファイルを印刷する場合は、「文書を開くパスワード」または「権限パスワード」を入力してください。
- Adobe Acrobat で印刷許可権限を「低解像度（150 dpi）」に設定して作成された暗号化PDFファイルを印刷するには、作成時に設定した権限パスワードの入力が必要です。

印刷設定を変更する場合は、手順5に進んでください。設定を変更しないで印刷する場合は、[印刷] を押します。

5 [印刷設定] を押し、必要に応じて設定項目を選択します。



- **カラー**
カラーモードを設定します。
- **両面モード**
両面印刷の設定をします。
片面：片面印刷します。
両面（左／右とじ）：用紙の垂直方向にとじしろを設定し両面印刷します。印刷文書は左右開きとなります。
両面（上／下とじ）：用紙の水平方向にとじしろを設定し両面印刷します。印刷文書は上下開きとなります。
- **仕上げモード**
ホチキス留めする位置を設定します。
ノンホチキス：ホチキス留めをしません。
ホチキス（左上）：用紙の左上をホチキス留めします。
ホチキス（右上）：用紙の右上をホチキス留めします。
- **PDFオーバープリント**
PDFファイル内のオブジェクトにオーバープリントが設定されている場合、この機能を有効にするとオブジェクトをオーバープリント印刷することができます。
OFF：オーバープリントをしないで印刷します。
ON：オーバープリントを有効にして印刷します。
ON（PDF/Xのみ）：印刷対象となるPDFファイルがPDF/Xの仕様に準拠している場合のみ、オーバープリントを有効にして印刷します。
- **PDFの原稿サイズを優先する**
PDFを印刷する場合のみ有効になります。
[ON] に設定すると拡大・縮小せずにPDFの原稿サイズで印刷します。
- **PDFサイズオプション**
[PDFの原稿サイズを有効にする] を [OFF] にした場合に有効になります。
[フィット]：PDFの原稿サイズを選択した用紙サイズに合わせて印刷します。
[大きいサイズを縮小]：PDFの原稿サイズが選択した用紙サイズより大きい場合は、縮小して印刷します。PDFの原稿サイズより選択した用紙サイズが大きい場合は、拡大せずにPDFの原稿サイズで印刷します。

- **サイズ**

用紙サイズを設定します。

注意

- 用紙サイズは、JPEGファイルの印刷または [PDFの原稿サイズを優先する] を [OFF] にしてPDFファイルを印刷する場合に指定することができます。(JPEGファイルを続けて印刷する場合には、ここで指定した用紙サイズの設定が継続して使用されます。)
- PDFオーバープリントの設定は、PDFファイル内のオーバープリントが設定されたオブジェクトにのみ反映されます。PDFファイルに設定されているオーバープリントの効果をあらかじめ確認したい場合は、Adobe Readerのオーバープリントプレビュー機能などで、プレビュー表示を切り替えて確認することができます。

補足

- PDFファイルを印刷する場合は、[両面モード] [仕上げモード] [PDFオーバープリント] [PDFの原稿サイズを優先する] [PDFサイズオプション] の設定ができます。
- [カラーモード] および [PDFオーバープリント] はカラー機のみ表示されます。

6 [印刷] を押します。

用紙は排紙トレイに排紙されます。

■ 印刷時の注意事項

- USBダイレクト印刷を行うには、TopAccessの「USBダイレクト印刷」設定が有効になっている必要があります。詳しくは、**TopAccessガイド**を参照してください。
- 印刷範囲は設定できません。すべてのページが印刷されます。
- 本機能は、PDFファイルバージョンが1.3～1.7のPDFファイルに対応しています。
- 暗号化されたPDFが印刷できない場合は、クライアントコンピュータから印刷を行ってください。
- [PDFの原稿サイズを優先する] が [ON] の場合、PDFファイルの印刷は、PDF原稿に定義されている用紙サイズで印刷されます。定義されている用紙サイズが、その機種でサポートされていない用紙サイズの場合、ユーザ設定サイズで印刷されます。（ユーザ設定サイズのサポートサイズ外だった場合、幅/高さそれぞれをサポートサイズ内に変換して印刷します。）カセットにセットされている用紙で印刷する場合、タッチパネルで使用するカセットを選択してください。カセットにセットされている用紙が、指定したサイズよりも小さい場合は、画像の一部が印刷されない場合があります。
- USBダイレクト印刷でPRNファイルを印刷する場合、本機がサポートするページ記述言語は、PostScript 3、PCL5e、PCL5c、PCL6、XPSです。PRNファイルの場合、本機の設定が優先される場合があります。印刷設定画面で確認のうえ、印刷してください。
- USBメディアをUSBポートに接続したまま、本機の電源を入れないでください。
- 使用可能なUSBメディアは、以下の条件を満たしたものに限りです。ただし、USBメディアによっては、条件を満たしていても本機で使用できないことがあります。
 - FAT16、FAT32フォーマット
 - 単一パーティション（複数パーティションのUSBメディアは使用不可）

FTP印刷は、本機でFTP印刷サービスが有効に設定されている場合にのみ利用できます。FTPプロトコルを使用して本機へ印刷ファイルを送信し、文書を印刷します。以下のファイルを印刷することができます。

- PCLファイル
- PS (PostScript) ファイル
- テキストファイル

注意

本機のユーザ管理設定が有効な場合、FTP印刷により送信された印刷ジョブは、無効ジョブとしてユーザ認証強制の設定に従って処理されます。ユーザ認証強制の設定については、**TopAccessガイド**を参照してください。

補足

- Windowsでは、プリンタドライバを使ってPCLファイルおよびPSファイルを作成することができます。PCLファイルまたはPSファイルを作成するには、プリンタドライバのプリンタポートを [FILE:] ポートに変更し、文書を印刷します。ファイルへの出力についての詳細は、お使いのOSの取扱説明書を参照してください。
- Mac OSでは、プリンタドライバを使ってPSファイルを作成することができます。PSファイルを作成するには、「プリント」ダイアログボックスの [出力対象] から [ファイル] を選択します。ファイルへの出力についての詳細は、お使いのOSの取扱説明書を参照してください。

FTPコマンドを使用してファイルを印刷する

ここでは、コマンドプロンプトからFTPコマンドを入力し、印刷を行う例で説明します。

- 1 コマンドプロンプトを起動します。
- 2 カレントディレクトリを印刷ファイルが保存されているディレクトリに変更します。
- 3 以下のコマンドを入力し、[Enter] キーを押します。
ftp <IPアドレス>
<IPアドレス>の箇所には、本機のIPアドレスを入力します。
- 4 ユーザ名の入力を要求された場合は、FTPプリントユーザ名を入力し、[Enter] キーを押します。

注意

FTPプリントユーザ名が管理者によって割り当てられている場合に、ユーザ名の入力が要求されます。FTPユーザ名については、管理者にご確認ください。

- 5 パスワードの入力を要求された場合は、FTPプリントパスワードを入力し、[Enter] キーを押します。

注意

- FTP印刷ユーザ名が管理者によって設定されている場合は、パスワードの入力が要求されます。FTP印刷パスワードについては、管理者にご確認ください。
- FTP印刷ユーザ名が設定されており、FTP印刷パスワードが設定されていない場合は、パスワードの入力が要求されたらパスワードを入力せずにそのまま [Enter] キーを押します。

- 6 以下のコマンドを入力し、[Enter] キーを押します。

```
put <ファイル名>  
例：印刷ファイル名が [sample.ps] の場合  
put sample.ps
```

- 7 ファイルが本機へ送信され、印刷キューにスプールされます。

Eメール印刷

Eメール印刷は、本機でEメール印刷サービスが有効に設定されている場合にのみ利用できます。Eメールクライアントソフトウェアを使って、印刷ファイルを本機へEメールの添付ファイルとして送信することにより文書を印刷します。本機では、インターネットファクスのファイルフォーマットであるTIFF-FX (Profile S)、TIFF-FX (Profile F)、TIFFFX (Profile J) ファイル、本機のスキャン機能でモノクロスキャンしたTIFF形式の画像ファイル、およびテキストデータ（プレーンテキスト形式で記述されたメールの本文）を印刷することができます。

Eメール印刷で受信したファイルに上記以外のファイルが添付されていると、印刷を正常に終了できず、受信ログにエラーコードとしてこれが記録されます。TopAccessでは、「Eメール印刷」設定が管理者に用意され、エラーコードをレポートとして印刷するよう設定できます。また、このようなEメールを別のEメールアドレスに転送するように設定することも可能です。詳しくは、**TopAccessガイド**を参照してください。

注意

- 本機のユーザ管理設定が有効な場合、Eメール印刷により送信された印刷ジョブは、無効ジョブとしてユーザ認証強制の設定に従って処理されます。ユーザ認証強制の設定については、**TopAccessガイド**を参照してください。
- Eメール印刷ジョブは、本機の管理者設定メニューより [ファクス] → [記録モード] を押して表示される画面で設定できる、切り捨て印刷および縮小印刷の設定によって、どのように印刷されるかが異なります。

切り捨て印刷がONの場合は、印刷範囲を超える長さが10 mm未満のページイメージは切り捨てられます。印刷範囲を超える長さが10 mmより長いページイメージは、印刷可能な大きいサイズの用紙に印刷されます。

切り捨て印刷がOFFの場合は、長さが用紙印刷範囲を超えるページイメージは、印刷可能な大きいサイズの用紙に印刷されます。

縮小印刷がONの場合は、用紙より長いページイメージは、用紙に収まるように縦方向に最大で90%まで縮小し印刷します。90%の縮小でも用紙に収まらない場合は、印刷可能な大きいサイズの用紙に印刷されます。

縮小印刷がOFFの場合は、用紙より長いページイメージは、印刷可能な大きいサイズの用紙に印刷されます。

Eメールクライアントを使用してファイルを印刷する

ここではWindows 10に標準でインストールされているEメールアプリケーションを例に説明します。

注意

本機へEメールメッセージを送信し、ファイルを印刷するときは、メッセージをテキスト形式で送信してください。HTML形式で送信すると、本機はメッセージのHTMLソースコードを印刷します。

- 1 Eメールアプリケーションを開きます。
- 2 メニューから [新規メール] を選択します。
- 3 [宛先] に、本機のEメールアドレスを入力します。
- 4 必要に応じて、[件名] ボックスにEメールの件名を入力します。
- 5 本文欄にメッセージを入力します。
- 6 印刷したいファイルを添付します。
- 7 Eメールを送信します。

注意

Eメールの [件名] および [本文] は、本機のEメール印刷サービスで [Eメールヘッダ印刷] および [本文印刷] が有効に設定されているときに印刷されます。

Eメールダイレクト印刷は、本機でEメールダイレクト印刷サービスが〔自動〕に設定されている場合にのみ利用できます。

Eメールクライアントソフトウェアを使って、Eメールに添付したPDF、JPEGまたはXPSファイルの本機に送信することにより印刷することができます。

設定の詳細については、**TopAccessガイド**を参照してください。

Eメールダイレクト印刷で受信したEメールに添付ファイルがない場合、またはTIFFファイルだけ添付されている場合はEメール印刷として印刷します。

📄 P.218 「Eメール印刷」

注意

- Eメールダイレクト印刷で受信したファイルにPDF、JPEGまたはXPS以外のファイルが添付されていると、印刷を行わず終了します。
- 暗号化PDF（セキュアPDF）が添付されたEメールは、Eメールダイレクト印刷機能で印刷できません。
- 管理者によって出力できる枚数が設定されている場合、設定された分をすべて出力するとEメールダイレクト印刷で受信したファイルは削除されます。
TopAccessの割当設定については、管理者にお問い合わせください。

Eメールクライアントを使用してファイルを印刷する

本機は指定の間隔でメールサーバーにアクセスし、新着メールの有無を確認できます。

Eメールの受信設定が自動受信に設定されている場合、新着メールは自動的に受信および印刷を行います。

補足

Eメールの受信設定は、TopAccessで変更することができます。

詳細は、**TopAccessガイド**を参照してください。

注意

- 本機へEメールメッセージを送信し、ファイルを印刷するときは、メッセージをテキスト形式で送信してください。HTML形式で送信すると、本機はメッセージのHTMLソースコードを印刷します。
- Eメールの〔件名〕および〔本文〕は、本機のEメールダイレクト印刷サービスで〔Eメールヘッダ印刷〕および〔本文印刷〕が有効に設定されているときに印刷されます。

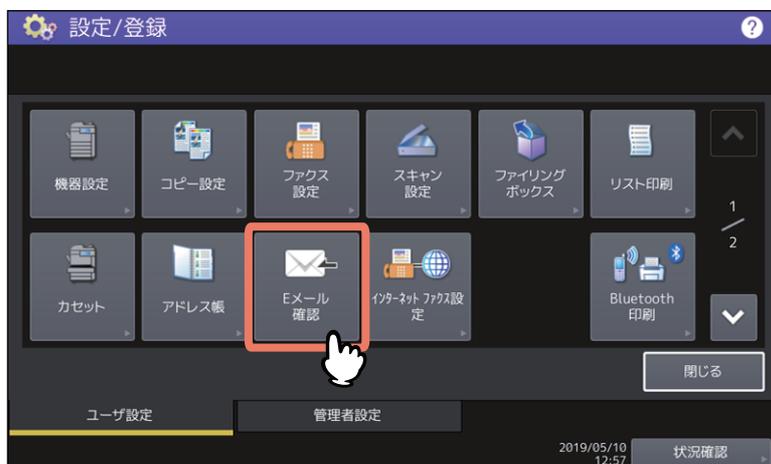
ここではWindows 10に標準でインストールされているEメールアプリケーションを例に説明します。

- 1 Eメールアプリケーションを開きます。
- 2 メニューから〔新規メール〕を選択します。
- 3 〔宛先〕に、本機のEメールアドレスを入力します。
- 4 必要に応じて、〔件名〕ボックスにEメールの件名を入力します。
- 5 本文欄にメッセージを入力します。
- 6 印刷したいファイルを添付します。
- 7 Eメールを送信します。

Eメールの受信設定が手動受信に設定されている場合

ホーム画面を操作して本機にEメールダイレクト印刷で送信したファイルを印刷します。

- 1 ホーム画面で【設定登録-ユーザ-】を押します。
- 2 【ユーザ設定】タブで、【Eメール確認】を押します。



新着メールの確認が開始されます。Eメールダイレクト印刷を受信すると、画面上に「メール受信中」と表示されます。「新規Eメール有り」が表示された後、Eメールダイレクト印刷で送信したファイルの印刷が開始されます。

新着メールが確認されない場合は、「新規Eメール無し」が画面上に表示されます。

索引

数字

- 180度回転する29, 121
- 1ページ毎に挿入45, 107
- 2色46, 173

C

- CMYK177
- CMYKソースプロファイル118
- ColorSync180

E

- Eメール印刷218

F

- FTP印刷217

J

- JPEG213

L

- LDAPサーバー19
- LDAPサーバー設定135
- Linux196
- lp196
- lptap196

N

- Nin136

P

- PDF213
- PostScriptエラー情報を印刷する139
- PostScriptオーバープリント115, 175
- PRN213
- PS213

R

- RGB177
- RGBソースプロファイル118

S

- SNMP V1/V2128
- SNMP V3129
- SNMP設定126, 128

T

- TopAccess125

U

- UNIX196
- USBダイレクト印刷213

あ

- アカウント設定133
- 暗号化PDF213

い

- 位置184
- インサータユニット85
- 印刷言語197
- 印刷ごとにユーザ認証のためのユーザ名とパスワードを入力する87, 135
- 印刷時に双方向通信を行う125

- 印刷時にテンプレート確認を表示させる141
- 印刷の向き93
- 印刷部数197
- 印刷方式31, 32, 97
- 印刷向き205
- 印刷モード202
- 印刷用紙サイズ21, 28
- インデックス紙24, 94, 109
- インデックス紙を使用する108
- インデックス数109
- インデックス幅24, 109
- インポート127

う

- 上マージン209
- 裏表紙挿入43, 107, 170

え

- エクスポート127
- エコ設定140

お

- オートトラッピング115, 175
- オーバーレイファイル56, 57, 121
- オーバーレイファイルで保存56
- お試し印刷62
- オプション132
- オプション機器を設定する83

か

- 解像度52, 112, 114, 182, 183
- 拡大／縮小28
- 角度184
- [画質] タブ111
- 画質調整181
- [画質調整] タブ117
- カスタマイズ133
- カスタマイズサーバー133
- カスタムRGBプロファイル118, 177
- [カスタム] タブ125
- カスタム用紙サイズ153
- カセット85
- カセット設定85, 132, 135, 136
- 画像をJPEGに圧縮する139
- カラー46, 93
- カラーバランス181
- [カラーバランス] タブ116
- カラープロファイル設定177
- [カラープロファイル] タブ118
- カラーモード206
- 簡易設定76

き

- 機種名84, 132
- [基本] タブ91, 113
- 基本の原稿種類113
- 給紙150
- 給紙方法92
- 給紙元200
- 境界線162
- 鏡像29, 121

く			
グループ	32, 98		
グレーを黒 (K) トナーで印刷する	114		
黒とグレーの印刷方法	174		
黒とグレーを黒 (K) トナーで印刷する	207		
黒を黒 (K) トナーで印刷する	114		
け			
言語	138		
原稿サイズ	21, 28, 91		
原稿サイズと同じ	21		
原稿種類	112, 176		
原稿の上に印刷	121		
現在の設定を保存する	113		
検索されたプリンタ	129		
こ			
[効果] タブ	120		
更新	133		
この設定を使用する	178		
コミュニティ名	128		
混在原稿の向きを揃える	29, 122		
コントラスト	117, 181		
さ			
サーバー名	126, 136		
サーバー名リスト	136		
最初のページのみ印刷する	120		
最前面に配置	184		
細線モード	203		
細線をはっきりと印刷する	112, 114		
彩度	117, 181		
最背面に配置	184		
削除	136		
サドルステッチを使用する	105		
し			
仕上がりサイズ	105		
[仕上げ] タブ	97		
下地調整	117, 181		
指定ページに挿入	44, 107		
自動更新	133		
自動両面ユニット	85		
シフト幅	24, 94, 109		
シャープネス	117, 181		
周囲に境界線を印刷	36, 100		
出力形式	139		
出力先デバイス	126, 131		
出力トレイ	199		
使用するデバイス	140		
初期値に戻す	178		
ジョブタイプ	96, 186		
ジョブタイプの組み合わせ	68		
書類をプリント	185		
白黒	46, 172		
す			
ズーム	91		
スケジューラ	185		
スタンプ	53, 120		
すべての設定を標準に戻す	127		
スムージング	50, 112, 202		
寸法	184		
せ			
製本	33, 99, 161		
製本印刷	203		
製本設定	34, 105		
そ			
ソースプロファイル	118		
ソート	31, 98		
[挿入] タブ	106		
外側マージン	205		
外側余白	161		
た			
タイトル	197		
大容量給紙装置 (外付け)	85		
縦横交互	32, 98		
タブ幅	94		
短辺	99		
ち			
中央マージン	205		
中央余白	161		
中心の余白を無くす	105		
丁合い	158		
長辺	99		
つ			
追加	136		
て			
テキスト長	210		
テキストラップ	209		
適用範囲	114, 115		
デバイスカラーのみに適用	118		
デバイス情報取得	133		
[デバイス設定] タブ	84, 132		
[テンプレート] タブ	141		
テンプレートの編集	142		
テンプレートボタン	141		
と			
同時に印刷	187		
トナー節約	42, 125, 169, 203		
ドライバ用紙カセット優先	85, 134		
な			
中折り	97, 105, 167, 198		
は			
バージョン情報	127, 133		
ハードディスク	85		
ハーフトーン	50, 112, 113, 178, 179, 207		
排紙先	30, 93, 187		
配列	36, 100		
はがき	25, 152		
白紙は印字しない	42, 125, 168, 203		
はじめに	3		
バナーオプション	211		
バナー給紙元	211		
バナーページ	171, 210		

バナー用紙種類	212
パンチ	37, 97, 166, 199
パンチ穴	166
反転	47, 121

ひ

左から右	161
左マージン	209
ビットマップを圧縮する	139
表紙挿入	43, 106, 170
表示タブ設定	125
表紙のタイプ	171
表示ユーザ名	126, 186
標準に戻す	59, 105, 115, 116, 117, 118, 123, 124, 129, 133, 134, 137, 138, 139
表紙をプリント	171

ふ

フィニッシャ	85
フォントピッチ	206
複製する	107
部数	31, 32, 93, 141
部単位印刷	205
太字レベル	139
部門コード	17, 18, 86, 126, 148, 202
部門コードを隠す	126
プライベート印刷	61
プライベート印刷限定	135
プラグイン	137
ブラックオーバープリント	114, 175, 208
プリンタ言語	139
プリンタ言語設定	139
プリンタのカラー	180
プリンタの追加	126, 129
プリンタプロファイル	118, 177
プロジェクトコード	18, 126
プロファイル	180
分割枚数	41

へ

ページ毎に印刷	120, 121
ページ集約	97
ページ数/枚	162
ページ長	206
ページの順番	105
ページレイアウト	204
編集	141

ほ

ホールド印刷	63
ホールド印刷限定	135
ホールパンチユニット	85
保管先フォルダ	187
ポスター印刷	41, 98
ホチキス	37, 97, 164, 198
本体に保存	65, 66, 67, 187

ま

マルチステーション印刷	64
-------------	----

み

右から左	161
------	-----

右マージン	209
-------	-----

め

明度	117, 181
----	----------

も

文字	184
文字を黒で印刷する	47, 112, 114

ゆ

ユーザ設定サイズ	126, 130
ユーザ認証	135
優先順位	185

よ

用紙カセット	21
用紙サイズ	91, 201
用紙種類	22, 92, 151, 199
用紙処理	155
余白	
外側	105
単位	105
中心	105
余白/とじしろを編集する	38, 98
予約印刷	60

り

両面印刷	33, 97, 160, 200
------	------------------

れ

レイアウト方向	162
レターヘッド用紙印刷モード	125
レンダリングインテント	118, 177

FC-2010AC
FC-2515AC/3515AC/4515AC/5015AC
DP-2518A/3518A/4518A/5018A
FC-5516AC/6516AC/7516AC
DP-6518A/8518A
OMJ170069A0

東芝デジタル複合機

印刷ガイド

e-STUDIO2010AC

e-STUDIO2515AC/3515AC/4515AC/5015AC

e-STUDIO2518A/3518A/4518A/5018A

e-STUDIO5516AC/6516AC/7516AC

e-STUDIO6518A/8518A

東芝テック株式会社

